321
153

始

321
153

大正四年三月刊行

朝鮮郵便官署國庫金事務史

朝鮮總督府逓信局

321-153

帝國圖書館藏

序

明治三十七年日露開戰後間モナク日韓協約締結セラレ帝國政府ハ時ノ韓國政府ノ軍務財政外交警務鑛山ノ各部ニ顧問ヲ入レ同國保護指導ノ施設ニ一歩ヲ進メタリ超エテ同三十八年四月同國通信事業管理ノ委託ヲ受クルニ至ルヤ小官ハ引繼委員長トシテ京城ニ出張ヲ命セラレ引繼ニ關スル一切ノ事務ヲ綜理且處辨シ同年七月之カ引繼ヲ完了スルヲ得タリシカ滞留中一日帝國公使館ニ於テ時ノ韓國財務顧問目賀田種太郎氏ニ面會シタルノ際氏韓國財政ノ整理ニ就テ語テ曰ク同國ノ歳入中租稅ノ如キ國庫ノ收納スル金額頗ル僅少ナルモ實際國民ノ財囊ヨリ出ツル所ノモノハ果シテ其ノ幾倍ニ達スルヤ識ル可カラサルノ狀態ナルヲ以テ同國ノ財政ヲ釐革セムト欲セハ宜シク歳入出事務ハ之ヲ發令機關ト現金出納機關トニ區別シ以テ其ノ分界ヲ截然明確ニシ且其ノ出納機

内閣文庫藏本

大正 4. 6. 1 寄贈

關ヲ全土ニ普設スルヨリ急ナルハ莫シ然レトモ現下ノ財政上此ノ理想ヲ實現スルコト至難ナルハ頗ル遺憾トスル所ナリト余乃チ之ニ答フルニ今設シ郵便官署ヲ利用シテ現金出納機關タルノ任務ヲ行ハシメハ縱令既設ノ郵便官署以外更ニ之ヲ增設スルノ必要アリトナスモ尙單獨出納機關ヲ設置スルニ較フレハ其ノ難易固ヨリ同日ノ談ニ非ス殊ニ郵便官署吏員ハ總テ內地人ヲ以テ充ツルニ依リ其ノ好成績ヲ收メ得ヘキコト殆ント疑ナカルヘシトノ意見ヲ以テシタルニ氏大ニ之ヲ然リト爲シ約スルニ精査攻究ヲ重ネ之カ實行ヲ他日ニ期待セムコトヲ以テシタリキ後同國政府ヨリ公然之カ開始ニ關スル協議案ヲ帝國政府ニ送致シ來ルニ及ヒ廟議直ニ之ヲ採納シ交涉數閱月遂ニ明治三十九年十月一日ヨリ之カ實施ヲ見ルニ臻レリ

抑々郵便官署ニ於テ國庫金ノ出納事務ヲ取扱フノ事タル未タ曾テ其ノ類例ナク其ノ成否如何ハ內外ノ均シク具瞻スル所ナルヲ以テ之カ實施ニ際シテハ苦心慘憺頗ル危懼ノ念ニ堪ヘサリシモ實施後ノ經過ヲ見ルニ幸ニ創始時代ノ經營トシテハ比較的良好ノ成績ヲ收ムルヲ得タルハ邦家ノ爲寔ニ慶賀ニ堪ヘサル所ナリ明治四十三年韓國併合ノ大業成ルニ迨ヒ其ノ取扱種目及取扱局所ヲ增加シ更ニ大ニ面目ヲ一新シ剏立經驗ノ時代茲ニ一段落ヲ告ケタリ然ルニ當時ニ於ケル各般ノ施設經營竝業務ノ狀況等ニ關スル記錄ハ歲月ノ經過スルニ從ヒ往々散佚ノ虞アルヲ以テ曩ニ下僚ニ命シ沿革史ノ編纂ニ從事セシメタルニ這般漸ク完成セリ依テ直ニ之ヲ印行シ汎ク之ヲ世ニ紹介シ兼テ當務者計畫ノ參考資料ニ供スト云爾

大正三年十二月

朝鮮總督府遞信局長官　池田十三郎

例言

一本書ハ明治三十九年在朝鮮郵便官署ニ於テ舊韓國政府ノ委託ニ依リ國庫金ノ出納保管事務ヲ開始シタル創始當時ヨリ明治四十三年八月日韓併合シ同年十月朝鮮總督府設置セラレ帝國國庫金トシテ之ヲ取扱フヘキ組織ノ完了ニ至ル迄ノ斯業變遷ノ狀況ヲ叙述セルモノナリ

二舊韓國政府ノ會計年度ハ一月ヨリ十二月ニ至ル迄ノ曆年ヲ以テ一會計年度トナセリ

三本邦曆ト舊韓國曆トノ對照左ノ如シ

本邦曆	舊韓國曆	本邦曆	舊韓國曆
明治三十七年	光武八年	明治四十一年	隆熙二年
同　三十八年	同　九年	同　四十二年	同　三年
同　三十九年	同　十年	同　四十三年	同　四年
同　四十年	隆熙元年		

四本書ハ斯業創始以來ノ發達ヲ知ルト共ニ兼テ吏員ノ參考ニ資スル爲成ルヘク當時ニ於ケル部内取扱ニ關スル通達及帳簿式紙類等ヲ網羅シ事務取扱方法ノ變遷ヲモ知ル一助タラシメタリ

大正三年十二月

朝鮮總督府遞信局

朝鮮郵便官署國庫金事務史

目次

第一章　叙說……一
第二章　業務ノ創設……三
第一節　舊韓國政府トノ交渉……三
第二節　職員ノ選定養成及配置……一二
第三節　廳舍ノ設備及事業用品ノ配給……二九
第四節　現金遞送方法及遞送道路……五五
第五節　吏員及傭人ノ保護……七三
第三章　法規ノ制定及變遷……八九
第一節　官制改正其ノ他法規ノ制定……八九
第二節　業務執行規定ノ制定……一二五
第三節　各種法規ノ變遷……一六七
第四章　業務開始後ノ狀況……二九五
第一節　計算處理狀況……二九五
第二節　職員ノ服務狀況……三一九

第三節　現金受拂及資金受授ノ狀況……三三五
第五章　日韓併合ニ依ル國庫金取扱方ノ推移……三六〇
第六章　暴徒ノ事業ニ及ホシタル影響……三八五
第七章　舊韓國財政上ニ及ホシタル效果……四一〇
第八章　舊韓國貨幣整理ニ及ホシタル效果……四一八
第九章　統計……四六二

附錄

一勅令第二百六十八號　統監府通信官署官制……一
一達通第四號　統監府通信管理局分課規程……三
一達通第五號　統監府通信管理局分掌規程……三
一勅令第二百八十號　明治三十三年勅令第四百八十號明治三十六年勅令第二十三號及通信官署經費渡切規則準用ニ關スル件……五
一朝鮮總督府令第三號　明治三十六年三月遞信省令第三十八號明治三十八年四月遞信省令第三十號準用ニ關スル件……六
一勅令第二十三號　郵便電信電話官署現金受拂ニ關スル件……六
一舊韓國勅令第六十號　租稅徵收規程……七
一度支部令第二十二號　租稅徵收規程施行細則……八
一度支部令第四號　金庫事務處理順序……一一
一度支部令第五號　歲入歲出處理順序……一五
一度支部令第十七號　國庫金委託出納事務處理順序……二四

目次終

朝鮮郵便官署國庫金事務史

第一章　叙說

舊韓國政府ニ於ケル租稅徵收ノ方法ハ甲午改革ノ際既ニ略完備セル制度ヲ有シ特ニ會計法規ノ如キハ我會計法規ヲ摸倣スル等形式上一見間然スル所ナカリシカ如キモ其ノ執行力ニ至リテハ何等權威ノ存スルナク顯官ノ言議ハ往々ニシテ法令以上ノ實效力ヲ有スルノミナラス當務者亦法令ヲ尊重セサル者多ク加フルニ上下ヲ通シテ道義ノ頽廢其ノ極ニ達シタル爲此ノ間幾多ノ弊竇釀生シ積弊ノ久シキ財政非常ニ紊亂ヲ極メ容易ニ復拯救スヘカラサルノ窮況ニ陷リタリ今當時ニ於ケル弊害ノ主要ナルモノヲ略述スレハ左ノ如シ

一　由來舊韓國政府ノ財政弛廢シタル重ナル原因ハ皇室ノ收入ハ政府ノ總收入ニ比シ頗ル過大ニ失シ宮中ノ財政ハ府中ノ財政ヲ攪亂シタルニ在リトス抑々舊韓國皇室ノ收入ハ全然特別會計ニ屬シ其ノ額約二百五十萬圓ヲ有シ之ヲ國庫總收入ニ比スレハ約六割强ニ當リ何人モ其ノ過大ナルニ驚カサルヲ得サル歲計ヲ有セリ加之新ニ巨額ナル歲入ノ生スルヤ悉ク之ヲ皇室費ニ編入シ又臨時ノ費途ニ對シ既定ノ收入ヲ以テ之ヲ支辨シ能ハサル場合ニ於テハ直ニ其ノ補給方ヲ時ノ政府ニ要求スルヲ以テ常例トナセルモ國庫ハ常ニ缺乏ヲ告ケ之ニ應スルノ餘剩ナク去リトテ之ヲ拒斥セハ政府當局者自己ノ地位危殆ニ陷ラン

コトヲ慎レ唯々トシテ其ノ要求ニ應シ更ニ之ヲ各地方ニ分賦課徴スルヲ以テ例ト爲セリ斯ノ如ク宮中ノ財政ハ斷ヘス府中ノ財政ヲ攪亂スルニ由リ政府ノ財政ハ常ニ紊亂窮乏ノ狀態ニ在ルヲ免レサリキ

二　當時豫算ナルモノアリシト雖政府ニ於テ正確ニ其ノ歳入歳出ヲ計上シテ歳計ヲ樹テタルニ非サリシノミナラス當該年度ノ豫算ハ三四分通リ既ニ消費セル後ニ至リテ始メテ之ヲ發布スルヲ以テ常例トナシ收入ニハ先收アリ支出ニハ濫出アリ毫モ法令ニ準據スル所ナク加フルニ府中ノ間更ニ各政務機關ニ獨立ノ資金ヲ保有シ其ノ收入ヲ以テ直ニ支出ニ充當スルヲ得ル如キ特別ナル會計ヲ樹ツル等ノ爲統一整理セル歳計豫算ノ成立ハ全然之ヲ見ルヲ得サリキ

三　更ニ租稅徴收上弊害ノ特ニ甚シカリシハ彼ノ外劃制度ナリトス此ノ制度タルヤ各地方ニ於テ徴收スヘキ租稅額ニ對シ中央政府豫メ之ヲ抵當トシテ手形ヲ發行シ之ヲ京城市中ノ商人ニ賣却シ商人ハ其ノ地方ニ到リ郡守ヨリ手形面ニ記載スル金額ノ交付ヲ受ケ以テ之ヲ當該地方ノ產品買收資金ニ換用スル方法ニシテ一見金融政策上頗ル巧妙ヲ得タル制度ナルカ如キモ諸般ノ施政猶未整ハサリシ當時ニ於テハ之カ爲却テ諸種ノ弊害ヲ誘致スルニ至リシハ自然ノ數ナリト謂フヘシ

斯ノ如クニシテ舊韓國政府ノ財政ハ年々窮迫困難ヲ加ヘ遂ニ復收拾シ難キ狀態ニ陷リシニモ拘ラス爲政者ハ常ニ政權ノ爭奪ヲコレ事トシ進ンテ根本的ニ財政ヲ釐革スルノ念慮ナク唯一時ヲ糊塗スルヲ以テ足レリトシ課稅ニ次クニ課稅ヲ以テシ種々ナル口實ノ下ニ誅求苛斂至ラサル所ナカリシヲ以テ民力爲ニ枯渴シ其ノ困踣疲憊實ニ名狀スヘカラサルニ至レリ

國內ノ治政斯ノ如ク混沌タルノ間ニ於テ外交ノ局面ハ幾轉進シ日露戰爭ノ初頭ニ於テ帝國政府ハ舊韓國政府ト恒久不易ノ親交ヲ保持シ以テ東洋ノ平和ヲ確立スル爲同國政府ノ施政改善ニ關シ我政府ノ與ヘタル忠告ハ之ヲ容ルルコト等ノ重要ナル案件ヲ盟約シ明治三十七年二月二十二日所謂日韓議定書ナルモノノ調印ヲ了セリ同年八月二十四日更ニ日韓協約ナルモノ締結セラレ同政府ハ財務顧問ヲ帝國ヨリ招聘シ以テ財政ノ刷新ヲ企圖スルコトトナリ時ノ大藏省主稅局長目賀田種太郎ヲ聘用スルニ至レリ同顧問ノ著任スルヤ豫算ノ確立ヲ初メトシ租稅制度貨幣制度徴稅機關其ノ他財政ノ全般ニ涉リ銳意大改革ヲ施シタルノ結果紊亂其ノ極ニ達シタル財政ハ稍々其ノ面目ヲ改ムルニ至リタルモ積弊因襲ノ久シキ動モスレハ折角ノ改革ヲシテ無意味ニ沒了セシメントスルノ傾向アリ前途洵ニ憂慮ニ堪ヘサルモノアリシヲ以テ同顧問ハ此ノ際國庫金歳入及歳出ニ關スル出納保管事務ヲ擧ケテ我通信官署ニ委託執行スルノ議ヲ決シ同政府ヨリ帝國政府ニ提議スル所アリ商議ノ結果遂ニ本業務ノ開始ヲ見ルニ至レリ

第二章　業務ノ創設

第一節　舊韓國政府トノ交涉

明治三十七年二月日韓議定書締結以來帝國政府ハ朝鮮ニ於ケル通信機關ノ統一及整備ヲ圖ル

ヲ以テ緊要ノ事項ナリト認メ舊韓國政府ト協商ヲ遂ヌル所アリ同國政府亦自國通信事業萎微不振ノ狀況ニ鑑ミ其ノ經營ヲ擧ケテ帝國政府ニ委任スルノ得策ナルヲ認メ同三十八年四月一日韓國通信機關委託ニ關スル取極書兩國政府ノ間ニ締結セラレ帝國政府ハ時ノ遞信書記官池田十三郎ニ韓國通信事務引繼委員長ヲ命シ直ニ朝鮮ニ派遣シ引繼ニ關スル一切ノ事務ヲ綜理處辨セシメ同年七月一日ヲ以テ在來配置ノ儘通信機關全部ノ引繼ヲ完了シ茲ニ朝鮮ニ於ケル通信事業ハ全部帝國政府ノ掌理ニ歸シ統一其通ノ實ヲ擧クルニ至リタルヲ以テ今後ハ更ニ進ンテ積極的ニ之カ內容ノ整理充實ヲ期シ一般民衆ヲシテ如何ニ帝國通信事業經營ノ利便多キカヲ認識セシメ斯業ノ信用聲價ヲ發揚シ以テ通信事業管理負託ノ精神ヲ十分ニ發揮セシメサルヘカラス而シテ斯業ノ特色ハ其ノ取扱機關ノ國內到ル處ニ散在普及シ何人タルヲ問ハス一樣ニ其ノ利便ヲ享受シ得ルニ在ルヲ以テ業務ノ改善ヲ爲スノ必要ナルヤ論ヲ俟タスト雖之トト同時ニ其ノ普及ノ方面ニ力ヲ盡スコト亦最モ急要ナリトス然ルニ今引繼當時ニ於ケル通信機關分布ノ狀況ヲ見ルニ

郵便局	一二
郵便局出張所	四一
郵便電信受取所	一
郵便受取所	四六
電信取扱所	二三

臨時郵遞所　三三五

合計　四五八

ヲ以テ數フルモ此ノ中大部分ヲ占ムル臨時郵遞所ナルモノハ朝鮮人主事郡吏之ヲ兼任ス)ヲシテ單ニ簡易ナル郵便事務ヲノミ執行セシムルニ過キサルモノナレハ固ヨリ完全ナル通信機關ト稱スルヲ得サルヲ以テ之ヲ除クトキハ僅ニ百二十三ヲ殘スノミトナリ之ヲ朝鮮全土ニ割當ツレハ約百十五方里ニ付漸ク一局所ヲ有スルノ割合ニ當リ其ノ分布ノ密度頗ル稀薄ナルヲ感セサルヲ得ス卽チ一般民衆ヲシテ斯業ノ信用利便ヲ享受セシメント欲セハ少クトモ如上ノ臨時郵遞所ニ代フルニ設備十分ナル郵便局所ヲ設置シ之ニ內地人吏員ヲ駐在セシメ各種ノ通信事務ヲ執行セシムルコト急務中ノ急務ナリト謂ハサルヘカラス然レトモ經費ニ限度アリ一擧シテ之ヲ改定スルコト財政上容易ノ業ニ非サルヲ以テ暫ク隱忍シテ時機ノ到來ヲ俟チ徐々漸進ノ策ヲ講スルノ外他ニ良途ナキノ狀況ナリキ然ルニ一方舊韓國財政顧問部ニ於テハ銳意著々財政刷新ノ策ヲ講究スル所アリ卽チ新ニ金庫事務處理順序,歲入歲出處理順序,租稅徵收規程等ヲ制定シ從來郡守ハ歲入徵收官トシテ收稅事務ヲ取扱ヒ來リタルモ租稅ノ徵收ハ稅務官又ハ各郡派駐ノ稅務主事(稅務屬ニ同シ)ヲシテ歲入徵收官トシテ各納稅者ニ對シ直接納入告知書ヲ發行セシムルヲ本則トシ租稅中地稅及戶稅ニ對シテハ稅務官又ハ各郡派駐ノ稅務主事ヲシテ各面長(村長ニ同シ)ニ對シ納入告知書ヲ發行シ面長ハ徵收官ノ許可ヲ得テ其ノ面內ニ五名以上ノ委員ヲ定メ其ノ協議ヲ以テ該面內ニ居住スル納稅義務者ニ對シ金額ヲ定メ納入通知ヲ發

行シ委員中ヨリ徴收官ノ認許ヲ得テ選定セラレタル公錢領收員ヲシテ之ヲ徴收セシムルコトニ改メ郡衙所在地ニ財務署ヲ道廳所在地ニ財務監督局ヲ置キ以テ徴税ノ統一整理ヲ圖リ昔時ノ面目ヲ革メタルモ因襲ノ久シキ今俄ニ積弊ヲ芟除スルコト容易ナラサリシノミナラス一面此ノ嚴格ナル徴收制度ハ當時ノ狀況ニ照シテ尙幾分ノ非難アルヲ免レサリキ卽チ彼ノ外劃制度ノ如キハ惡弊ノ之ニ伴隨スルモノアリシモ然カモ商取引ノ上ニ於テ爲替送金ノ機關トナリ又各地方ニ於テ其ノ收納金ヲ直ニ歲出金ニ振替フル等ノ便宜モアリ金融上稗益スル所亦尠カラサリシカ改正制度ニ於テハ朝鮮全體ヲ通シテ僅々十箇所ノ金庫ヲ有スルニ過キサルニ如上ノ方法ヲ許ササリシ爲地方ノ歲出金拂渡上及一般金融界ニ尠カラサル不便ヲ與ヘタリシカ如シ而シテ改正制度ニ依ルモ郡守等ニ於テ貨幣整理上葉錢ヲ他ノ貨幣ト交換シ其ノ差額ヲ私スル如キ不正ノ手段ヲ弄スル者輩出スルモ之ヲ防止スルノ途ナシ去リトテ各郡ニ內地人官吏ヲ配置センカ之カ爲多額ノ出費ヲ要シ財政上其ノ負擔ニ堪ヘサルノミナラス尙前記金融界ノ不便ハ之カ爲毫モ救濟セラルルヲ得サリシナリ恰モ好シ此ノ時池田通信機關引繼委員長ノ提議アリ財政顧問部ニ於テハ我通信官署ヲ利用シ以テ國庫金取扱ヲ開始スルノ議ヲ決シ左ノ公文ヲ送リ來レリ

送第四九號

韓國金庫未設定ノ地方ニ於ケル國庫金ノ出納ヲ金庫事務ニ準シ執行方在韓貴省郵便局ニ囑託スルトキハ韓國政府ハ税金收納上至大ノ利益ヲ得ルノミナラス其ノ取扱金額ニ對シ爲替料トシテ相當歩合ヲ定メ實費ヲ賠償セシムルトキハ自然貴省在韓郵電事務發達ノ一助トモ可相成相互稗益不尠ト被存候ニ付貴省ニ於テ御同意ニ候ハハ其ノ執行方法ニ關シ更ニ協定被致度貴省ノ意向一應相伺度右及照會候也

明治三十八年十一月十三日

財政顧問　目賀田種太郎

韓國通信事務引繼委員長

遞信書記官池田十三郎殿

地方郵遞所改定ノ必要アルモ引繼當時遽ニ之ヲ決行スルヲ得サリシ事情ハ前既ニ記述セル如シ然ルニ今若本委託事務ヲ施行シ相當經費ノ支辨ヲ受クルニ於テハ地方通信機關ノ設備及改善上便益尠カラス前記缺陷ノ幾分ヲ補足シ得ルノミナラス本事務ノ施行ハ一面舊韓國政府ノ財政整理上ニ多大ノ援助ヲ與フルコトトナルヘキヲ以テ帝國政府ノ立場トシテ强テ自家ノ利害便否ヲ主張スルヲ許ササルモノアリ乃チ進ンテ本提議ニ同意スルコトニ部議一決シ尙其ノ經費所要額ハ之ヲ二十五萬圓ニ計上スルコトニ協定シ明治三十九年ノ初頭左記追加豫算ヲ提出シ其ノ協賛ヲ經タリ

一金二十五萬圓　韓國歲入歲出金受拂事務取扱ニ要スル經費

科目	金額	備考
俸給及諸給	七五、六八一・〇〇〇円	
奏任俸給	二、七〇〇・〇〇〇	
通信事務官	一、〇〇〇・〇〇〇	一人年額本俸千八百圓在勤俸千八百圓ツヽ、一人ノ九ヶ月分
判任俸給	七二、九八一・〇〇〇	
屬	四七〇、六一・〇〇〇	通信屬一人月額本俸三十三圓在勤俸五十圓ツヽ、六十三人ノ九ヶ月分
通信手	二五、九二〇・〇〇〇	一人月額本俸十七圓在勤俸二十八圓ツヽ、六十四人ノ九ヶ月分
旅費	六四、三二四・〇〇〇	
外國旅費	六、四三四・〇〇〇	此算出方法左ノ如シ 金一萬千七百四圓　巡檢旅費 內 金一萬千七百四圓　四等旅費 金二百三十一圓　汽車賃 一哩十錢ツヽ、二千三百八哩分卽チ一巡千百五十四哩ノ二巡 金四千二百五圓　車馬賃 一里四十錢ツヽ、一萬五百十二里分卽チ一巡五千二百五十六里ノ二巡

遞信事業費	一一〇、九五〇・〇〇〇	
共通費	三八、三一三・〇〇〇	
雇員給	三八、三一三・〇〇〇	通信事務員一人月額三十三圓ツヽ、百二十九人ノ九ヶ月分
郵便費	七一、七八一・〇〇〇	
器具機械	四、八七六・〇〇〇	八百五十六圓一局及約二十五圓ツヽ、百六十二局所分
式紙帳簿雜品	三、三六六・〇〇〇	月額五十圓ツヽ、一局二圓ツヽ、百六十二局所ノ九ヶ月分
運搬費	一、八一八・〇〇〇	月額四十圓ツヽ、一局一圓ツヽ、百六十二局所ノ九ヶ月分
雜事手當	九、四七七・〇〇〇	遞送人一ヶ月十日ツヽ、外泊スルモノトシ總員百六十二人ニ對シ一泊六十五錢ツヽヲ算出ス
	金二千四百二十四圓	日當
	一日一圓ツヽ、二千四百二十四日分	
	金四千八百四十四圓	客舍料
	一夜二圓ツヽ、二千四百二十二夜分	
	金千百七十圓	臨時出張旅費
	巡檢旅費額十分ノ一ヲ算出ス	
	金五萬千三百五十圓	赴任旅費
	赴任者總員二百五十七人ノ內百二十八人ハ一人平均二百五十圓百二十九人ハ百五十圓ツヽヲ算出ス	

現業傭人給料	四六六五六・〇〇〇	遞送人一人月額三十二圓ヲ、百六十二人ノ九ヶ月分
被服費	五五八九・〇〇〇	遞送人被服一人當三十四圓五十錢ヲ、百六十二人分

其ノ後同政府ヨリ左記通牒ヲ接受セリ

發送第二百六十二號

公函

大韓國々庫金出納取扱ヲ別紙ノ條項ニ依テ貴局ニ委託ス就テハ金庫出納役ノ答申書ノ寫ヲ御送付申上候此段御了承ノ上御施行相成度候

光武十年四月二十日

大韓國度支部大臣　閔　泳　綺

大日本國統監府通信管理局長

池田十三郎貴下

（別紙）

韓國金庫ノ設置周ネカラスシテ納稅其ノ他國庫金支撥ニ不便尠カラサルヲ以テ金庫未設地方ニ於ケル郵便局所ヲ金庫出張所トシテ大韓國々庫金ノ出納ヲ取扱ハシムルヲ利便ト認メ左ノ條項ニ依リ統監府通信管理局長ニ之ヲ委託ス

第一條　統監府通信管理局長ハ韓國金庫未設地方ニ於ケル統監府通信官署ヲ金庫出張所ニ指定シ韓國々庫金ノ出納保管ヲ取扱ハシムヘシ

第二條　韓國政府ハ統監府通信官署ヲシテ韓國々庫ノ出納保管ヲ取扱ハシムルカ爲其ノ取扱料トシテ一定ノ金額ヲ統監府通信管理局ニ仕拂フヘシ

第三條　韓國々庫金ノ取扱上必要ナル土地建物ハ韓國政府ヨリ無償ニテ之ヲ統監府通信官署ニ供給スヘシ

前項ノ場合ニ於テ特ニ增築若ハ修繕ノ必要アルトキ又ハ其ノ所在地ニ韓國々有ノ土地建物ナキカ爲特ニ私人所有ノ土地建物ヲ使用スルノ必要アルトキハ統監府通信官署ニ於テ各其ノ費用ヲ負擔スヘシ

第四條　韓國政府ハ韓國金庫事務委託銀行ヲシテ統監府通信管理局ト統監府郵便局所トノ間又ハ統監府通信管理局ト郵便爲替貯金管理所トノ間ニ於ケル資金及超過金ノ受授ヲ無償ニテ取扱ハシムヘシ

第五條　韓國々庫金ノ取扱上ヨリ生スル損害ニ關シテハ取扱者ノ故意又ハ甚シキ懈怠ニ基因スル場合ノ外統監府通信官署ハ其ノ責ニ任セス

第六條　統監府通信官署ニ於ケル韓國々庫金ノ出納保管及之ニ關聯スル事務ノ執行ニ關シテハ韓國政府ハ充分ノ協力ヲ與フヘシ

第七條　本委託條項施行ノ時期及其ノ施行ニ關スル細目竝韓國々庫金ノ出納保管ヲ取扱ハシムヘキ統監府通信官署ノ數ハ別ニ之ヲ協定ス

（寫）

庫第七九號

金庫未設地方國庫金取扱事務統監府通信管理局長ニ委託相成候趣ニテ委託條項ノ全文御通知ノ處了承仕候右各條項トモ異議無之候也

光武十年四月十九日

株式會社第一銀行京城支店副支配人

金庫出納役代理　三島太郎

度支部大臣閔泳綺閣下

右ノ條項ニ對シテハ夫々研究ノ結果大體ニ於テ支障ナキヲ認メ又第二條ノ取扱料ニ關シテハ公然協定ノ必要ヲ認メ初年度經費ハ前記追加豫算ノ査定額ニ依ルモ次年度以降ハ毎年左記ノ算出ニ依ルコトトシ

一金二十五萬圓也

韓國歳入歳出受拂事務取扱ニ要スル經費

内譯

科目	金額	備考
俸給及諸給	一〇八、五〇四、〇〇〇円	
奏任俸給	三、六〇〇、〇〇〇	
通信事務官	三、六〇〇、〇〇〇	一人年額本俸千八百圓在勤俸千八百圓ツヽ一人ノ一ヶ年分
判任俸給	一〇四、九〇四、〇〇〇	
屬	六八、〇四〇、〇〇〇	通信屬一人月額本俸四十圓在勤俸五十圓ツヽ六十三人ノ一ヶ年分
通信手	三六、八六四、〇〇〇	一人月額本俸二十圓在勤俸二十八圓ツヽ六十四人ノ一ヶ年分
旅費	五、四一五、〇〇〇	
外國旅費	五、四一五、〇〇〇	此計算方法左ノ如シ
		金五千四十五圓　巡檢旅費
		内譯
		金五千四百十五圓　四等旅費
		金百二十九圓八十錢　汽車賃
		一哩十錢ツヽ千二百九十八哩ノ一巡分
		金三百二十八圓　汽船賃
		一浬十錢ツヽ三千二百八十浬ノ一巡分
		金二千百七圓二十錢　車馬賃
		一里四十錢ツヽ五千二百六十八里ノ一巡分
		金九百七十二圓　日當
		一日一圓ツヽ九百七十二日分
		金千八百七十八圓　客舍料

遞信事業費	一三六、〇八一、〇〇〇	
共通費	五四、一八〇、〇〇〇	通信事務員一人月額三十五圓ツヽ、百二十九人ノ一ヶ年分
雇員給	五四、一八〇、〇〇〇	一局所平均月額五圓五十錢ツヽ、百六十二ヶ所分
渡切費	一〇、六九二、〇〇〇	
郵便費	七一、二〇九、〇〇〇	遞送人總員百六十二人ノ四分ノ一卽チ毎日約四十人ツヽ、交互轉換外泊スルモノトシ此延一ヶ年外泊度數一萬四千六百度ニ對シ外泊料金一人一泊五十錢ツヽトス
雜手當	七、三〇〇、〇〇〇	
現業傭人給料	五八、三三〇、〇〇〇	遞送人一人月額三十圓ツヽ、百六十二人ノ一ヶ年分
被服費	五、五八九、〇〇〇	遞送人被服一人當三十四圓五十錢ツヽ、百六十二人分

一夜二圓ツヽ九百三十九夜分

左ノ公文ヲ度支部大臣ニ送致セリ

統通計乙第二二七三號

明治三十九年五月四日

統監府通信管理局長　池田十三郎

度支部大臣閔泳綺貴下

統監府通信官署ヲ指定シ貴國々庫金ノ出納保管ヲ取扱ハシムル件ニ關シ發送第二百六十二號御照會ノ趣敬承右ハ大體異存無之候就テハ御來示ノ條項第二條ニ依ル取扱料ハ別紙ノ通取極置度候施行準備ノ都合モ有之候ニ付折返シ何分ノ御答相煩度候覆牒ヲ兼右及御協議候敬具

（別紙）

韓國々庫金出納保管事務委託條項第二條ニ依ル取扱料ハ一ヶ年金二十五萬圓トシ韓國々庫金出納保管事務委託條項實施以後ノ狀況ニ依リ互ニ協議シ其ノ金額ヲ變更スルコトアルヘシ

但シ本年度ハ創業費金五萬圓維持費一ヶ月金二萬八百二十五圓トシ取扱開始當月分ヨリ支拂ヲ受クルコト

是ニ對シ舊韓國政府ヨリ左ノ公文ヲ寄セ來リ茲ニ大眼目ノ協約ハ成立セリ

復　函

貴第二千二百七十三號公函ニ接准シ貴通信官署ヲ敝邦ノ國庫金出納保管スル所ト指定シタル事ニ付別紙御示意ノ如ク認准シ茲ニ函復ス

照亮辨理ヲ要ト爲ス

光武十年七月二十日

大韓國度支部大臣　閔泳綺

大日本帝國統監府通信管理局長

池田十三郎殿

明治三十九年五月十四日勅令第百五號ヲ以テ統監府通信官署官制中改正セラレ統監府通信官

署ハ統監ノ指定ニ依リ韓國々庫金ノ出納保管ニ關スル事務ヲ掌理シ得ルコトトナリタルヲ以テ本業務ノ執行方法ニ關スル取扱細目ヲ制定シ更ニ之ヲ左ノ書面ト共ニ舊韓國政府ニ送致シ其ノ同意ヲ求メタリ

計主甲第四二三三號

明治三十九年九月一日

統監府通信管理局長　池田十三郎

度支部大臣閔泳綺殿

統監府通信官署ヲ指定シ貴國々庫金ノ出納ヲ取扱ハシムルノ件ニ關シ別紙ノ通其ノ細目ヲ協定致シ置度候實施準備ノ都合有之候間折返シ貴答ヲ煩シ度候右及御協議候敬具

（別紙）

韓國々庫金出納委託條項施行細目

第一　歳入

第一條　歳入徴收官カ金庫所在地外ニ在ル納人ヲシテ歳入金ノ納付ヲ爲サシメントスルトキハ其ノ納入告知書ニ現金ノ納付ヲ爲サシムヘキ郵便官署ヲ指定スルコト

第二條　郵便官署ニ於テ歳入金ノ納付ヲ受ケタル場合ニ於テ納入告知書ヲ携帶セサルモノアルトキハ便宜當該郵便官署ニ於テ代用納入告知書ヲ作リ之ヲ處理スルヲ得ルコト

前項代用納入告知書用紙ハ豫メ韓國政府ヨリ供給スルコト

第三條　郵便官署ニ歳入金ノ納付ヲ受ケタル場合ニ於テ納入告知書面ノ金額ニ對シ現金カ不足スルカ又ハ其ノ現金中僞造贋造其ノ他不良ノ貨幣アリタルトキ納人カ直ニ其ノ缺額ヲ補充スルコトヲ得サル場合ニ於テハ前號ノ例ニ準シ便宜其ノ實收金額ニ對スル代用納入告知書ヲ作リ之ヲ處理スルヲ得ルコト

前項ノ場合ニ於テハ納人ヨリ提出シタル納入告知書ノ表面餘白ニ「不足納」ト朱書シ之ニ接續スル領收濟報告書領收濟通知書及領收證書ノ部ニ朱線ヲ横畫シ實收金額ニ對スル領收濟通知書ト共ニ各之ヲ當該歳入徴收官ニ送付スルコト

第二　歳出

第四條　出給命令官カ金庫所在地外ニ在ル債主ニ對シ歳出金ノ仕拂ヲ爲サムトスルトキハ出給命令及通知出給命令ニ其ノ現金ノ拂渡ヲ受ケシムヘキ郵便官署ヲ指定シ出給命令ハ債主ニ送付シ通知出給命令ハ金庫ヲ經テ郵便官署ニ送付スルコト

第五條　出給命令ノ裏面ニ署名捺印セシムルニ當リ債主カ自署スルヲ得サルカ又ハ印章ヲ携帶セサル者アルトキハ便宜郵便官署ニ於テ代筆シ債主ヲシテ拇印又ハ花押ヲ爲サシメタル上現金ノ拂渡ヲ執行スルコト

第六條　出給命令ハ其ノ裏面注意事項ノ明文ニ依リ發行ノ日ヨリ起算シ六十日ヲ經過シタルモノハ無效トシ之ニ對スル現金ノ拂渡ヲ停止スルコト

第七條　通知出給命令モ亦出給命令ト同一ノ例ニ依リ發行ノ日ヨリ起算シ六十日ヲ經過

シタルモノハ無效トシ郵便官署ニ於テハ其ノ失效ノ日ヨリ起算シ五日間留置キタル後之ヲ當該金庫ニ還付スルコト

第八條　出給命令ト通知出給命令トノ發行ノ日ハ常ニ之ヲ一致セシムルコト

第三　定額還入

第九條　郵便官署ニ於テ歳出定額還入金ノ納付ヲ受ケタルトキハ歳入金ノ例ニ準シ之ヲ處理シ其ノ領收濟通知書ニ式ノ如ク記入捺印シ還入濟通知書ト共ニ之ヲ所屬金庫ニ送付シ金庫ニ於テ相當手續ヲ爲スコト

第四　歳入歳出外現金

第十條　歳入歳出外現金ノ出納ニ關シテハ其ノ領收ノ場合ニ於テハ歳入金領收ノ例ニ準シ拂渡ノ場合ニ於テハ歳出金拂渡ノ例ニ準シ之ヲ處理スルコト

第五　現金

第十一條　通信官署ニ於テハ其ノ取扱ニ係ル收納金ヲ以テ各種ノ仕拂基金ニ充ツルコト

第十二條　通信官署ノ受拂ニ係ル國庫金ハ他ノ各種受拂金ト共ニ交互振替又ハ繰替計算ヲ以テ整理シ之ヲ取扱フコト

第十三條　金庫所在地通信官署相互ノ間ニ於ケル資金及過超金ノ受授ハ明治三十九年十月一日ヨリ金庫事務委託銀行ヲシテ無償ニテ之ヲ取扱ハシムルコト

第十四條　統監府通信官署ニ於テ韓國舊貨幣ヲ受授スル場合ハ韓國々金庫タルト否トヲ問ハス左ノ價格ニ依ルヘキヲ以テ韓國金庫又ハ其ノ事務委託銀行ニ於テモ亦之ト同一價格ニ依リ受授スルコト

一　舊白銅貨　一枚ニ付二錢五厘

二　葉錢　一枚ニ付一厘五毛

三　其ノ他ノ舊貨幣　二元ニ付一圓

韓國政府ニ於テ舊貨受授ノ價格ヲ變更シタルトキハ統監府通信官署ニ於テモ亦前項ノ例ニ準シ之ト同一價格ニ依リ受授スルコト

第十五條　統監府通信官署ニ於テ各種ノ受入金トシテ韓國舊貨幣ヲ領收スル場合ニ於テハ成ルヘク相當ノ鑑定ヲナシ白地又ハ鉛錢ノ如キ一見貨幣ト認ムヘカラサルモノハ之ヲ排除スルコト

第十六條　通信官署ニ於ケル現金ノ受授ニ關シテハ常ニ充分ノ注意ヲ拂ハシムヘキモ時ニ或ハ眞贋良否ノ判別ヲ誤ルノ虞ナキヲ保スヘカラス依テ通信官署ヨリ過超金トシテ回納スル舊貨幣ハ金庫事務委託銀行ニ於テ其ノ儘之ヲ受授スルコト

第六　精算證明

第十七條　通信管理局長ハ通信官署ノ爲シタル韓國々庫金ノ受拂ニ關シ韓國政府ニ對シ第十八條及第十九條ノ方法ニ依リ其ノ精算及證明ヲナスコト

第十八條　郵便官署ノ取扱ニ係ル國庫金ノ受拂高ハ通信管理局ニ於テ日々其ノ受拂ノ計

算整理ヲ遂ケ左ノ區別ニ依リ韓國中央金庫ニ對シ其ノ總精算受拂ヲ爲スコト

一　歳入金ニ對シテハ韓國中央金庫ニ對スル現金振替拂込書及歳入金領收高合計表ヲ作リ之ニ其ノ領收濟納入告知書ヲ添付シ一面日本國本金庫ニ對スル雜部保管金引出切符ヲ發行シ共ニ之ヲ日韓兩國金庫事務委託銀行ニ送付シ之ト引換ニ韓國中央金庫ヨリ歳入金振替振込高ニ對スル領收證書ヲ受領スルコト

二　歳出金ニ對シテハ韓國中央金庫ニ對スル代リ金振替領收證書及歳出金拂渡高合計表ヲ作リ之ニ其ノ拂渡濟出給命令ヲ添付シ一面日本本金庫ニ對スル雜部保管金拂込書ヲ作リ共ニ之ヲ日韓兩國金庫事務委託銀行ニ送付シ之ト引換ニ日本國本金庫ヨリ歳出代リ金振替領收高ニ對スル雜部金保管證書ヲ受領スルコト

三　歳出定額還入金ノ領收高ニ對シテハ歳入金ノ例ニ準シ之ヲ處理スルコト

四　歳入歳出外現金ノ領收高ニ對シテハ歳入金ノ例ニ準シ拂渡高ニ對シテハ歳出金ノ例ニ準シ各之ヲ處理スルコト

第十九條　國庫金受拂ニ關スル證據書類ノ取扱ニ關シテハ其ノ取扱主任者ヲシテ常ニ充分ノ注意ヲ拂ハシムヘキモ不測ノ事故ニ由リ時ニ或ハ毀損亡失等ノ虞ナキヲ保スヘカラス依テ是等ノ場合ニ於テハ出納官吏又ハ出納員ノ證明書ヲ以テ之ニ代用スルコト

第七　雜則

第二十條　通信官署ニ於ケル國庫金出納事務取扱ニ關スル規定ハ通信管理局長之ヲ定ムルコト

第二十一條　前條ノ外通信官署ニ於ケル國庫金出納事務ノ監督其ノ他之ニ關聯スル諸般ノ事項ニシテ通信官署ニ對シ指揮命令スヘキモノハ總テ通信管理局長之ヲ行フコト

第二十二條　韓國政府ニ於テ財政上ノ必要ニ依リ國庫金ノ出納ニ關シ通信管理局長ニ申出ル事項ニ付テハ通信管理局長ハ成ルヘク其ノ實行ヲ期スルコトニ勗ムルコト

第二十三條　前條ノ場合ニ於テ特ニ經費ノ增加ヲ要スルトキハ韓國政府ニ於テ之ヲ補償スルコト

是ニ對シ度支部大臣ヨリ左ノ回答ヲ得タリ

發送第七四四號

光武十年九月十八日

韓國度支部大臣　閔　泳綺

日本統監府通信管理局長

池田十三郎殿

第四二三三號御來牒ニ接シ候韓國々庫金出納事務委託條項施行細則ニ對シテハ各條項共別段異存無之候但シ第二十條乃至二十三條ハ當然履行スヘキ事柄ナルヲ以テ別ニ條項ヲ設クルノ必要無之削除致候方妥當ト存候條右御了知相成度此段及回答候

之ニ對シ左ノ書面ヲ發セリ

計主甲第五〇三五號

明治三十九年九月二十日

統監府通信管理局長　池田十三郎

度支部大臣閔泳綺閣下

發送第七四四號ヲ以テ韓國々庫金出納事務委託條項施行細目ニ對シテハ別段異存無之但シ第二十條乃至第二十三條ハ當然履行スヘキ事柄ナルヲ以テ特ニ條項ヲ設クルノ必要無之ニ付削除致度云々覆牒ノ趣了承致候右爲念及通牒候也

追テ韓國々庫金出納事務開始期日ノ儀ニ付曩ニ及回答候次第モ有之候處郵便局及同出張所ニ對シテハ十月一日ヨリ郵便電信取扱所及郵便取扱所ニ對シテハ其ノ設置ノ日即チ十二月一日ヨリ開始可致候條御了知相成度候

爰ニ協定ノ一段落ヲ告ケ之ヨリ愈々本業務ノ創設準備ニ入ルコトトナレリ

第二節　職員ノ選定養成及配置

明治三十九年七月二十日附舊韓國政府ヨリノ回答ニ依リ本業務ノ大綱ハ既ニ協定ヲ了シタルヲ以テ愈々之カ創設ノ準備ニ著手スルコトトナレリ而シテ本業務ノ開始期ニ付テハ舊韓國政府ニ於テ明治三十九年度地稅納期ヨリ之ヲ利用セント欲スルノ希望モアリ旁其準備ハ頗ル急ヲ要スルモノアリ又第二期開始局所ニ充當スヘキ吏員ニ關シテハ此ノ際敏速ナル方法ニ依リ採用スルニ非サレハ或ハ開始期ヲ延長セサルヘカラサルニ至ルヤモ保シ難ク去リトテ之ヲ朝鮮內ニ求ムルハ當時尙至難ナル事情アリシヲ以テ乃チ吏員ノ大部分ハ之ヲ內地ヨリ選任スルコトトシ內地各一等郵便局ニ對シ爲替貯金業務ニ經驗ヲ有スル判任吏員ノ推薦方ヲ依頼セリ現ニ當通信官署ニ勤務スル吏員ニシテ第二期開始局所ニ充當スヘキ豫定ノ者ハ同年九月初旬之ヲ當局ニ召集シ朝鮮內地ノ事情本業務委託ノ內容及其ノ取扱方法等ニ關シ之カ講習ヲ爲サシメ同月末其ノ終了ヲ告クルヤ直ニ第一期開始ノ豫定局所タル既設郵便局所ニ臨時駐在ヲ命シ十月一日ヨリ開始スル本業務ニ關スル準備ヲ爲サシムルト共ニ一面又其ノ駐在局所爲替貯金窓口吏員ニモ本業務取扱方法ヲ傳習セシメタリ

當局ノ委囑ニ依リ內地各局ノ推薦ニ係ル吏員ハ同年九月下旬ヨリ十月初旬ノ間ニ於テ著任セルヲ以テ總テ是等ノ吏員ヲ當局ニ召集シ約二十日間ニ亘リ第一回同樣講習ヲ爲サシメ第一回講習員ニシテ既設局所ニ臨時駐在ヲ命セラレタル者ト共ニ新任地駐在ヲ命シ十一月初旬夫々赴任セシメ以テ第二期開設準備ニ着手セシメタリ而シテ第二回講習員ノ將ニ其ノ任ニ赴カントスルヤ通信管理局長ハ是等吏員ニ對シ左記要領ノ訓示ヲ與ヘ本事務執行上違算ナカランコトヲ期セシメタリ

諸君ハ十二月一日ヨリ開始セラルヘキ郵便取扱所ノ所長トシテ夫々韓國內地ニ赴任セラレントス此ノ取扱所ナルモノハ諸君既ニ御承知ノ如ク郵便事務ノ全般郵便爲替及貯金事務又場所ニ依リテハ電信電話事務ヲ取扱フノ外韓國々庫金出納事務ヲ取扱フ郵便官署ニ

シテ當初吾々ノ意見ニテハ韓國ニ於ケル通信機關ヲ斯ク迄急速ニ擴張スルノ意思ニアラサリシモ韓國政府ニ於テ租稅徵收其ノ他國庫金ノ出納事務ヲ我通信機關ニ賴ルノ正確且便宜ナルヲ認メ同事務ヲ委託スルニ至リタルヲ以テ此ノ取扱所ナルモノヲ新設シ遂ニ諸君ヲ煩ハスニ至リタルナリ諸君ハ郵便事業ニ付テハ從來幾多ノ經驗ヲ積ミ幾多ノ研究ヲ重ネタルノミナラス其ノ事務ノ執行方ニ付テハ夫々綿密ナル關係法規ノ規定セラルルアリ諸君ハ其ノ規矩準繩ニ則リ嚴密正確ニ之ヲ運用セハ事務ノ執行上何等憂慮スル所ナキ事ト信スルヲ以テ此等ニ付テハ今更茲ニ呶々ノ辯ヲ費スヲ要セサルヘシ唯諸君カ取扱所長トシテノ責任及注意スヘキ事ニ付一言セント欲ス其ノ權限如何ニ小ニ其ノ部下ニ配屬スル者如何ニ少キモ凡ソ一局所ノ長トナリ巧ニ之ヲ統率制馭シ內外所務ノ圓滿整理ヲ期セントスルハ頗ル至難ノ事業ニシテ其ノ責任及注意ノ點ニ至リテハ大ナル役所ノ長官ト何等軒輊スル所アルヲ見ス如何ニ敏辣ナル事務的ノ材能ヲ有スル者ト雖一タヒ長官トナルニ於テ其ノ材能ヲ充分ニ發揮スルコト能ハサルモノアルハ吾人ノ往々見聞スル所ニシテ又以テ長官トシテ巧ニ處スルノ難キヲ想察スヘシ諸君ハ從來郵便局ノ內部ニ於テ或ハ一掛ノ長トシテ或ハ分擔事務ノ主任トシテ行動セラレタル事アランモ未タ一局所ノ長官トシテ單獨ニ一局所全般ノ經營ヲ負荷セラレタルコトハ恐ラクハ無カラン然ルニ今回ハ小ナカラモ一取扱所ノ長官トシテ一局所全部ノ責任ヲ自己ノ一身ニ荷フニ至ラントスサレハ其ノ職ニ就クニ先チ須ラク先ツ其ノ責任ノ輕カラサルコトニ思ヲ致シ從來ノ心懸態度ヲ其ノ儘襲用スルカ如キコトナク萬事一局所ノ長官タル覺悟ヲ以テ進マスンハ所務ノ整理安固ヲ期スルコト難カルヘシ凡ソ一局所ノ事務ヲシテ內外トモ圓滿ニ正確ニ敢テ一點ノ批判ヲ容ルルノ餘地ナカラシムルハ要スルニ一局所ノ長官タルヘキ者ノ能否及平素ノ心懸如何ニ在リテ存スルモノニシテ苟クモ其ノ心懸ニシテ宜カラサランカ如何ニ部下ヲ鞭撻督勵シ如何ニ焦心苦慮スルモ到底充分ナル好成績ヲ擧クルコト難シトス然ラハ取扱所長トシテノ心懸ハ如何ト云フニ他ナシ責任ノ二字ヲ充分克ク了解會得スルコト是ノミ而シテ責任ノ二字ヲ了得スルコトヲ得ハ續テ起ルヘキ問題ハ如何ニセハ十分克ク責任ヲ果スコトヲ得ルヤ否是ニシテ此ノ問題ヲ解クノ鍵ハ熱心誠實ノ外ニ求メテ決シテ得ヘカラスト信ス

諸君ノ責任ノ如何ニ重大ナルカヲ述フルニ先チ聊カ韓國ニ於ケル通信事業ノ今日ニ至レル迄ノ沿革ヲ述フルノ必要アリ韓國ニ於ケル我通信事業ノ經營ハ遠ク十數年前ヨリ創始セラレタルモ當時此ノ經營ハ帝國ノ權利トシテ韓國政府ヨリ確認セラレタリト云フニアラス唯韓國ノ經營ニ係ル通信機關ノ設備不完全ナルノミナラス之ニ信賴スルコト能ハサリシ狀態ナルヲ以テ帝國在留民ノ便益保護ノ必要上我ヨリ進ンテ通信機關ヲ設備シ韓國政府ニ於テ之ヲ默認シタルト云フニ過キスサレハ郵便局所ノ設置モ當初單ニ開港地ニノミ限ラレ其ノ數實ニ僅少ナリキ日清戰役後在留民ノ漸次各地ニ增加スルニ從ヒ郵便局所亦漸次增設セラレ明治三十八年四月ニ至リテハ郵便局所ハ實ニ四十ヲ以テ數フルニ至レ

リ然ルニ一方ニ於テ韓國政府ノ施設ニ係ル通信事業ハ其ノ經營頗ル拙劣ナルヲ以テ收支常ニ相償ハス到底改良進歩ヲ期待スヘカラサルノ狀況ナルノミナラス一國ニ兩國通信機關ノ竝立スルハ不得策タルヲ免カレサルヲ以テ寧ロ日韓兩國ノ通信機關ヲ合同シ兩國共通ノ一組織ト爲スヲ以テ經濟上及行政上得策ナルヲ認メ日韓兩國政府ハ三十八年四月一日ヲ以テ韓國通信機關委託ニ關スル取極書ヲ締結シ韓國ニ於ケル郵便電信電話事業ノ管理經營ヲ擧ケテ總テ之ヲ我國ニ委託スルニ至レリ茲ニ於テ遞信省ハ直ニ引繼官吏ヲ派シ同年五月一日ヨリ七月一日ニ至ル間ニ於テ韓國通信機關全部ノ引繼ヲ完了シ爾來鋭意著著之カ改善整理ニ努メ大ニ舊來ノ面目ヲ一新シ以テ今日ニ至レリ卽チ韓國ニ於ケル通信事業ハ韓國政府ノ委託ニ依リ我帝國政府ニ於テ全部之カ施設經營ヲ爲スノ任ニ膺リ純粹ニ帝國政府ノ事業ノ一部タルヲ以テ斯業ノ盛衰興廢如何ハ直ニ帝國ノ信用ニ影響スルノミナラス韓國ノ官民ニ取リテハ我通信方法ニ依ルノ外他ニ途ナキヲ以テ之カ便否如何ハ層一層重大ナル關係ヲ繫ケルモノト謂ハサルヘカラスサレハ諸君ハ先ツ克ク此關係ヲ頭腦ニ注入シ委託取極ノ精神ノ在ル所ヲ肝ニ銘シ帝國政府ノ經營スル事業ナルヲ以テ韓國人民ニ不便ヲ感セシムルモ毫モ意ニ介スルニ足ラスト云フ如キ觀念ヲ起スコトナク事業ノ本旨本能ヲ遺憾ナク發揮セムコトヲ努メサルヘカラス諸君ノ從事スル職務ハ其ノ內容實質ニ於テコソ日本內地ニ於ケル夫レト毫モ擇フ所ナケレ然カモ前述ノ關係ヨリ之ヲ觀レハ諸君ハ一方ニ於テ嚴然帝國政府ヲ代表シ國家ノ一分子トシテ其ノ事業ノ一部ヲ經營シツツアルナリ諸君ノ責任ノ特別ニ重大ナル所以實ニ茲ニ在リテ存セスンハアラス宜シク愼重ナル態度ヲ以テ事ニ當リ一事一物ト雖之ヲ輕忽ニセス苟モ輕擧妄動帝國政府ノ信威ヲ傷クルカ如キコトナキヲ期セサルヘカラス從來日本人ニシテ韓國內地ニ於テ事業ニ從事スル者ノ成績ヲ案スルニ往々誠實熱誠ヲ缺キ其ノ甚シキニ至リテハ知ラス識ラス周圍多數ノ韓人ニ同化セラレ不正不善ノ行爲ヲ敢テスルニ至ル者其ノ類例ニ乏シカラス此等ハ刑法ニ所罰ノ正條ナキ爲幸ニ法網ヲ逸スルコトヲ得ルナランモ吾人ノ眼ヨリ之ヲ見レハ彼等ハ明白ナル國賊ナリト謂フニ躊躇セス彼ノ千丈ノ堤モ蟻螻ノ一穴ヨリ壞ルト云フニアラスヤ若此ノ如キ不正破廉耻ノ徒輩一人ナリトモ存セハ帝國ノ信用聲價ヲ內外ニ失墜シ從テ帝國政府ノ經營ニ至大ナル障礙ヲ與ヘ遂ニ帝國ノ大方針ニ一大蹉跌ヲ來スカ如キコトアルヤ亦測リ知ルヘカラス是豈國賊ト云ハスシテ何ソヤ管理局ハ諸君ノ執務上ノ過誤ニ付テハ努メテ之カ是正ノ方法ヲ指導スヘケンモ諸君ニシテ職務ノ內外ヲ問ハス苟モ誠實ヲ缺キ正義正道ノ範圍外ニ逸スルカ如キ行動アランカ寸毫モ假借スルコトナク斷然タル處置ヲ施スノ決心ナリ是或ハ時ニ私情ニ於テ忍フヘカラサル事アランモ帝國ノ信用聲價ニ對シ斷シテ許容スヘカラサレハナリ諸君中斯ル國賊ニ類スル行爲ヲ敢テスル者斷シテコレナキハ本官ノ確ク信シテ疑ハサル所ナリト雖茲ニ本官ノ決心ヲ表白シテ豫メ諸君ノ猛省ヲ促サムトス特ニ今回諸君ノ赴任セラルル地方ハ處ニ依リテハ未タ曾テ一人ノ日本人モ在留セサル個所モ尠カラス此等ノ地ニ赴カルル諸君ハ一方帝國政府ヲ代表

スルト同時ニ又一方ニ於テハ清廉ニシテ義俠ニ富ム我大和民族ヲ代表セサルヘカラス卽チ諸君ノ性格態度一舉一動ハ直ニ大和民族ヲ代表スルコトナルヘキヲ以テ諸君ハ此ノ點ニ於テモ亦充分ニ大和民族ノ本能特質ヲ發揮シ古來聲譽赫々タル大和民族ノ神聖ナル歷史ニ對シ汚點ヲ印スルカ如キコトナキヲ期セサルヘカラス要スルニ諸君ハ職務ノ內外ヲ問ハス總テ熱心誠實ヲ以テ事ニ當リ物ニ接シ諸君ノ熱誠ヲ韓國八道ニ橫溢セシメ大和民族ノ精華ヲ發揮シテ翕然韓人ヲ感孚セシメ漸次韓國內地ノ人民ヲ文明ノ域ニ誘導スルコトヲ努メサルヘカラス

尙今回開始ノ韓國々庫金出納事務ハ事全ク創業ニ屬シ本邦內地ノ通信機關ニ於テモ未タ曾テ實施シタルコトナキヲ以テ其ノ成績ノ良否如何ハ中外萬目ノ齊シク瞻視スル所ニシテ統監閣下ニ於テモ尠カラス憂慮セラレツツアルノミナラス直接帝國及斯業ノ信用ニ關係スルヲ以テ一舉一動苟クモセス清廉謹直身ヲ持シ忠順勤勉事ニ從ヒ熱心誠實事ニ當リ苟モ帝國ノ信用及事業ノ聲價ヲ傷クルカ如キコトナキヲ期セサルカラス

以上述ヘタル所ニ依リテ諸君ハ自己ノ責任ノ如何ニ重大ナルカヲ悟了セラレタルナラムト信ス尙國庫金ノ取扱ニ付テハ韓人側ニ於テ往々誤解ヲ抱キ事務執行上其ノ他諸種ノ關係ニ於テ或ハ妨礙ヲ加ヘ或ハ不正ノ途ニ誘惑スルコトナシトセス此等ニ對シテハ能ク委託ノ精神ノ在ル所ヲ懇示スルト同時ニ事務ノ執行ニ付テハ規定ノ命スル所ニ從ヒ斷乎トシテ一歩モ曲クルコトナク所謂圓滿且嚴正ニ處置スルコト最モ緊要ナリ又諸君カ赴任後取扱所ニ充ツヘキ局舍等ニ付郡守等ト交涉ヲ要スル事項多々コレアラン此等ノ場合其ノ他外部ノ交際ニ於テハ諸君ハ成ルヘク圓滿溫容ノ態度ヲ採ルヘキハ勿論禮儀ヲ重ンシ服裝ヲ正シクシ紀律齊々所謂威有リテ猛カラサラムコトヲ期セサルヘカラス

終ニ臨ミ臨時郵遞所ニ付一言センニ從來韓國內地ニ於ケル郡郵便事務ハ各府郡ニ臨時郵遞所ナルモノ設置セラレ鄕長ナル者同所主事ヲ命セラレ一個月幾何ノ金額ノ給與ヲ受ケ郡內ニ於ケル郵便物ノ集配事務ヲ受負取扱ヒ居リ恰モ日本ニ於テ新式郵便制度創始前後ニ於テ村役場ノ吏員カ僅少手當ヲ受ケテ村內ニ發著スル郵便ノ取扱ヲ爲シタルト同シ狀態ニ在リ實ニ不完全極マルモノナリト雖兎ニ角此ノ制度ニ依リ韓國ニ於ケル地方郵便ノ通信聯絡ヲ保チツツアリ昨年韓國通信機關引繼ノ際此ノ各府郡ニ散在スル臨時郵遞所ノ引繼ニ付テハ引繼官吏ノ最モ苦慮焦心シタル所ニシテ當時事情全然不明ナルノミナラス多數ノ韓人中往々委託取極ノ精神ヲ誤解シ通信事業ハ全部日本政府ノ占領セルモノナリト速斷シ悲憤慷慨スルモノ尠カラサル等ノ事情アリシヲ以テ當時臨時郵遞所ノ引繼ハ言ハハ寄ラス觸ラス主義ヲ以テ在來ノ儘之ヲ引繼キ郡郵便ノ事務ハ從來ノ通鄕長ニ臨時主事ヲ命シ之ニ月給拾圓ヲ給與シ執行セシメ表面上ハ格別ノ支障ヲ見サル今日ノ現狀ナリ然ルニ今回韓國地方制度改正實施ノ結果鄕長ナル者廢止セラレタルニ付テハ郡郵便事務ノ執行者ハ何レ郡衙ノ主事ニ命スルコトナルヘク目下調査中ニ屬スルモ兎ニ角此ノ主事ナルモノハ將來諸君ノ配下ニ屬シ諸君監督ノ下ニ郡郵便集配事務執行ノ任ニ當ルヘキ

モノナルモ從來ノ沿革上述ノ如キモノアルノミナラス彼等ハ實際如何ニ事務ヲ執行シツツアルカ其ノ他諸種ノ關係ニ付テハ殆ント全ク未知數ニ屬シ管理局ニ於テモ此ノ郡郵便事務ノ執行方法如何ハ未決ノ問題トシテ尙未タ確乎タル方針ヲ定ムルコトヲ得サルノ有樣ナルヲ以テ諸君ハ赴任後此ノ趣味アル問題ヲ解決スル爲研究的精神ヲ以テ先ツ其ノ事務執行ノ實況ヲ十分ニ視察シ如何ニセハ最モ經濟的ニ又最モ完全ニ執行スルコトヲ得ル乎ヲ研鑽ノ上改良意見ヲ提出シ管理局ノ計畫ニ有益ナル資料ヲ供給セラレンコトヲ希望ス尙事情前述ノ如キモノアルヲ以テ主事ノ監督使役方ニ付テハ十分ノ考量斟酌ヲ要スルコトヲ注意セサルヘカラス

今ヤ朝鮮ハ諸君ノ敏腕ヲ要スルノ時代ニアラス本官ハ諸君ニ敏腕ナレト言ハス寧ロ鈍腕ナルモ克ク自己ノ責任ヲ自覺シ專心一意職務ニ誠實ニ熱心ニ勤勉スルコトヲ望マサルヲ得ス諸君ノ內若モ彼ノ朝鮮ニ來リ何カ一仕事遣ラウト云フ如キ主義ノ人アラハ此ノ際寧ロ辭センコトヲ勸告スルニ躊躇セス諸君ハ宜シク斯ノ如キ主義ヲ念頭ニタモ泛フルコトナク國家ノ一分子トシテ又大和民族ノ一人トシテ十分誠實ニ十分熱心ニ專心誠意自己ノ職務ニ奮勵努力センコトヲ切望ス尙最後ニ臨ミ諸君ニ警告スヘキハ健康ハ萬事ヲ爲スノ根本ナルヲ以テ攝生ヲ第一トシテ不衞生等ノ爲身體ノ建康ヲ害シ公ハ累ヲ職務ニ及ホシ私ハ父兄妻子ニ不安ノ念ヲ抱カシムルカ如キコトナキヲ期シ尙今回妻ヲ同行セサリシ諸君ハ事情ノ許ス限リ成ルヘク呼寄セ內ニ在リテハ團欒ノ愉快ヲ取リ安固ノ念ヲ抱キテ職務ヲ執ラルルニ至ランコトヲ希望ス

諸君ノ赴任セラルルニ際シ聊カ思フ所ヲ述ヘテ諸君ニ告ク

尙國庫金取扱局所ニ於ケル雇吏員ハ一面通譯ヲ兼ネシムル必要アリタルニ依リ鮮人中日本語ニ內地人中朝鮮語ニ熟達セル者ヲ採用シ第二期開設局所ニ配置シ又現業傭人中遞送人ハ現金遞送上ノ關係ヨリ內地人ヲ採用スルコトニ決定シ各地方ノ既設局所ヲシテ之ヲ募集セシメ新設取扱所長ト共ニ任地ニ赴カシメ集配人ハ取扱所開始ト共ニ廢止セラルヘキ郵遞所ニ勤務セル者ヲ其ノ儘成ルヘク採用スルコトトセリ當時第二回開始取扱所ニ配置セル吏員ヲ表示スレハ左ノ如シ

	赴任地名	官氏名	現駐在局所名	職氏名	現駐在局所名
	楊州	屬一九 豐田熊吉	京城局	事二〇 李善鐘	京城局
	廣州	手一四 楊孝夫	管理局	事一九 梁寅鐸	同
京	江華	手一五 田中榮治	同	主二五 朴應來	仁川局
	坡州	手一一 福井寅一郎	永登浦局	事二〇 盧學基	光化門局
	驪州	手一三 綠川孫之助	京城局	事一八 孔英澤	同
	陽智	屬七 井上貞之助	光化門局	主二五 李容承	水原局

屬トアハ通信屬、手トアルハ通信手、數字ハ俸給

事トアルハ通信事務員、主トアルハ主事ノ略、數字ハ給料

羅州	屬一八	青柳綱太郎	木浦局	事二〇 李洙奉	釜山局
綾州	屬七	片山清	京城局	事二〇 朴相浩	木浦局長興出張所
同福	手一七	大西礦三	管理局	事一八 李炳彩	木浦局
靈光	屬二二	吉田祿藏	光州局	事一九 朴墉俊	同
興德	手一七	中村盛雄	管理局	事三八 榎本明次	光州局
潭陽	屬十	小尾富久三	光州局	事二〇 李尙默	木浦局
谷城	手二〇	高木景彦	管理局	事二九 山木好太郎	釜山局

忠清北道 沃川	手一九	原田盛治	沃川受取所	事一八 金多茁	釜山鎭受取所
黃澗	手一八	原四郎	管理局	事二〇 金光天	開城局
報恩	手一八	加藤末次郎	同	事二〇 朴昌來	仁川局
鎭川	屬八	飯村武雄	光化門局	事二三 異完圭	—
槐山	手一八	別處角太郎	管理局	事三二 紡方安平	水原局
丹陽	手一二	古閑林太郎	京城局	事三〇 豐田兵三	京城局

道 恩津	屬八	小島孝太郎	江景局	事三〇 棚戌格郎	江景局
連山	屬七	村松與惣治	群山局公州出張所	事二〇 南甲祥	群山局公州出張所
全義	手一六	大野憲太郎	京城清州出張所	事二〇 黃德明	—
文義	手一七	永井國太郎	同	事二〇 丁奎明	仁川局

忠清南道 瑞山	手一五	小谷清治	平壤局	事一九 金榮濟	水原局
沔川	屬七	指方邦太郎	管理局	事一九 尹琦成	同
德山	屬七	大竹永藏	同	事二〇 裴淑鉉	同
藍浦	屬九	山崎泰吉	群山局洪州出張所	主二一 徐廷珪	同
韓山	屬二三	鈴木彰	群山局公州出張所	事二五 淺井甚三郎	同
鴻山	屬七	淺見安之	京城局	主二七 洪俊植	京城局
定山	手一九	林彪	管理局	事一七 文熙成	光化門局
禮山	手一五	品田半之助	同	事二〇 金昌謨	同
牙山	屬八	濱村武司	京城金城出張所	事一八 韓吉鎭	開城局
天安	屬八	遠山祐吉	水原局	主二五 卞鴻植	水原局

道 振威	屬二四	日高政壽	永登浦局	主二五 李驎相	同
金浦	手一〇	青屋盛泰	同	主二五 朴昌鎬	永登浦局
楊根	手一六	山中梅次郎	管理局	事一九 朴聖奎	光化門局
長湍	手一六	小川正治	同	事一八 金興文	開城局
抱川	手一一	森元末太郎	抱川繼立所	事一九 沈魯慶	平壤局
漣川	手一六	米山倉藏	京城鐵原出張所	事一九 安台煥	光化門局
南陽	手一二	高木二三	水原局	事一八 金世煥	水原局

慶尚南道	巨濟	手一六	小出豐彦	管理局
	金海	属一八	棟居保	釜山局
	咸安	手一〇	渡部寛	同
	咸陽	属九	峯留喜	管理局
	南海	手一五	松田方仲	慶州局碧潼出張所
	昌寧	属十	鈴木元之助	馬山局
	三嘉	属七	小林市作	晋州局
	陝川	手一八	泉豐	同
	居昌	手一八	大澤榮	馬山局
	固城	属八	新庄岐	同
	河東	手一六	大島武雄	管理局
	密陽	属七	赤星赤水	釜山局
慶尚南道	星州	属七	阿部敬一	大邱局
	延日	手一三	對馬溪華	管理局
	盈德	手一三	河部昇	同
	清道	手一六	玉置武夫	同
	永川	属七	成田龍次郎	釜山局慶州出張所

慶尚南道	順天	属九	信夫義連	同
	樂安	属二三	小笠原康三	同
	海南	属九	川端美壽治	木浦局長興出張所
	珍島	手一八	小野千代松	管理局
	靈巖	属六	加藤匡平	木浦局
	麗水	手一八	小川孝造	管理局
	長城	手一九	南部龍五郎	木浦局
全羅北道	淳昌	属九	櫻井忠淳	群山局南原出張所
	錦山	手一三	須藤清四郎	管理局
	鎭安	手一九	堀口源太郎	全州局
	茂朱	手一一	葛西從雄	群山局
	礪山	属一八	角田三郎	全州局
	咸悅	属一七	町田久五郎	群山局
	金堤	属八	松村敏顕	同
	泰仁	属八	川村豐三郎	同
	扶安	手一八	新田錠三	同
	蔚山	属七	田中鏡治	釜山局

慶尚南道	巨濟	手一六	李熙東	馬山局
	金海	属一八	金寶一	大邱局
	咸安	手一〇	金鶴主	同
	咸陽	属九	徐基周	同
	南海	手一五	李琪珠	釜山局
	昌寧	属十	韓科容	東萊受取所
	三嘉	属七	韓錫一	大邱局
	陝川	手一八	金東午	同
	居昌	手一八	趙璫政	同
	固城	属八	洪在殷	同
	河東	手一六	李成案	木浦局
	密陽	属七	貝原甫一	密陽受取所
慶尚南道	星州	属七	安井清英	同
	延日	手一三	伊藤榮一郎	同
	盈德	手一三	河部昇	同
	清道	手一六	玉置武夫	同
	永川	属七	成田龍次郎	釜山局慶州出張所

全羅北道	淳昌	属九	林善汝	全州局
	錦山	手一三	白文謹	群山局
	鎭安	手一九	韓浩錫	全州局
	茂朱	手一一	白井友之助	群山局
	礪山	属一八	姜斗馨	京城局
	咸悅	属一七	金昌煥	群山局
	金堤	属八	安榮鎬	同
	泰仁	属八	金建杓	同
	扶安	手一八	李德明	同
	蔚山	属七	大悟法朝治	蔚山受取所

尙慈仁	屬二一	淺野文亮	光化門局	事二〇 金龍浩	釜山局
軍威	手一四	鹽川長民	管理局	事二〇 朴守泰	同
義城	屬七	角南善藏	安東出張所 釜山局	事一八 鄭奎泰	大邱局
善山	屬二一	萩原文十郎	京城局	事二〇 宮野卯太郎	釜山局
金山	屬七	近藤正彦	金泉受取所	主二五 車錫禧	水原局
北					
青松	手一三	內田嘉一	管理局	事一九 李富成	大邱局
聞慶	手一一	渡邊廣治	馬山局	主二一 朴暢瑛	釜山局
榮川	屬八	新居眞一	釜山局 安東出張所	事二〇 金達吾	同
醴泉	屬八	永谷武次郎	尙州出張所 釜山局	主二一 金東圭	東萊受取所
興海	手一四	市原爲太郎	管理局	事一八 李圭德	大邱局
道					
淮陽	手一五	築地才喜	京城局 金城出張所	主二四 孫祚鳳	元山局
原州	手一四	淺田丈造	管理局	事三〇 清水義旭	京城局
洪川	手一四	池田泰	春川局	主二一 金華淳	春川局
伊川	手一三	佐々木千代吉	管理局	事二八 浦尾文藏	京城局
杆城	手一四	小原三藏	同	事二八 平田平太郎	元山局
平昌	屬八	金原源藏	忠州局	事二八 山田參吾	京城局
蔚珍	手一四	池田寬逸	管理局	事二五 淺野義輔	蔚山受取所
江					
通川	手一五	中村市藏	同	主二四 鄭基煥	元山局
楊口	手一五	大野藤吉	同	事二八 武村利助	京城局
三陟	手一六	福田壽一	江陵局	事三二 嘉村徹	江陵局
襄陽	手一五	川上靜一	管理局	事二八 末永良介	元山局
黃州	屬七	村越才次郎	黃州受取所	主二三 主二七 金伊 會鼎	開城局
延安	屬八	中村嘉彌太郎	京城局	主二三 秦一源	同
甕津	手一六	淺原周助	管理局	事三二 井上茂	仁川局 海州出張所
長淵	屬八	小池袈裟雄	京城局	事二九 吉山邑治	仁川局
般栗	屬七	入江武司	同	事二〇 金永柱	鎭南浦局
安岳	屬七	堀　建藏	京城局	事二〇 邊仁煥	同
載寧	屬九	安田清行	同	事二〇 全興賓	開城局
鳳山	屬八	宇野英雄	光化門局	事二〇 姜德順	安州局
平山	屬八	星野波次郎	同	事一八 金圭鉉	開城局
谷山	屬七	雨谷明作	京城局 瑞興出張所	事二七 長田重次郎	同
新溪	手一五	井上文治	管理局	事一八 李圭漢	同
黃海道					
中和	手一五	遠藤狂逸	管理局	事一七 金澤林	——
順安	手一四	宮地砧	安州局 定州出張所	事一八 朴基源	開城局

安南道	江西	手一六	棚橋貞雄	管理局	事三〇
	德川	屬一六	田村光太郎	安州局	事四三
	順川	屬八	大里榮	京城局	事二〇
	成川	屬七	滿江常次郎	同	事一八
	价川	手一六	乾義全	管理局	事二五
	陽德	手一七	勝木光六	同	主二一
平安北道	昌城	手一三	最上爲治	義州局昌城出張所	事二〇
	宣川	手一七	江川彦之丞	義州局	事二〇
	嘉山	手一四	小田部家典	安州局	事二〇〇
	龜城	手一二	小野眞乘	安州局定州出張所	事三七
	慈城	手一八	關本雄司	義州局楚山出張所	事三〇
	熙川	手一六	鈴木久右衛門	安州局寧邊出張所	事三二
	厚昌	手一七	岡崎直保	義州局江界出張所	事三五
咸鏡南道	端川	手一一	森岡綠	咸津局	事一六
	永興	手一七	上田黨	鏡城局	主二一
咸鏡北道	明川	手一六	田邊省三	咸津局明川出張所	事二六

新設取扱所ノ土地及廳舍ハ國庫金出納委託條項ニ基キ舊韓國政府ニ於テ地方府郡衙ノ一部ヲ供給スヘキコトトナレルヲ以テ當局吏員ノ各任地ニ到著ノ際ハ夫々府尹郡守等ニ於テ相當廳舍ヲ供給シ事務開始上遺憾ナカルヘシト雖朝鮮人中往々委託ノ趣旨ヲ誤解シ妄誕無稽ノ言説ヲ流布スル者アリ業務執行上影響スル所尠カラサルヘキニ由リ度支部ニ對シ重ネテ左ノ公文ヲ發シ土地廳舍ノ提供吏員ノ保護等ニ關シ支障ノ生スル如キコトナキヲ期セリ

業局甲第二六七九號

明治三十九年八月十五日

統監府通信管理局長　池田十三郎

度支部大臣閔泳綺殿

貴政府ノ委託ニ基ク國庫金ノ取扱ハ這般御協議ニ及ヒタル場所及區域ニ依リ先以テ十月一日ヨリ其ノ中ノ郵便局及郵便局出張所ニ其ノ取扱ヲ開始シ更ニ十一月一日以降漸次郵遞所ニ開設ノ見込ニ有之然ルニ郵便局及郵便局出張所ニ在リテハ從來日本人吏員ノ在勤セルモノ有之候爲既ニ日本人ノ居住ニ堪ヘ得ル家屋ノ設備モ略ホ整ヒ居リ且護衛兵士ノ配置モ有之候處郵遞所ノ所在地ニ在リテハ未タ此等ノ設備無之今回國庫金取扱ノ爲始メテ日本人吏員ノ駐在ヲ見ルニ至リ候次第ニ付左記ノ各項ニ就テハ該事務開始地ノ各郡守

第三節　廳舍ノ設備及事業用品ノ配給

ヘ御訓令ノ上遺憾ナク事務ヲ執行シ得ラルル樣御配慮相煩度右得貴意候敬具

追テ本文御訓令ノ上ハ寫一通御回付相成度候

一　國庫金取扱ニ就テハ歳入徴收官ト其ノ歳入金ヲ取扱ハシムヘキ吏員トハ同一廳舍内ニ在ルヲ利便トスルニ付鄕廳ト郡衙ト相離隔セルモノハ此ノ際鄕廳ヲ郡衙構内ヘ移設セラレ度若郡衙ノ構造ニ依リ構内ニ移シ得サルモノハ最モ郡衙ニ接近シタル場所ヘ移設セラレ度候

二　委託書第三條ニ依リ無償ニテ供給セラルヘキ家屋ハ郡衙又ハ鄕廳ト同一構内ニ於テ供給セラレ度若不得已郡衙又ハ鄕廳ニ接邇セル家屋ヲ供給相成度候

三　日本人ト韓國人トハ生活狀態自カラ異ナリ候ニ付韓國ニ利便ナル家屋モ日本人ニ在リテハ往々不便ヲ免カレス候ニ付前項供給家屋ハ可成日本人ノ住居ニ適スル樣設備供給相成度候

四　駐在ヲ命スヘキモノハ少クトモ吏員二名遞送人二名ノ見込ニ有之候最モ其ノ家族ヲ同伴スル向可有之ト被考候ニ付供給家屋ハ少クトモ事務室ノ外五室以上ヲ要シ候

五　若吏員以下ヲ收容スヘキ國有ノ土地家屋ナキ場合ニ在リテハ相當ノ家屋ヲ可成郡衙又ハ鄕廳附近ニ於テ搜索セラレ度候

六　日本人ニ於テ國庫金ヲ取扱フニ就テハ事理ニ暗キモノハ視テ以テ日本人ノ收得スルモノト誤解シ時ニ不慮ノ椿事ヲ惹起スルノ虞ナキヲ難保候ニ付特ニ此ノ點ニ就テハ誤解ヲ生セサル樣一般人民ヘ周知ノ手段ヲ講セラレ度候

七　吏員以下ノ駐在ニ付テハ幾多ノ不便ヲ免レサルヘクト被認候ニ就テハ萬事當該郡守及鄕長以下ニ於テ適當ノ便宜ヲ與ヘラレ度候

八　國庫金取扱ニ關スル委託ノ主旨ハ各觀察使及郡守ヘ訓令セラレ度候

九　以上各項ハ充分咀嚼シ得ル丈ノ說明ヲ付シ實行期日迄ニ相當準備シ得ラルル日取ヲ圖リ御訓令相成度候尙國庫金取扱ニ關係ヲ有スル觀察使及郡守ニ對シ貴大臣及內部大臣連署ニテ別紙ノ趣旨ニ依リ訓令ヲ發セラルル樣致度候

但訓令濟ノ上ハ其ノ日時御一報相成度候

（別紙）

各觀察使ヘ訓令ノ分

韓國金庫ノ設備尙未タ洽ネカラス納稅其ノ他國庫金支撥上不便尠カラサルニ付今般統監府通信管理局長ニ委託シ之カ出納ヲ取扱フコトトシ貴地設置ノ郵便局及貴管下左記各郡所在ノ郵便局ニ於テ該取扱ヲ開始スルニ就テハ不日統監府通信管理局ヨリ吏員以下數名ヲ派遣駐留セシメ其ノ取扱ヲ爲スヘキカ故ニ郡衙又ハ鄕廳ト同一構內若クハ之ニ接邇セル場所ニ於テ右取扱事務室ノ外該吏員以下ノ住所トシテ少クモ五室以上ヲ有スル家屋ヲ選ミ其ノ生活ニ適應スル設備ヲ加ヘ之ヲ無償ニテ供給セシムル樣郡守ヘ御指示相成度又該吏員ニ於テ國庫金ノ出納ヲ取扱フニ就テハ事理ニ暗キモノハ我政府カ之ヲ委託シタル

事ヲ思ハス視テ以テ日本人カ韓人ノ財囊ヲ吸收スルモノト誤解シ時ニ不慮ノ椿事ヲ演出スルカ如キコトアルニ於テハ委託ノ實ヲ空フスルニ至ル而已ナラス之カ爲日韓兩國間ノ平和親睦ヲ傷フコトナキヲ保シ難ク頗ル遺憾ノ次第ニ付能ク我政府ノ意ヲ諒シ特ニ此ノ點ニ就キ誤解ヲ生セサル樣人民周知ノ方法ヲ講究相成度而シテ各郡駐留ノ該吏員以下ハ生活上ノ狀態ハ言フ迄モナク人情風俗氣候等總テ特異ナル土地ニ來リテ勤務シ我政府ノ委託事業ニ就キ精勵セントスルモノニ付郡守ニ對シテハ別ニ訓令相成候得共尙貴官ヨリモ郡守以下ニ於テ便宜ヲ與ヘ該吏員以下ヲシテ顧慮スル所ナカラシムル樣可取計旨嚴命有之度右及通達候也

（別紙）

各郡守ヘ訓令ノ分

韓國金庫ノ設備尙未タ洽ネカラス納稅其ノ他國庫金ノ支撥上不便尠カラサルニ付今般統監府通信管理局長ニ委託シ其ノ地郵便官署ニ於テ之カ出納ヲ取扱フコトト致候ニ就テハ不日統監府通信管理局ヨリ吏員以下數名ヲ派遣駐在セシメ其ノ取扱ヲ爲スヘク本件ニ關スル詳細ノ手續等ハ別ニ度支部大臣ヨリ訓令シ尙觀察使ヨリモ通達セラルヘキ筈ナルモ要スルニ從來ノ國庫金出納手續ヲ一變スルモノニ付此間諸種ノ誤解ヲ來スコトナキヲ難保候條充分左記各項ニ注意シ委託ノ實ヲ全カラシムルハ一ハ其ノ官ノ職責タルコトヲ記憶シ圓滿ニ其ノ運用ヲ期圖スヘシ

一　國庫金取扱ニ就テハ郡衙ト郵便官署ト同一廳舍內ニ在ルヲ便宜トスルニ付鄕廳ノ郡衙ト離隔セルモノハ之ヲ郡衙構內ヘ移シ若シ家屋ノ都合ニ依リ同一構內ヘ移シ難キトキハ郡衙ニ接近セル場所ヘ移設スヘシ

二　吏員以下ニ無償ヲ以テ供給スヘキ家屋モ郡衙鄕廳ト一構內若ハ之ニ接近セル場所ニ於テ選擇シ其ノ居住ニ適スル設備ヲ加ヘ事務室ノ外少クモ五室以上ヲ供給スヘシ

三　若吏員以下ヲ收容スヘキ國有ノ土地家屋ナキ場合ニ在リテハ相當ノ家屋ヲ郡衙又ハ鄕廳附近ニ於テ搜索スヘシ

四　國庫ノ出納ヲ委託スルニ就テハ事理ニ暗キモノハ我政府カ之ヲ委託シタルコトヲ思ハス見テ以テ日本人カ收得スルモノト誤解シ時ニ不慮ノ椿事ヲ惹起スルカ如キコトアルニ於テハ委託ノ實ヲ擧ケ難ク延テ日韓間ノ國交ヲ傷フニ至ルヘキニ付特ニ此ノ點ニ注意シ委託ノ事由ヲ闡明スル爲メ適當ノ方法ヲ以テ一般人民ニ普告シ心得違ノモノヲ生セサル樣深ク注意スヘシ

五　駐在吏員以下ハ我政府ノ事業ヲ行フ爲メ人情風俗氣候等特異ナル土地ニ在勤スルモノニ付彼等ヲシテ喜ンテ永ク其ノ地ニ留マル樣百事優遇ヲ與フヘシ

右ニ對シ度支部大臣ヨリ左ノ公文ヲ受領セリ

發送第六百五十五號

光武十年八月二十八日

第二章　業務ノ創設

統監府通信管理局長池田十三郎殿

度支部大臣　閔　泳　綺

本月十五日附御照會ニ接シ候處國庫金取扱區域中既設郵便局及同出張所々在地ニ於テハ來ル十月一日ヨリ事務御開始ノ事ニ相成候モ其ノ他ハ十一月一日以後ニ於テ漸次郵遞所ヲ御開設ノ趣ニ候得共要スルニ國庫金出納ヲ各道共同時ニ施行スルコト必要ニ候ヘハ十一月十五日以內ニ於テ各郵遞所ヲ同時ニ御開設ノコトニ御取計ノ上其ノ期日豫メ御通知相成候ヘハ本部ヨリ更ニ各當該郡ヘ通牒ノ上之カ實施ニ際シ混雜等無之樣致度ニ付御了承ノ上郵遞所御開始ノ期日御明示相煩度此段及御照會候

追テ十三道觀察使及各郡守ヘ訓令ノ主意謄寫ノ上及御送付候

（訓令案寫）

光武十年八月二十五日

度支部大臣　閔　泳　綺

觀察使閣下

金庫ノ設備未タ完全ナラスシテ收稅及支拂ニ關スル不便尠ナカラサル爲統監府通信管理局ニ委託シ各道ニ既設セラレタル支金庫ノ外在來郵便局所在地及其ノ他ニ郵遞所ヲ加設シ各種ノ稅金ヲ徵收シ中央金庫ニ爲替又ハ現金ヲ以テ納付セシムヘキニ付道內既設ノ郵便局及各郡ニ新設スル郵遞所ニ於テ之カ徵收事務ノ開始ニ關シ不日統監府通信管理局ヨリ吏員以下數名ヲ派遣駐在セシメ其ノ事務ヲ執行セシムヘキニ依リ之ニ關シ心得ヘキ事項別紙ノ通訓令候ニ付之ニ依リ管內各郡ヘ移牒ノ上一般人民ヘ郡守ヨリ篤ト說諭セシメ特ニ其ノ實行ニ努ムル樣致サレ度尙實施ノ模樣一先報告セラルヘシ

（郡守ヘノ訓令案ハ本文中管內各郡ヘ移牒ノ上ヲ除クノ外同文）

（別紙）

一　出納ノ取扱順序ハ光武九年六月二十四日本部令第五號ニ依リ施行スルコト

二　郵遞所ヲ設置スヘキ場所ハ稅金納付方ノ便宜ニ隨ヒ之ヲ一郡若ハ二三四郡ヲ併合シ其ノ區域ヲ定メ別紙ニ記載スヘキニ依リ各其ノ區域ニ依リ期限ニ趁リ納付スルモノトシ支拂命令書モ又各其ノ區域ニ依リ請求スルコト

三　國庫金取扱ニ對シテハ郡衙ト郵便官署ヲ同一場所ニ置カサルヘカラサルニ依リ鄕廳ニシテ郡衙トノ距離遠キモノハ之ヲシテ郡衙ノ構內ニ移轉セシムヘシ若同一構內ニ移轉方困難ナル場合ニ於テハ可成郡衙ト接近セル場所ニ移轉セシムヘシ

四　吏員以下ニ供給スヘキ家屋ハ無賃トシ其ノ居住ニ適當ナルモノヲ以テ事務室ノ外五室以上ヲ供給スヘシ

五　右二項ノ家屋ニシテ俱ニ其ノ供給ニ困難ナル場合ニ於テハ郡衙及鄕廳ノ附近ニ於テ相當ナル家屋ヲ求ムヘシ但シ官有家屋ニ增築修繕又ハ私有土地建物ヲ買收使用スルトキハ通信官署ニ於テ其ノ費用ヲ負擔スルコト

六　國庫金ノ出納ヲ委託セシニ對シ事理ニ明カナラサルモノハ我政府ノ委託セルコトヲ思ハスシテ日本人ノ收得スルモノト誤解シ或ハ意外ノ事件ヲ惹起スルノ虞ナキニシモアラス斯クノ如キハ委託セシ事實ヲ擧ケ難キモノニシテ國交モ亦之ニ依リ損傷スヘキモノナルニ依リ篤ト此ノ邊ニ注意ヲ加ヘ委託セシ事由ヲ一般人民ニ說諭納得セシメ異議ヲ唱フルコトナカラシムヘシ

七　駐在吏員以下ハ我政府事業ノ爲ニ人情風俗氣候ノ異ナレル地ニ於テ勤務スルモノナレハ該人等ヲシテ自カラ滿足喜悅シテ永遠在留スヘキ樣萬事ニ優待ヲ與フヘシ

右度支部大臣ヨリノ照會ニ對シ十月一日開始以外ノ百二十五個所ハ成ルヘク十一月十五日迄ニ事務開始ノコトニ取計フヘキ旨ヲ回答シ又一面通信管理局長名ヲ以テ各郡守等ニ對シ左記通牒ヲ發シ注意ヲ喚起セリ而シテ開始期ヲ十一月十五日以前ニ豫期シタル百二十五個所ハ事務開始ノ準備整ハサル處アリシヲ以テ十二月一日ヨリ開始ノコトニ變更スル旨同年九月二十日度支部大臣ニ通知セリ

業局甲第三二二二號ノ二

明治三十九年九月三日

統監府通信管理局長　池田十三郎

各郡守座下

今回貴國政府ノ委託ニ基キ貴地郵遞所ニ於テ國庫金ノ取扱ヲ開始候ニ就テハ來ル十一月迄ニ當局所屬吏員以下ヲ派シ貴地ニ駐留セシムル筈ニ有之本件ニ就テハ既ニ度支部大臣ノ訓令ニ依リ委細御領承ノ事トハ被存候得共要スルニ今回ノ取扱タル從來ノ國庫金出納手續ヲ一變スルモノニシテ此ノ間種々ノ誤解ヲ生スルコト無キヲ保シ難キヲ以テ特ニ本官ヨリモ申進候ニ付充分左記ノ各項ニ御留意ノ上圓滿ニ貴政府委託事業ノ運用ヲ期圖セラルル樣百事周到ノ御配慮相煩シ度右得貴意候敬具

一　國庫金取扱ニ就テハ歲入徵收官タル貴官ト其ノ歲入金ヲ取扱フ吏員トハ同一廳舍內ニ在ルコト執務上ノ便利アルノミナラス人民ヲシテ貴政府委託ノ事實ヲ知ラシムルニモ又利便ナルニ付鄕廳ト郡衙ト相離隔セルモノハ此際鄕廳ヲ郡衙構內ヘ移設セラレ若郡衙ノ構造狹隘ニシテ其ノ構內ヘ移シ得サルモノハ最モ郡衙ニ接近シタル場所ニ移設スルヲ要シ候

二　委託書第三條ニ依リ無償ヲ以テ吏員以下ニ供給セラルヘキ家屋モ前項ト同樣ノ理由ニ依リ郡衙又ハ鄕廳ト同一構內若クハ之ニ接邇セル家屋ヲ要シ候

三　日本人ト韓國人トハ生活狀態自ラ異ナリ韓國人ニ利便ナル家屋モ日本人ニ在リテハ往々不便ヲ免レス候ニ付前項供給家屋ハ可成日本人ノ住居ニ適スル樣設備相成度候其ノ駐留セシムヘキ者ハ少クトモ吏員二名遞送人一名ニシテ自然家眷ヲ同伴スル向モ可有之ニ付少クトモ事務室ノ外住居トシテ五室以上ノ供給ヲ要シ候

四　日本人吏員ニ於テ國庫金ヲ取扱フニ就テハ事理ニ暗キモノハ視テ以テ日本人カ韓國

人ノ財囊ヲ吸收スルモノト誤解シ時々不慮ノ椿事ヲ演出スルカ如キコトアルニ於テハ曾ニ貴政府委託ノ實ヲ空フスルニ止マラス之カ爲國交ヲ損傷スルニ至ル如キ不祥ヲ釀シ徒ニ事端ヲ滋クスルハ遺憾ト存候ニ付特ニ此ノ點ニ就テハ誤解ヲ生セサル樣一般人民ヘ周知ノ手段ヲ講セラレ度候

五　駐留吏員以下ハ貴政府ノ委託事業ニ精勤センカ爲貴地ニ赴クモノナルモ氣候風俗人情等總テ皆異ナリ事情往々疏通セス不便ヲ極ムヘキニ付公私共百事便宜ヲ與ヘラレ度候

六　前各項ハ之ヲ貴官ヨリ鄉長以下郡吏員ニ訓達シ更ニ遞次面村長ヨリ一般人民ヘモ普告シ心得違ノ者ヲ生セサル樣御取計相成度候

而シテ前記ノ通牒ニ對シ郡守中郡衙廳舍頽敗又ハ狹隘ノ故ヲ以テ到底局舍供給不可能ノ旨復申シ來リタル向アリシモ已ニ開始期ノ切迫セル際是等ノ廳舍ヲ急速修繕又ハ改築スルカ如キハ頗ル至難ノ事タルヲ以テ斯ル場合ハ通信官署吏員ニ於テ實檢ノ上漸次設備ヲ加フヘキニ依リ差向郡衙ニ於テ現在使用シツツアル廳舍ノ幾部ヲ便宜繰合セ供給セシムヘク各道觀察使ヲ經テ地方郡守ヘ訓令相成度旨ヲ度支部大臣ニ對シ照會シ尙是等ノ消息ヲ新設取扱所長ニ悉知セシムルハ郡守トノ交渉ニ於テ利便アリト認メ左ノ公文ヲ發シ事務開始上萬遺憾ナカランコトヲ期セシメタリ

業局甲第四九四七號

明治三十九年十月二十五日

業務課長

計理課長

各取扱所長宛

取扱所ノ事務室及吏員住所ノ供給方ニ就テハ曩日度支部大臣ヨリ各觀察使及郡守ニ通牒致置候ニ付各郡孰レモ充分ノ便宜ヲ與ヘラルルコトトハ信シ居候得共山間又ハ僻地ノ郡ニ在リテハ郡衙ノ規模狹小ニシテ從テ所屬官有家屋少ナク其ノ供給セルモノ或ハ所要ノ室數ニ滿タサルカ又ハ壞敗ノ部分太甚シク直ニ之ヲ使用シ難キモノモ之レ有ラン歟ト被存候得共急速之ヲ如何トモ難致ニ付右樣ノ場所ニ在リテハ差向郡衙用完全ナル家屋ノ幾部分ヲ割キテ之ヲ供給セシムルコトニ度支部ト協議シ此ノ旨度支部大臣ヨリ觀察使ヲ經テ各郡守ニ訓令相成候ニ付右御了知ノ上若其ノ供給セラレタル家屋ニシテ所要ノ室數ニ滿タサルカ又ハ壞敗太甚シキモノ有之候ハハ郡守ヘ御交渉ノ上衙內完全ナル家屋ノ幾部分ヲ指定シ之ヲ申受ケラルル樣御取計可相成依命及通牒候

然ルニ茲ニ最モ困難ヲ感シタルハ執務上必要ナル器具類ヲ新設取扱所ニ供給スルコト是ナリキ何トナレハ當時國內ノ道路ハ自然ノ荒敗ニ委ネ車輛ヲ通スルニ適スル通路ナク河川ハ自然ノ氾濫ニ任セ渡ルヘキノ橋梁ナク到ル處峻嶮ナル山路橫在シテ交通ノ便ヲ塞キ貨物ハ人肩馬背ヲ藉ルニ非サレハ輸送シ得サルノ狀態ニシテ而カモ新設取扱所ノ多クハ鐵道沿線ヨリ隔離シ交通頗ル不便ナル箇所ニ位スルヲ以テ斯カル僻遠ノ地ニ器具類ヲ送付スルハ運搬上ニ大ノ

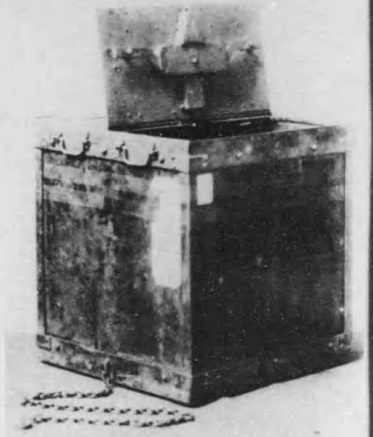
費用ト日時ヲ要スヘケレハナリ卽チ是等不便ノ地方ニ散在スル取扱所ニ配給スヘキ器具類ハ其ノ運送ノ便ヲ計リ特種ノ構造ニ依ラシメサルヘカラサルヲ以テ特ニ輕便ヲ主トシテ考案ヲ廻ラシ可成組合セ又ハ折疊式ニ作製スルコトトシ机椅子ノ如キハ折疊ミテ之ヲ大行嚢ニ納メ遞送シ得ル如クシ金庫ノ如キモ亦數個ニ分解梱包ニ便ナラシムル如ク作製セシメタリ而シテ是等ノ器具ハ其ノ使用ニ於テ毫モ不便ナキノミナラス机ノ如キハ之ヲ寢臺ニ應用シ朝鮮特有ノ臭蟲(南京蟲)ヲ避クルニ足リ又金庫ハ耐火力ヲ有セサルモ盜難等ニ對シテハ何等ノ懸念ヲ要セサリキ又取扱所設備ニ關スル各郡守ノ復申及豫メ開設豫定地方ヲ巡視セシメタル當局吏員ノ復命ニ依リ提供ノ廳舍ハ何レモ多少ノ修理ヲ要スルモノ尠カラサルト其ノ他諸種ノ設備上相當加工ノ必要アルヲ認メタルモ任地ニ於テ木工ヲ傭役スルノ便ナキヲ慮リ赴任各所長ニ大工道具ヲ配給携行セシメ尙第一回渡切經費ニ相當增給シ之ニ依リ自ラ調達處辨スヘキヲ命シタリ因ニ當局及各管理事務分掌郵便局ヨリ開始取扱所ヘ配給シタル物品ヲ擧クレハ左ノ如シ

郵便及電信取扱所交付品數量及見積代價調書

品名	單位稱呼	見積單價	通信管理局交付品		指定局交付品		計	
			數量	見積代價	數量	見積代價	數量	見積代價
組立卓子	組	二三〇〇〇円	一	二三〇〇〇円			一	二三〇〇〇円
折疊金庫	個	二七〇〇〇	一	二七〇〇〇			一	二七〇〇〇
折疊椅子	脚	二四〇〇	三	七二〇〇			三	七二〇〇

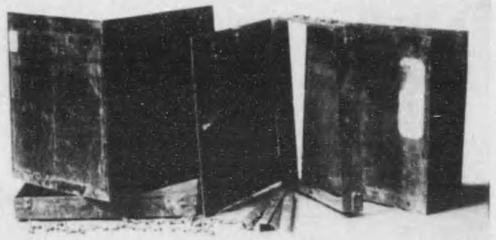
國庫金事務開始ニ伴ヒ取扱郵便局所ニ配給セル器具ノ一部（其ノ一）

折疊金庫



組立テタル圖

折疊金庫



分解シタル圖

組立卓子

組立テタル圖

分解シタル圖

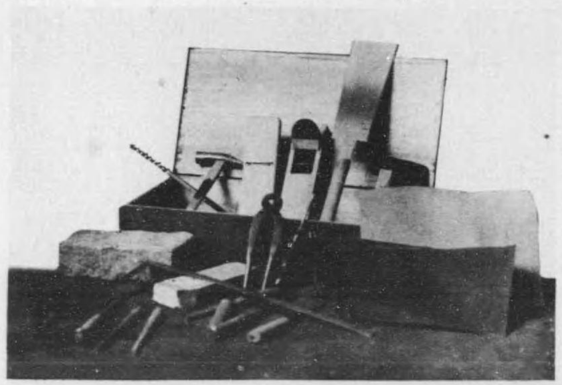
國庫金事務開始ニ伴ヒ取扱郵便局所ニ配給セルル器具ノ一部（其ノ二）

桝　錢　ト　子　椅　疊　折

桝錢ト子椅ルタテ立組

折疊ミルタ椅子ト大工道具箱

大　工　道　具



藥　　籠

本器ハ醫療機關ノ缺如セル地方所在ノ郵便局所ニ交付セラルモノナリ

大工道具	組	八・五〇〇	一	八・五〇〇		一	八・五〇〇
錢桝	個	一・五〇〇	一	一・五〇〇		一	一・五〇〇
算盤	同	一・〇五〇	一	一・〇五〇		一	一・〇五〇
肉池	同	一〇〇	三	三〇〇		三	三〇〇
硯石	同	二三〇	一	二三〇		一	二三〇
打込錐	本	〇八〇	一	〇八〇		一	〇八〇
截物庖刀	挺	五二〇	一	五二〇		一	五二〇
官印（出納員印ノ）	個	二八三	一	二八三		一	二八三
所印	同	二四四	一	二四四		一	二四四
所長印	同	二一五	一	二一五		一	二一五
爲替主務者印	同	二五四	一	二五四		一	二五四
貯金主務者印	同	二一四	一	二一四		一	二一四
雜印（所長記名）	同	一八五	一	一八五		一	一八五
雜印（出納員記名）	同	一八五	一	一八五		一	一八五
雜印（不足納）	同	一八五	一	一八五		一	一八五
雜印（他管區轉入）	同	一八五	一	一八五		一	一八五
內國郵便編	部	九〇〇	一	九〇〇		一	九〇〇

品名	單位稱呼	見積單價	通信管理局交付品 數量	通信管理局交付品 見積代價	指定局交付品 數量	指定局交付品 見積代價	計 數量	計 見積代價
爲替貯金編	部	円 九〇〇	一	円 九〇〇			一	円 九〇〇
庶務編上	同	一・八〇〇	一	一・八〇〇			一	一・八〇〇
會計編下	同	九〇〇	一	九〇〇			一	九〇〇
韓國々庫金出納日計簿	冊	四一八	二	八三六			二	八三六
同國庫金假入簿	部	(百)一・〇一〇	一〇〇	一・〇一〇			一〇〇	一・〇一〇
同國庫金假出簿	同	(百)一・〇一〇	一〇〇	一・〇一〇			一〇〇	一・〇一〇
韓國出給案內書留簿	枚	(百)三一〇	三〇	〇九六			三〇	〇九六
同歲入金領收簿	冊	一・六五〇	二	三・三〇〇			二	三・三〇〇
同歲出金拂渡簿	同	一・六五〇	二	三・三〇〇			二	三・三〇〇
半紙全面回議用紙	帖	(四十枚)〇・七〇	一〇	七〇〇			一〇	七〇〇
半紙全面罫紙	同	(同)〇・一七〇	二〇	一・四〇〇			二〇	一・四〇〇
半紙半葉罫紙	同	(同)〇・三五	一〇	三五〇			一〇	三五〇
美濃全面罫紙	同	(同)一〇〇	二	二〇〇			二	二〇〇
半紙白紙	同	(二十枚)〇・二五	五	一二五			五	一二五
罫入西洋紙	同	(十二枚)一・一〇	三	三・三〇			三	三・三〇

吸取紙	枚	〇・四五	一	〇・四五			一	〇・四五
西ノ內大封皮	同	(百枚)五・八〇	五〇	二九〇			五〇	二九〇
同中封皮	同	(同)五・五〇	五〇	二七五			五〇	二七五
鼠色小封皮	同	(同)二〇〇	二〇〇	四〇〇			二〇〇	四〇〇
美濃板目紙	同	〇・二八	一〇	二八〇			一〇	二八〇
半紙板目紙	同	〇・二五	一〇	二五〇			一〇	二五〇
黑色炭酸紙	鍾	(五十枚)六〇〇	一	六〇〇			一	六〇〇
朱肉	同	(百匁)一・九五〇	一	一・九五〇			一	一・九五〇
黑肉	同	(三百匁)一・〇〇	一	一・〇〇			一	一・〇〇
黑インキ	壜	〇・六〇	一	〇・六〇			一	〇・六〇
赤インキ	同	〇・六〇	一	〇・六〇			一	〇・六〇
角筆	本	一一〇	二	二二〇			二	二二〇
ペン先	同	〇一〇	二	二二〇			二	二二〇
ペン軸	同	〇・八〇	二	一・六〇			二	一・六〇
水筆	同	〇三〇	五	一五〇			五	一五〇
鉛筆	同	〇一〇	六	〇・六〇			六	〇・六〇
墨	同	二〇〇	一	二〇〇			一	二〇〇

品名	單位稱呼	見積單價	通信管理局交付品		指定局交付品		計	
			數量	見積代價	數量	見積代價	數量	見積代價
金引絲	玉	円 二〇	二	円 二四〇		円	二	円 二四〇
西洋蠟燭	打	二四〇	一	二四〇			一	二四〇
把束用クゴ繩	把	一五〇	五	七五〇			五	七五〇
生麩	合	〇三五	二	〇七〇			二	〇七〇
炭酸紙用鐵葉板	枚	〇五五	二	一一〇			二	一一〇
火鉢	個	四〇〇			二	八〇〇	二	八〇〇
湯沸	同	五〇〇			一	五〇〇	一	五〇〇
火箸	同	一〇〇			一	一〇〇	一	一〇〇
十能	同	二〇〇			一	二〇〇	一	二〇〇
五徳	同	一〇〇			一	一〇〇	一	一〇〇
洗面器	同	五〇〇			一	五〇〇	一	五〇〇
角燈	同	五〇〇			二	一・〇〇〇	二	一・〇〇〇
バケツ	同	五〇〇			二	一・〇〇〇	二	一・〇〇〇
石油ポンプ	同	一〇〇			一	一〇〇	一	一〇〇
箒	同	三〇〇			一	三〇〇	一	三〇〇
塵取	枚	二〇〇						
雑巾及布巾	同	一〇〇						
合計				九六・二八七	二	五〇〇〇	二	一〇一・二八七
					二	二〇〇	二	二〇〇
					一	二〇〇	一	二〇〇

第四節　現金遞送方法及遞送道路

本節ニ於テ現金遞送囊ノ査定ヲ說クニ先タ舊韓國貨幣制度ノ既往ニ於ケル沿革及本業務實施當時ニ於ケル狀況ヲ概說センニ抑々同國ニ於ケル貨幣ハ高麗成宗ノ十五年(四曆九九六年本朝一條帝長德二年)鐵錢ヲ用ヰタルヲ以テ嚆矢トシ後百餘年ヲ經テ肅宗ノ六年銀一ヲ制トシテ銀瓶ヲ造リ翌七年正圓方孔ノ銅錢ヲ鑄造シタルモ僅ニ酒舖ノ類ニ受授スルニ止マリ普ク民間ニ流通セス交易ハ依然米布ヲ以テセリ後高麗朝滅亡シ朝鮮ノ太祖政權ヲ掌握セシヨリ以降約五百年(一四三九年至一八九四年本朝自後小松帝明德三年至明治二十七年)間貨幣制度ハ變遷興廢極リナク歷代皆幣制ノ統一ニ苦心畫策シタリ今其ノ變遷ノ重ナルモノヲ擧クレハ太宗ノ元年(西曆一四〇一年本朝後小松帝慶永八年)始メテ楮幣ヲ發行シ同時ニ銀瓶ノ通用ヲ禁シタリシカ後世祖ノ九年(西曆一四六四年本朝後花園帝寬正五年)ニ至リ楮幣ノ流通スルニ從ヒ漸ク損傷ノ弊ニ堪ヘサリシカハ其ノ補充トシテ箭幣ノ硬質ヲ發行シタルモ一般ニ流布スルニ至ラスシテ其ノ跡ヲ絕チ單リ楮幣制度ノミ殆シト二百年間持續シ當國ニ於ケル幣制中他ニ其ノ類例ヲ見サリシカ夫ヨリ後孝宗ノ時(西曆一六五〇年本朝後光明帝慶安三年)交易ニ麤布ヲ用ウルヲ禁シ官鑄ノ外ニ私鑄ヲ許シ或ハ遼東ノ唐錢ヲ輸入シ一般民間ニ用錢ヲ奬勵シタルモ種々ノ弊害發

生シタルヲ以テ同王ノ七年終ニ用錢ノ令ヲ撤廢セシカハ世ハ再ヒ米布ノ交易トナレリ降リテ近世ニ至リ太皇帝ノ三年（西暦一八六六年本朝孝明帝慶應二年）時ノ攝政大院君景福宮造營ノ資ニ窮シ新當百錢ヲ造リ實價伴ハサルモノヲ强制通用セシメ庶民之カ爲苦ミタリト事態既ニ斯ノ如クナルニ此ノ間戰亂數々起リ濫鑄僞造又ハ密輸入等頻リニ行ハレタル爲幣制ノ紊亂其ノ極ニ達シ又殆ント收拾スヘカラサルニ到レリ茲ニ於テ大皇帝ノ二十八年（西暦一八九一年本朝明治二十四年）之カ救濟策トシテ典圜局ニ命シ新貨ヲ發行セシムルト同時ニ帝國政府ヨリ顧問ヲ聘シ新式貨幣ヲ鑄造セシモ未タ汎ク流通スルニ至ラスシテ日露戰役開始セラレタリ後同皇帝ノ三十一年銀貨本位ヲ採用シ新式貨幣發行章程ヲ發布シ茲ニ始メテ成文ノ貨幣制度ヲ見ルニ至リタルモ其ノ實蹟見ルヘキモノナク却テ諸種ノ弊害ヲ釀生セリ是政府ノ當路者ヲ始メ一般民衆ニ至ル迄貨幣ノ眞理ヲ了解セサルモノ多ク貨幣鑄造ヲ以テ恰モ一種ノ營利事業ノ如ク思惟シ當初本位貨幣タル五兩銀貨ノ發行ヲ減シ鑄造利益ノ多キ白銅貨ヲ濫發シタルノミナラス特許料ヲ納付セシメテ私鑄ヲ許可シ其ノ甚シキニ至リテハ官吏ハ官製ノ極印ヲ貸與シ又ハ一面ニ於テハ私鑄ノ白銅貨ヲ以テ葉錢ニ交換シ以テ私利ヲ逞ウスル者スラ生スルニ至リタル結果巨額ノ僞造白銅貨民間ニ氾溢シ其ノ流布全土ニ洽ネク本位貨幣及葉錢ヲ驅逐シテ品質粗惡ノ白銅貨ノ外ニ通貨ナキカ如キ奇觀ヲ呈セリ今國庫金出納保管事務開始當時ニ於ケル白銅貨及葉錢ノ主ナル流通區域ヲ示セハ左ノ如シ

白銅貨流通區域

葉錢流通區域

（京畿道、忠清南道、忠清北道、江原道杆城以南沿海岸ヲ除ク）黃海道（平安南道、平安北道、慶尙南道、慶尙北道、全羅南道、全羅北道、江原道杆城以南沿海岸咸鏡南道、咸鏡北道、）

本事務取扱開始當時ニ於ケル通貨ノ狀況上述ノ如クナルヲ以テ各局所ニ於テ取扱フ現金ノ受授ハ勢其ノ大部分ハ白銅貨又ハ葉錢タラサルヲ得ス卽チ各局所受拂取扱上生シタル過超金ハ殆ント皆是等小額貨幣ナルヲ以テ之カ遞送ニハ大ナル困難ヲ見サルヘカラサルモ之ヲ受入レタル爲替貯金資金ハ國庫金取扱開始以前ノ通總テ郵便ニ依リ遞送スルコトトセリ而シテ之ヲ納入スル現金遞送囊ハ亦其ノ取扱額ニ應シ豫メ相當數量ヲ準備セサルヘカラサルニ依リ既設ノ局所ニ對シ流通貨幣ノ取調方ヲ電命シ一面金庫所在地外ノ各郡歲入徵收額ヲ調査斟酌シタル上左記算出方法ニ依リ各局所現金遞送囊所要數ヲ査定シ第三節記述ノ各種事業用品ト共ニ之ヲ交付セリ

金種	重量	重量五貫匁ニ對スル金額
葉錢（穴錢）	一匁	七圓五十錢
半錢（五厘）	九分五〇四	二十六圓三十錢
一錢銅貨	一匁九分〇〇八	二十六圓三十錢
五分銅貨（五厘）	一匁九分	十三圓十五錢

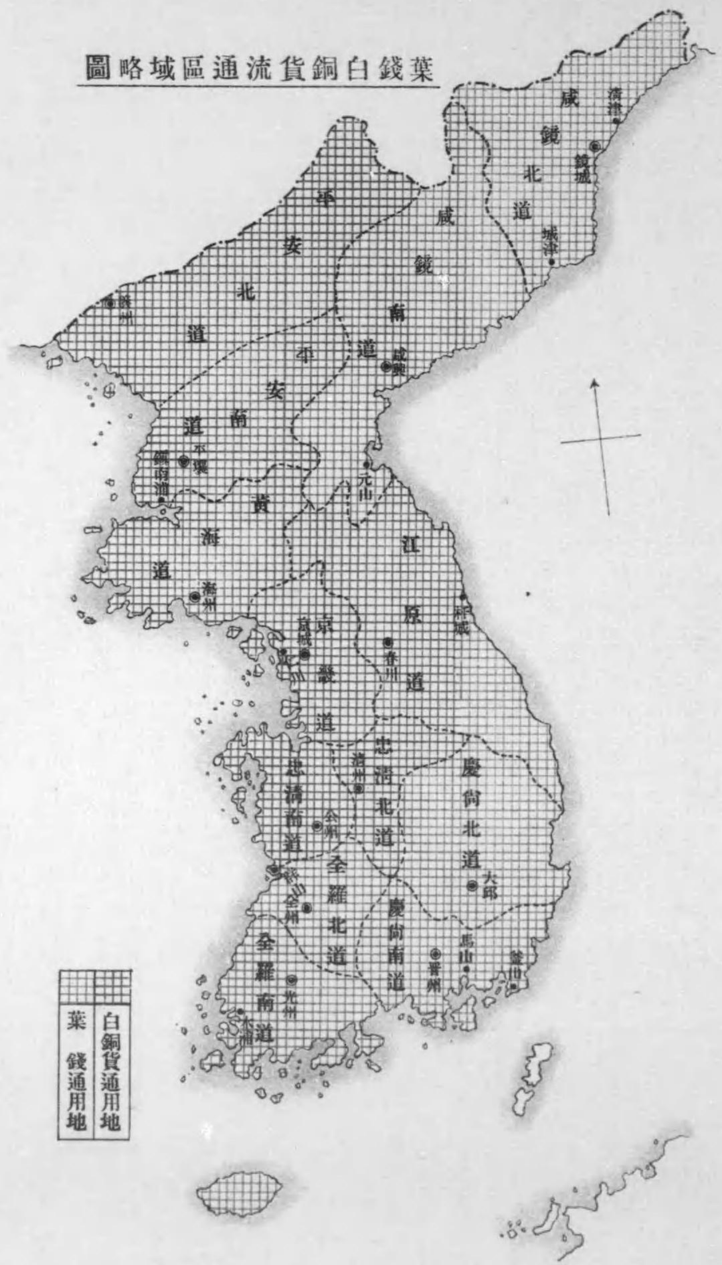
五錢白銅貨	一匁二分四四一	二百	圓
二錢五厘白銅貨(二戔五分)	一匁二分四	百	圓
十錢銀貨	七分一八八	約七百	圓
二十錢銀貨	一匁四分三七七	同七百	圓
五十錢銀貨	三匁五分九四二	同七百	圓
五圓金貨	一匁一分一一一	二萬二千五百	圓
十圓金貨	二匁二分二二二	二萬二千五百	圓
二十圓金貨	四匁四分四四四	二萬二千五百	圓

凡ソ

此ノ外日本貨紙幣ノ流通セル地方モアリ右ノ内葉錢及二戔五分白銅貨ヲ除ク外ノ貨幣ハ漢城府附近ニ於テノミ流通シ地方ニ於テハ未タ充分流通セス地方ニ於テ最モ多ク流通セルハ葉錢及二戔五分ノ貨幣ニシテ葉錢ハ全羅、慶尙、咸鏡、各道及江原道ノ一部ニ流通シ二戔五分ハ葉錢ノ流通セル以外ノ地ニ於テ流通ス故ニ國庫金トシテ收納スヘキ現金ハ此ノ二種類其ノ大部分ヲ占ムルモノト思惟セラルヘキニ依リ現金遞送行囊分配數ヲ査定スルニ當リ專ラ葉錢及二戔五分貨幣ヲ根據トシテ左ノ表ヲ作製セリ

別表第一欄ハ國庫金ヲ取扱フ局所、第二欄ハ一ケ年ノ歳入金ヨリ一ケ年ノ歳出金ヲ控除シタルモノヲ三百六十五分シタルモノ卽チ平均一日ノ過超金トシテ廻納セラルヘキ金額、第三欄ハ第二欄ノ金額ニ三十ヲ乘シタルモノ卽チ一ケ月ノ過超金額、第四欄ハ當時調査中ノ

葉錢白銅貨流通區域略圖



郵便線路開設計畫案ニヨル各局所ノ遞送回數、第五欄ハ一ケ月ノ過超金額ヲ遞送回數ヲ以テ除シタルモノ卽チ一回遞送ノ超過金額第六欄ハ現金遞送行囊一個ハ重量二貫五百匁迄ノ貨幣ヲ納メ得ルモノトシ白銅貨ト葉錢トノ區別ニ依リ納囊シ得ヘキ金額、又第七欄ハ第五欄及第六欄ニ依リ一回遞送ニ要スル現金遞送行囊數ヲ示シタルモノトス

（別表）

局所名	一日平均國庫金	一ケ月平均國庫金	一ケ月遞送回數	一回遞送ノ國庫金	現金遞送行囊一個ヘ納ムヘキ韓貨	一回遞送ニ要スル遞送行囊	査定
楊州	四三・一九〇円	一、二九五・七〇〇円	一五	八六・三八〇円	五〇・〇〇〇円	二	三
廣州	七四・三六	二、二二七・〇八〇	一五	一四八・四七二	五〇・〇〇〇	三	四
江華	六七・三七六	二〇二一・〇八〇	一〇	二〇二・一〇八	五〇・〇〇〇	五	五
坡州	三一・九五四	九五八・六二〇	三〇	三一・九五四	五〇・〇〇〇	一	二
驪州	六一・二四八	一、八三七・四四〇	一〇	一八三・七四四	五〇・〇〇〇	四	五
陽智	一三・四九三	四〇四・七九〇	一五	二六・九八六	五〇・〇〇〇	一	二
振威	三一・八九九	九八六・九七〇	三〇	三二・八九九	五〇・〇〇〇	一	二
金浦	二四・一四九	七二七・四七〇	一五	四八・四九八	五〇・〇〇〇	一	二
長端	六三・六九一	一、九一〇・七三〇	三〇	六三・六九一	五〇・〇〇〇	二	三
抱川	一三・二八三	三九八・四九〇	一五	二六・五六六	五〇・〇〇〇	一	二

忠清南道 ← → 京畿道

局所名	一日平均國庫金	一ヶ月平均國庫金	一ヶ月送還回數	一回送還ノ國庫金	現金送行靈一個ヘ納ムヘキ韓貨	一回送還ニ要スル送行靈	査定
漣川	一四・九七四円	四四九・三一〇円	一六	二九・九四八円	五〇・〇〇〇円	一	二
楊根	一九・六〇六	五八八・一五〇	一〇	五八・八一五	五〇・〇〇〇	二	三
南陽	五二・〇九〇	一五六二・七〇〇	一五	一〇四・一八〇	五〇・〇〇〇	三	三
瑞山	八八・八六三	二六六五・八九〇	五	五三三・一七八	五〇・〇〇〇	一一	一〇
沔川	五八・九八九	一七六九・六七〇	五	三五三・九三四	五〇・〇〇〇	八	七
德山	五九・二九〇	一七七八・七〇〇	五	三五五・七四〇	五〇・〇〇〇	八	七
藍浦	四七・二一七	一四一六・五一〇	一〇	一四一・六五一	五〇・〇〇〇	三	三
鴻山	五六・三二一	一六八九・六三〇	一〇	一六八・九六三	五〇・〇〇〇	四	四
韓山	六五・五三三	一九六五・九六〇	一〇	一九六・五九六	五〇・〇〇〇	四	四
定山	二七・九二七	八三七・八一〇	一〇	八三・七八一	五〇・〇〇〇	二	二
禮山	四四・五二八	一三三五・八四〇	八	一六六・九八〇	五〇・〇〇〇	四	五
牙山	五四・五五四	一六三六・六二〇	三〇	五四・五五四	五〇・〇〇〇	二	二
天安	四九・三三三	一四七九・九六〇	一五	四九・三三三	五〇・〇〇〇	一	二
津恩	七〇・八九六	二一二六・八八〇	一五	一四一・七九二	五〇・〇〇〇	三	三
連山	五二・七五七	一五八二・七一〇	三〇	五二・七五七	五〇・〇〇〇	二	二

全羅南道 ← → 忠清北道 ← → 全羅南道

局所名	一日平均國庫金	一ヶ月平均國庫金	一ヶ月送還回數	一回送還ノ國庫金	現金送行靈一個ヘ納ムヘキ韓貨	一回送還ニ要スル送行靈	査定
全義	一六・八六〇	五〇五・八〇〇	三〇	一六・八六〇	五〇・〇〇〇	一	二
文義	二六・九四八	八〇八・四四〇	三〇	二六・九四八	五〇・〇〇〇	一	二
沃川	五九・六四六	一・七八九・三八〇	三〇	五九・六四六	五〇・〇〇〇	二	三
黃澗	一九・四三一	五八二・九三〇	三〇	一九・四三一	五〇・〇〇〇	一	一
報恩	四四・六七三	一・三四〇・一九〇	一〇	一三四・〇一九	五〇・〇〇〇	三	三
鎭川	七・四二七	二・一四二・八一〇	一五	一四二・八五四	五〇・〇〇〇	三	三
槐山	三六・八七五	一・一〇六・二五〇	一五	七三・七五〇	五〇・〇〇〇	二	二
丹陽	一一・六四九	三四九・四九〇	五	六九・八九四	五〇・〇〇〇	二	二
羅州	三五・七一三	一〇・七一三・九九〇	一〇	一〇七・一九九	五〇・〇〇〇	三	三
綾州	八四・五八九	二・五三・七六七	一〇	二五三・七六七	五〇・〇〇〇	二	二
同福	四一・四〇四	一・二四〇・一一二	一〇	一二四・一一二	五〇・〇〇〇	三	三
靈光	一九・九七一四	五・九九一・四一〇	五	一・七四八・二八四	五〇・〇〇〇	三	三
興德	五四・七四一	一・六四一・三三〇	五	三二八・四四六	五〇・〇〇〇	三	八
潭陽	一〇五・三三四	三・一五九・七一〇	五	六三一・九四四	五〇・〇〇〇	三	一六
谷城	四九・一四七	一・四七四・四一〇	五	二九四・八八二	五〇・〇〇〇	三	七
順天	一五五・四一一	四・六六一・三三〇	一〇	四六・六・三三	五〇・〇〇〇	三	二四
樂安	六二・〇一〇	一・八六〇・三〇〇	一〇	一八六・〇三〇	五〇・〇〇〇	三	五〇

局所名	一日平均國庫金	一ヶ月平均國庫金	一ヶ月遞送回數	一回遞送ノ國庫金	現金遞送行舊一個ヘ納ムヘキ幣貨	一回遞送ニ要スル遞送行舊	査定
海南	円 一四一・六四三	円 四二四九・二六〇	一〇	四二四・九二六	円 三・七五〇	一一三	三〇
珍島	八三・七七〇	二・五二三・七〇〇	一〇	二五一・三七〇	三・七五〇	六七	二〇
靈岩	一八七・六八九	五・六三〇・六七〇	六	九三八・四四五	三・七五〇	二五〇	四五
麗水	六八・〇〇四	二・〇四〇・二一〇	一〇	二〇四・〇一三	三・七五〇	五四	二〇
長城	一二三・四九五	三・四〇四・八五〇	五	六八〇・九七〇	三・七五〇	一八四	四〇
淳昌	一〇四・七一九	三・一四一・五七〇	五	六二八・三一四	三・七五〇	一六八	四〇
錦山	六二・二・九三	一・八六八・七九〇	六	三一一・四六五	三・七五〇	八三	二五
鎭安	六二・二・二四	一・八六六・九一〇	一〇	一八六・六七一	三・七五〇	四五	一五
茂朱	四五・五九七	一・三六七・九一〇	六	二一七・九八五	三・七五〇	六一	二〇
礪山	七五・三七六	二・二六一・二八〇	一五	一五〇・七五二	五〇・〇〇〇	四四	四四
咸悅	六一・七六三	一・八五二・八九〇	一〇	一八五・二八九	五〇・〇〇〇	四四	一〇
金堤	一五一・三四九	四・五四〇・四七〇	一五	三〇二・六・九八	三・七五〇	八二	二四
泰仁	二三五・五二四	四・〇六五・七二〇	一〇	四〇六・五七二	三・七五〇	一〇八	三〇
扶安	一〇七・七八〇	三・一二三・四〇〇	一五	二一五・五六〇	三・七五〇	五七	二〇
蔚山	二一八・五四四	一〇・五一二・三七〇	一五	二五七・〇八八	五〇・〇〇〇	六	六

局所名	一日平均國庫金	一ヶ月平均國庫金	一ヶ月遞送回數	一回遞送ノ國庫金	現金遞送行舊一個ヘ納ムヘキ幣貨	一回遞送ニ要スル遞送行舊	査定
巨濟	四七・七〇九	一・四三一・三一〇	一〇	一四三・二二七	三・七五〇	三八	一二
金海	一三三・三〇八	三・九九九・二四〇	三〇	一三三・三〇八	三・七五〇	三六	一二
成安	七三・五九六	二・二〇七・八八〇	六	三一六・〇九〇	三・七五〇	九八	三〇
固城	六三・二一八	一・八九六・五四〇	六	一四六・八二三	三・七五〇	八四	二五
河東	六七・五四五	二・〇一六・三五〇	一〇	二〇一・六三五	三・七五〇	五四	二〇
咸陽	四四・九七五	一・三四九・二五〇	六	二二四・八七五	三・七五〇	六〇	二〇
密陽	一四六・八二三	四・四〇四・六六〇	三〇	一四六・八二三	五〇・〇〇〇	三	三
昌寧	八八・四〇五	二・六五二・一五〇	一〇	二六五・二一五	三・七五〇	七二	二〇
三嘉	四五・三五八	一・三六〇・七四〇	一〇	一三六・〇七四	三・七五〇	三六	二二
陝川	四九・二五二	一・四七七・五六〇	一〇	一四七・七五六	三・七五〇	三九	二三
居昌	五四・八九六	一・六四六・八八〇	一〇	一六四・六八八	三・七五〇	四四	一五
南海	六〇・一四五	一・八〇四・三五〇	一〇	一八〇・四三五	三・七五〇	四八	一五
星州	一六七・六一七	五・〇二八・五一〇	三〇	一六七・六一七	三・七五〇	四五	一五
延日	四三・三三五	一・二九九・七五〇	一〇	一二九・九二五	三・七五〇	三五	一二
盈德	三〇・〇一七	九〇〇・五一〇	一〇	九〇・〇五一	三・七五〇	二四	一〇
清道	七八・〇一〇	二・三四〇・六〇〇	三〇	七八・〇一〇	〇〇〇・〇〇〇	三	二
永川	一〇三・三七五	三・〇一〇・三五〇	六	六一〇・三一〇	三・七五〇	一六五	四〇

慈仁　軍威　義城　善山　金山　青松　開慶　桀川　醴泉　興海　原州　洪州　伊川　杆城　平昌

局所名	一日平均國庫金	一ヶ月平均國庫金	一ヶ月遞送回數	一回遞送ノ國庫金	現金遞送行叢一個ヘ納ムヘキ韓貨	一回遞送ニ要スル遞送行叢	査定
慈仁	三五・八六八円	一〇七六・〇四〇円	一〇	一〇七六〇四円	三・七五〇	二九	一二
軍威	一六・五一〇	四九五・三〇〇	一〇	四九五三〇	三・七五〇	一三	一〇
義城	七八・九二八	二・三六七・八四〇	一〇	二三六七八四	三・七五〇	三〇	一二
善山	一一・一六三	三・三四八・九〇	三〇	一一一六三	三・七五〇	六三	二〇
金山	六五・〇三七	一・九五一・一一〇	一五	一三〇〇七四	五〇・〇〇〇	三	三
青松	二一・三二〇	六三五・九〇〇	一〇	六三五九〇	三・七五〇	一七	一〇
開慶	三三・九七九	一〇一九・三七〇	六	一六九八九九	三・七五〇	四五	一五
桀川	一八・一二二	五四三・六六〇	六	九〇・六一〇	三・七五〇	二四	一〇
醴泉	五六・四七〇	一・六六四・一〇〇	六	二七七・三五〇	三・七五〇	七四	二五
興海	四一・九五三	一・二五八・五九〇	一〇	一二五八五九	三・七五〇	三四	一二
原州	五四・五六九	一・六三七・〇七〇	五	三三七四一四	五〇・〇〇〇	七	十
洪州	一七・六〇三	五二一・八〇九	一〇	五二一八〇九	五〇・〇〇〇	二	四
伊川	一六・三三六	四九〇・〇八〇	五	九八〇一六	三・七五〇	二七	一三
杆城	一六・〇九五	四八一・八五〇	五	九六・五七〇	三・七五〇	二六	一二
平昌	三・六八九	一〇・六七〇	四	二七・六六八	五〇・〇〇〇	一	二

黃海道　江原道

中和　新溪　谷山　平山　鳳山　載寧　安岳　殷栗　長淵　甕津　延安　黃州　襄陽　三涉　楊口　通川　蔚珍

局所名	一日平均國庫金	一ヶ月平均國庫金	一ヶ月遞送回數	一回遞送ノ國庫金	現金遞送行叢一個ヘ納ムヘキ韓貨	一回遞送ニ要スル遞送行叢	査定
中和	五七〇・九〇	一・七二一・七〇〇	三〇	五七〇九〇	五〇・〇〇〇	二	二
新溪	三六・一一三	一・〇八三・六九〇	一〇	一〇八三六九	五〇・〇〇〇	三	三
谷山	四七・七四六	一・四三一・三八〇	五	二八六・四七六	五〇・〇〇〇	六	六
平山	一三・六五九	三・九四九・七七〇	三〇	一三・六五九	五〇・〇〇〇	三	三
鳳山	一一九・三二八	三・五八〇・一四〇	一〇	三五八〇一四	五〇・〇〇〇	八	七
載寧	九八・四八九	二・九五四・六七〇	一〇	二九五四六七	五〇・〇〇〇	六	七
安岳	一七〇・九四二	五・一二八・二六〇	一〇	五一二・八二六	五〇・〇〇〇	一一	一一
殷栗	二六・五一一	七九五・六三〇	一〇	七九五六三	五〇・〇〇〇	二	二
長淵	七六・五〇三	二・二九五・〇二〇	五	四五九・〇二六	五〇・〇〇〇	一〇	一〇
甕津	二八・四〇一	八五一・〇三〇	五	一七〇・四〇六	五〇・〇〇〇	四	四
延安	一三・九二五	四〇七・八〇五	一〇	四〇七・八〇五	五〇・〇〇〇	九	九
黃州	一五九・四四四	四・七八三・三一〇	三〇	一五九・四四四	五〇・〇〇〇	四	四
襄陽	二・一五〇	六六四・五〇〇	五	一三〇・二九〇	三・七五〇	三五	一二
三涉	二三・三五四	七〇〇・六二〇	五	一四〇・一二四	三・七五〇	三七	一二
楊口	二二・二四九	三六七・四七〇	五	七三・四九四	五〇・〇〇〇	二	二
通川	一〇・一一四	三〇六・四一〇	五	六一・二八四	三・七五〇	一六	一〇
蔚珍	一五・二〇一	四五六・〇二〇	五	九一・二〇六	三・七五〇	二四	一二

平安北道　　平安南道

局所名	一日平均國庫金	一ヶ月平均國庫金	一ヶ月遞送回數	一回遞送ノ國庫金	現金遞送行舊一個ヘ納ムヘキ韓貨	一回遞送ニ要スル遞送行舊	査定
順安	一万四二二円	四六二・三六〇円	三〇	一万四二二円	五〇・〇〇〇円	一	二
江西	三七一一四	一・一三二四二〇	一〇	一一一・三四二	五〇・〇〇〇	三	三
德川	一六・四三九	四九三・一七〇	五	九八・六三四	五〇・〇〇〇	二	二
价川	一二・七九四	三八三・八二〇	五	七六・七六四	五〇・〇〇〇	一	二
順川	二六・〇一四	七八〇・四二〇	五	一五六・〇八四	五〇・〇〇〇	四	四
成川	三三・八三六	一〇一・五〇八〇	五	二〇三・〇一六	五〇・〇〇〇	四	五
陽德	一三・六六五	四〇九・九五〇	五	八一・九九〇	五〇・〇〇〇	二	二
龍川	二二・五六一	六七六・八三〇	一五	四五・二二三	五〇・〇〇〇	一	二
宣川	二二・一一九	六六三・五七〇	三〇	三一・一一九	五〇・〇〇〇	一	二
嘉山	七六・三八	二二九・一四〇	一五	一五・二七六	五〇・〇〇〇	一	二
龜城	一三・九三九	四一八・一七〇	一五	二七八・七八	五〇・〇〇〇	一	二
熙川	一・一一三	三三三・三九〇	二	一六六・六九五	五〇・〇〇〇	四	二
厚昌	三・四〇六	一〇二・一八〇	五	二〇・四三六	五〇・〇〇〇	一	二
慈城	九・八四八	二九五・四四〇	五	五九・〇八八	五〇・〇〇〇	二	二
水原	一二七・〇六八	三八一・〇四〇	三〇	二七・〇六八	五〇・〇〇〇	三	三

局所名	一日平均國庫金	一ヶ月平均國庫金	一ヶ月遞送回數	一回遞送ノ國庫金	現金遞送行舊一個ヘ納ムヘキ韓貨	一回遞送ニ要スル遞送行舊	査定
安城	四五五八〇	一三六七四〇〇	一五	九一・一六〇	五〇・〇〇〇	二	二
公州	二〇九・四六一	六二八三八三〇	三〇	二〇九・四六一	五〇・〇〇〇	五	五
洪州	一六五・一一〇	四一九五三三〇〇	八	六一・九一六三	五〇・〇〇〇	一三	一三
忠州	二六九・七四二	八〇九二二六〇	一五	五三九・三八四	五〇・〇〇〇	一二	一二
清州	二三五・五八九	七一八二・六七〇	三〇	二三九・五八九	五〇・〇〇〇	五	五
光州	二一四・二八七	六四二・八六一〇	一〇	六四二・八六一	五〇・〇〇〇	一三	一三
濟州	五四〇五	一六二・一五〇	三	三・七五	五〇・〇〇〇	一四	一四
長興	一五四・八一八	四六四四・九四〇	一二	四二・三二	五〇・〇〇〇	九	九
全州	三四五・七九一	一〇三七二・七三〇	一〇	一〇三・七三	五〇・〇〇〇	二二	二二
南原	二四八・七七五	七四六三・二五〇	六	一二四三・八七五	五〇・〇〇〇	二五	二五
晉州	二七五・三四九	八二六〇・四七〇	六	一三七・七四五	五〇・〇〇〇	二八	二八
慶州	二五七・六一三	七七二八・三九〇	六	一二八・〇六五	五〇・〇〇〇	二六	二六
尙州	二一六・八八五	六五〇六・五五〇	六	一〇八四・二五	五〇・〇〇〇	二二	二二
安東	九七・七〇一	二九三一・〇三〇	六	四八・五〇五	五〇・〇〇〇	一〇	一〇
春川	四二・一七二	一二六五・一六〇	一〇	二六・五一六	五〇・〇〇〇	三	三
江陵	四四・〇五五	一三二・六五〇	四	三三〇・四一三	三・七五〇	二五	二五
金城	九・三四九	二八〇・四七〇	三〇	九・三四九	五〇・〇〇〇	一	二

局所名	一日平均國庫金	一ヶ月平均國庫金	一ヶ月遞送回數	一回遞送ノ國庫金	現金遞送行囊一個ヘ納ムヘキ韓貨	一回遞送ニ要スル遞送行囊	査定
鐵原	円 二〇・七七一	円 六二三・一三〇	三〇	円 二〇・七七一	円 五〇・〇〇〇	一	二
海州	二〇二・八一	六、〇六五・四三〇	一〇	六〇六・五四三	五〇・〇〇〇	一二	一二
瑞興	八四・八三五	二、五四五・〇五〇	三〇	八四・八三五	五〇・〇〇〇	二	二
安州	五五・八一九	一、六七四・五七〇	三〇	五五・八一九	五〇・〇〇〇	二	二
義州	五八・六五八	一、七五九・七四〇	六〇	二九・三三九	五〇・〇〇〇	一	二
寧邊	三一・〇七四	九三三・二二〇	六	一五五・三七〇	五〇・〇〇〇	三	四
定州	二九・一〇八	八七三・二四〇	三〇	二九・一〇八	五〇・〇〇〇	一	二
江界	四五・二六二	一、三五七・八六〇	六	二二六・三一〇	五〇・〇〇〇	五	五
楚山	三四・四〇九	一、〇三二・二七〇	二	五一六・一二四	五〇・〇〇〇	一二	一二
昌城	一六・五二九	四九五・八七〇	六	八二・六四四	五〇・〇〇〇	二	二
碧潼	一八・五九四	五五七・八二〇	六	九二・九七〇	五〇・〇〇〇	二	二
淮陽	八・〇五三	二四一・五九〇	三〇	八・〇五三	五〇・〇〇〇	一	二
北青	六八・四三八	二、〇五三・一四〇	三〇	六八・四三八	五〇・〇〇〇	二	二
端川	五九・七七七	一、七九三・三一〇	三〇	五九・七七七	五〇・〇〇〇	二	二
永興	七六・六七一	二、三〇〇・一三〇	三〇	七六・六七一	五〇・〇〇〇	二	二

當時朝鮮內地ノ道路ハ市街地ヲ除クノ外車輛ヲ通スルニ適スル通路ナク郵便物ハ人肩又ハ馬背ヲ藉ルニ非サレハ之ヲ送達スルヲ得サルノ狀態ニシテ國庫金取扱上ヨリ生スル多額ノ現金ヲ遞送スルハ頗ル困難ナルニ依リ道路ノ改修ニ關シ舊韓國內部大臣ニ對シ左ノ照牒ヲ發セリ

	一日平均國庫金	一ヶ月平均國庫金	一ヶ月遞送回數	一回遞送ノ國庫金	現金遞送行囊一個ヘ納ムヘキ韓貨	一回遞送ニ要スル遞送行囊	査定
甲山	七八五六	二三五六・八〇	二	一一七八四〇	五〇・〇〇〇	三	三
長津	二〇二	六〇三三〇	三	二〇・一一〇	五〇・〇〇〇	一	二
慶興	三・一八三	九五・四九〇	二	四七・七四五	五〇・〇〇〇	一	二
鏡城	三三・七四〇	一〇一二・二〇〇	三〇	三三・七四〇	五〇・〇〇〇	一	二
穩城	四・六七三	一四〇・一九〇	五	二八・〇三八	五〇・〇〇〇	一	二
會寧	一〇・二八三	三〇八・四九〇	三〇	一〇・二八三	五〇・〇〇〇	一	二
明川	三・三七七	九四・三一〇	三〇	三・三七七	五〇・〇〇〇	一	二

業線甲第四〇一一號

明治三十九年九月二十日

統監府通信管理局長　池田十三郎

內部大臣李址鎔殿

國庫金ノ取扱ハ本月三日付業局甲第三二二二號ノ一ヲ以テ及通牒候如ク來十一月十五日迄ニ全部ノ開始ヲ終了シ其ノ實施後ニ於ケル國庫金ノ遞送ハ左記(左記省略)ノ道路ヲ取ルノ計畫ニテ目下著々準備中ニ有之而シテ右遞送ハ常ニ現金ヲ携行候コトニ付遞送人ノ通過ス

ル道路ハ平坦ニシテ障碍少ク安全ナルモノヲ望ミ候處聞ク所ニ據レハ貴國舊來ノ慣例トシテ毎歳秋季郡守ニ於テ民役ヲ課シ里道ノ改修ヲ實行セラレ候由今茲恰モ其ノ好機ニ際會セシニ付テハ此ノ期ヲ利用シ其ノ改修方法ヲ勵行セラレ道路ノ幅員ハ之ヲ廣メ且之ヲ平坦ニシ其ノ河川ニシテ橋梁ナキモノハ之ニ假橋ヲ架シ若ハ渡船ヲ設クル等苟モ通行上不便不安ノ感ヲ薄カラシムルノ方法ヲ取ラルルニ於テハ獨リ這般遞送上ノ安固ヲ期シ得ルノミナラス援ヒテハ各地ノ發展ヲモ促進候次第ニ付左記(左記省略)道路ノ改修方夫々各地方官廳ヘ御訓令相成候樣致度右得貴意候敬具

之ニ對シ同大臣ヨリ左ノ回答ヲ受ケタリ

貴局第四八四六號御照會ノ趣了承地方道路修築ノ件ニ付テハ目下當部ニ於テモ注意致居候ノミナラス毎秋季ニ於テハ道路及橋梁等ヲ改修スルコトハ舊來ノ定式ニモ有之候得共方サニ納税ノ時期ニ際シ居候事故至急改修方御照會ノ左記謄寫添付ノ上特ニ十三道ニ訓令致置候間御了承相成度此段及回答候也

光武十年十月二十七日　　内務大臣勳一等　李　址　鎔

統監府通信管理局長池田十三郎殿

是ニ於テ部内局所ニ對シ右交渉ノ趣旨ヲ詳示シ尚國庫金事務取扱開始ニ伴フ郵便線路ノ新設改廢ヲ行ヒ別途令達スルト同時ニ郵便局所ニ對シ左記通牒ヲ發セリ

郵便線路ノ開廢變更ニ關シ注意ノ件

來十二月一日ヨリ各取扱所ニ於テ國庫金ノ出納事務開始ニ伴ヒ郵便線路ノ開廢變更等令達相成候處右實行ニ付テハ左記各項御注意相成度及通牒候也

一　現金行囊ノ遞送ハ日人遞送ニ限ル義ナルモ其ノ過量目遞送ニ付テハ本年六月通信公報掲載局達第十八號ニ依リ處理可相成義ニ有之尚此ノ場合ニ於テハ日人遞送人ハ自己擔當荷量ヲ遞送スル傍過人夫ノ取締ニ注意セラレ度爲念申添候

二　日人遞送人疾病ノ爲遞送ニ從事シ難ク他ノ日本人ノ代夫ヲ得ルコト能ハサル局所ニ在リテハ確實ト認ムル韓人ヲシテ現金遞送ヲ爲サシメ差支無之候此ノ場合ニ在リテハ必要ニ應シ其ノ地駐在ノ守備隊憲兵警察官又ハ郡守等ニ交渉相當護衛ヲ附セシムル等ノ手段ヲ盡シタル上其ノ都度顚末ヲ報告セラレ度候

三　過人夫ヲ使役スル際人夫ヲ雇上クルヨリハ馱牛馬若ハ船舶ヲ用ユル方經濟ト認メタル場合ハ之ヲ使役セラレ度候要スルニ過量目ノ遞送ニ付テハ經濟的ニシテ且確實ナル方法ヲ採ルコトニ注意セラレ度候

四　日人線路ト韓人線路ト併置シアル場所ニシテ偶々日人ト韓人ト同一時ニ同一地點ヲ出發スルニ際シ日人ノ遞送荷量ニ過量アリテ韓人ノ荷量餘裕アル時ハ日人ノ過量ニ對シテ別ニ過人夫ヲ雇上クルコトヲ爲サス該韓人遞送人ニモ荷量制限迄ハ分擔セシメ尚其ノ上ニモ過量アル場合ニ於テ過人夫ヲ備役セラルヘク候

五　現金遞送行囊ニ對シ赤行囊省略ノ場合ヲ別ニ規定セラレ候處右ハ行囊運用上ノ關係ニ出テタル次第ニ付此ノ場合ニ在リテハ篤ト其ノ外裝ニ用ユル大行囊ハ破毀損有無ヲ調査シ途中現金ノ重量ニ依リテ行囊ノ破綻ヲ來スカ如キコト無之樣注意セラレ度候

六　國庫金遞送線路ノ遞送速度ハ平素相當重量ノ運搬アルモノト假想シ三里以上ノ箇所ニ對シテハ盡ク一時間一里ノ速度ニ指定セラレ候處右ノ適否ハ充分之ヲ確ムルノ資料無之モノニ付實際ニ於テハ容易ニ三等速度ヲ履行シ得ラルル場所モ可有之又一時間一里ニテモ尙困難ナル向モアランカト被認候ニ付此等ハ實驗ノ結果ニ依リ詳細御報告相成度候

七　遞送ノ連絡ハ完全ヲ期シタル見込ニ候ヘ共是亦實際ニ當テハ意外ノ不便アランモ難圖候ニ付實驗上ノ結果ニ依リ改良意見有之候ハハ具體的ニ充分詳具セラレ度候其ノ遞送道路ノ難易狀況ノ如キモ詳細御報告有之度候

八　遞送途中ニ於ケル宿泊所ハ郵便局所ノ所在地ニ在リテハ止ヲ得サル場合ヲ除クノ外必ス局所ニ宿泊セシメ局所ナキ地ニ宿泊スル場合ハ安全確實ナル家屋ヲ選ヒテ之ニ宿泊シ充分郵便物及現金ノ安固ヲ期セラレ度特ニ注意ヲ要スルハ途中休憩又ハ宿泊地點ニ於テ飲酒シ若ハ他人ト爭論スルカ如キ行動ニ付テハ豫メ充分御取締置可相成候

九　危險ト認ムル遞送線路ニ對シテハ可成護衞兵士ヲ附隨セシメ度見込ニテ目下其ノ向ヘ交渉中ニ有之決定ノ上ハ別途關係局所ニ對シ通報ノ筈ニ有之候

十　遞送中郵便局所ノ設ナキ地ニ宿泊ヲ要スルトキハ一層ノ注意警戒ヲ要スルヲ以テ此等ノ地ニ對シテハ郡守ヲシテ最安全ナル家屋ヲ選定セシメ之ニ宿泊セシムル見込ヲ以テ韓國政府ニ交渉中ノ次第モ有之候條貴局所ニ於テモ尙其ノ邊充分御留意相成度候

第五節　吏員及傭人ノ保護

抑々本業務タルヤ舊韓國政府カ自國ノ財政整理上帝國通信官署ニ於テ之ヲ取扱フヲ利便ナリト認メ同政府ヨリ進ンテ其ノ管掌方ヲ希望シ來リ遂ニ茲ニ其ノ業務ノ開始ヲ見ルニ至リタルモノナルカ故ニ事理明白此ノ間固ヨリ一點ノ疑義ヲ挾ムヲ許ササルモノナルモ平素政府ノ施政ヲ厭忌シ徒ニ揣摩臆測ヲ逞ウシ之ヲ攻擊誹謗スルヲ以テ能事トスル鮮人一派ノ徒ニ在リテハ本業務ノ委託ヲ目シテ帝國政府カ是等ノ手段ニ依リ舊韓國租稅金ヲ橫奪スルモノト做シ牽强附會ノ言說ヲ流布シテ無智蒙昧ノ民衆ヲ煽動シ以テ事業ノ運行ニ妨碍ヲ加フルコトナキヲ保シ難ク特ニ取扱所ヲ設置シタル地方ハ概シテ文化ノ餘澤尙光被セサルノ寒村僻地ニシテ住民ノ多クハ暗愚頑冥內地人ニ對シテ動モスレハ暴行ヲ加フルノ虞アリ其ノ安危常ニ測ルヘカラス四圍ノ狀況夫レ斯ノ如ク險惡ナル間ニ立チ公務ヲ執掌スルハ極メテ至難ノ任務タルニ依リ當局ニ於テハ是等地方ニ赴任セントスル吏員及傭人其ノ他家族ノ身體保護ニ關シ配慮スル所尠カラサリキ

然ルニ時恰モ警務顧問部ニ於テ警察行政ノ統一刷新ヲ圖ラムトシ其ノ一端トシテ新ニ地方ノ

主ナル各郡ニ內地人及鮮人警官ヲ配置スルノ計畫アリトノ議ヲ聞知シタルヲ以テ吏員及傭人等ノ保護ニ關シ左ノ公文ヲ同顧問ニ送致セリ

業局甲第三三九八號

明治三十九年九月六日

統監府通信管理局長　池田十三郎

警務顧問丸山重俊殿

今回韓國政府ノ委託ニ基キ左記各地ノ郵便官署ニ於テ國庫金出納事務取扱開始候筈ニ候處其ノ第二期ニ屬スル各地ノ如キハ從來韓國政府ノ郵制ヲ襲用シ其ノ郡ノ鄉長ヲシテ郵便事務ヲ兼掌單ニ郵便物ノ集配ノミヲ取扱ハセ居ルモノナリシモ今回ノ取扱實施ニ伴ヒ始メテ當局所屬吏員ヲ派遣シ今後ハ國庫金ノ出納ト共ニ各般ノ郵便事務ヲモ取扱ハシムル次第ニ有之然ルニ國庫金ノ取扱タル韓國舊來ノ納稅方法ヲ一變スルモノニ付此ノ間韓民ニ於テ諸種ノ誤解ヲ起シ時ニ不慮ノ椿事ヲ演出スル場合無キヲ保シ難クトモ被存候ル寒心致居候仄カニ傳承スル所ニ據レハ貴部ニ於テモ過般來韓內地ニ警察官吏御派遣相成候御計畫ニテ著々其ノ準備中ノ由就テハ右御派遣ノ警察官ハ可成右國庫金事務ヲ取扱フ郵便官署所在地ヘ駐留セシムル事ニ御取計相成候得ハ當局派遣員モ依テ以テ職務遂行上顧慮スル所ヲ薄カラシメ大ニ便宜ヲ感シ候ト共ニ貴部警察官ニ於テモ又信書小包ノ發受及爲替貯金ノ受拂等總テ都會ニ在ルト一般ニ通信機關ヲ利用スルヲ得一舉兩得ト被存候而已ナラス貴部警察官ト當方吏員トノ駐在アルニ於テハ幸ニ本邦人ヲ韓內地ヘ誘致スルノ動機トモ可相成歟ト被存候ニ付御繰合ノ付キ得ル限リハ右樣御配置相成候樣致度右得貴意候敬具

追而御差支無キ限リ貴部御配置ノ豫定御通知ヲ得度候

第一期　明治三十九年十月一日開始

京畿道　水原　安城

忠淸南道　公州　洪州

忠淸北道　忠州　淸州

全羅南道　光州　濟州　長興

全羅北道　全州　南原

慶尙南道　晉州

慶尙北道
慶州　尙州　安東
江原道
春川　江陵　金城　鐵原
黃海道
海州　瑞興
平安南道
安州
平安北道
義州　寧邊　定州　江界　楚山　碧潼
咸鏡南道
北靑　甲山　長津
咸鏡北道
鏡城　慶興　穩城　會寧
合計　三十五個所
第二期　明治三十九年十一月一日ヨリ開始
京畿道

楊州　廣州　江華
振威　金浦　楊根
南陽
忠淸南道
瑞山　沔川　德山
定山　禮山　牙山
全義　文義
忠淸北道
沃川　黃澗　報恩
全羅南道
羅州　綾州　同福
谷城　順天　樂安
麗水　長城
全羅北道
淳昌　錦山　鎭安
金堤　泰仁　扶安
慶尙南道
坡州　驪州　陽智
長端　抱川　漣川
藍浦　韓山　鴻山
天安　恩津　連山
鎭川　槐山　丹陽
靈光　興德　潭陽
海南　珍島　靈巖
茂朱　礪山　咸悅

蔚山　巨濟　海　咸安　南海
昌寧　三嘉　陜川　居昌　固城　河東

慶尙北道

密陽

星州　延日　盈德　清道　永川　慈仁
軍威　義城　善山　金山　青松　聞慶

榮川　醴泉　興海

江原道

淮陽　洪川　伊杆平
原州　通川　三陟　襄陽　昌

黃海道

黃州　延安　甕津　長淵　般栗　安岳
載寧　鳳山　平山　谷山　新溪

平安南道

中和　順安　江西　德川　順川　成川
价川　陽德

平安北道

昌城　龍川　宣川　熙川　厚昌　嘉山　龜城　慈城

咸鏡南道

端川　永興

咸鏡北道

明川

合計　百二十五個所

是ニ對シ同顧問ハ大體地方顧問支部ノ申出トヲ參酌シ努メテ當局ノ主張ヲ認容シ遂ニ明治三十九年十月中ニ左記ノ各地ニ警官ヲ配置スルコトトナリ業務執行上尠カラサル利便ヲ享受スルヲ得ルニ至レリ

京畿道

水原　安城　楊州　楊根　長端　抱川
廣州　江華　坡州　漣川　陽智　驪州
振威　金浦　南陽

忠淸南道

公州　洪州　瑞山　沔川　德山　韓山
藍浦　鴻山　牙山　定山　禮山　連山

天安　全義　文義
忠州　沃川　黃澗　報恩　丹陽
鎭川　槐山
全羅南道
光州　長興　濟州　同福　谷城
羅州　綾州　靈光　樂安　潭陽
順天　海南　珍島　靈巖　麗水　長興　德城
全羅北道
全州　南原　淳昌　茂朱　金堤　咸悅　扶安
錦山　鎭安　礪山　金海　居昌　固昌　泰仁
慶尙南道
晉州　蔚山　巨濟　金海　三河　三嘉　開慶
咸安　咸陽　陜川
慶尙北道
密陽　南海
慶州　安東　尙州　慈仁　興海

星州　延日　盈德　清道　永川　軍威
義城　善山　金山　青松　榮川　醴泉
江原道
春川　江陵　金城　淮陽　原州　洪川
鐵原　伊川　蔚珍　杆城　平昌　通川
三陟　襄陽　楊口
黃海道
海州　瑞興　黃州　般栗　新溪　延安
甕津　長淵　安岳　載寧　鳳山　平山
谷山
平安南道
安州　中和　順安　江西　价川　德川
順川　成川　陽德
平安北道
寧邊　義州　定州　碧潼　龍川　嘉山
江界　楚山　昌城　龜城　慈城　熙川
宣川　厚昌

咸鏡南道
北青　甲山　長津　端川　永興
咸鏡北道
鏡城　穩城　明川　會寧　慶興

各道計　百六十個所

右ノ如ク警務機關ノ設置確定セルニ依リ是等各地駐留ノ警官ニ對シ豫メ郵便官署保護方特ニ注意シ置クノ要ヲ認メ更ニ內部大臣ニ左ノ照會ヲ發セリ

業局甲第四九三〇號
明治三十九年十月二十三日

內部大臣李址鎔殿

統監府通信管理局長　池田十三郎

今回貴部令第十號ヲ以テ警務分署及分派所御新設ノ處右ノ內左ニ記載スル各地ニハ曩ニ貴政府ノ委託ニ基キ貴國々庫金出納事務取扱ノ爲不日當局吏員以下ヲ在勤セシムル筈ニ候處右取扱ハ貴國從來ノ納稅方法ヲ一變候事トテ時ニ誤解ナキヲ難期候ニ付同地駐留ノ警官ハ宜シク此邊ノ取締ニ就テ注意ヲ拂ハレ一面在勤吏員以下ノ身命財產保護ニ就テモ亦多大ノ厚意ヲ表セラルル樣特ニ御訓達置相成度右得貴意候

左記

京畿道
楊州　廣州　江華　坡州　驪州　陽智
振威　金浦　楊根　長端　抱川　漣川
南陽

忠清南道
瑞山　沔川　德山　藍浦　韓山　鴻山
定山　禮山　牙山　天安　恩津　連山
全義　文義

忠淸北道
沃川　黃澗　報恩　鎭川　槐山　丹陽

全羅南道
羅州　綾州　同福　靈光　興德　潭陽
谷城　順天　樂安　海南　珍島　靈巖
麗水　長城

全羅北道
淳昌　錦山　鎭安　茂朱　礪山　咸悅
金堤　泰仁　扶安

慶尙南道

蔚山	巨濟	金海	咸安
昌寧	三嘉	陜川	居昌
密陽			固城
			河東

慶尙北道

星州	延日	盈德	慈仁
軍威	義城	善山	聞慶
榮川	醴泉	興海	

江原道

淮陽	原州	洪川	平昌
蔚珍	通川	楊口	

黃海道

黃州	延安	甕津	安岳
載寧	鳳山	平山	

平安南道

中和	順安	江西	

价川	陽德	德川	順川

平安北道

昌城	龍川	宣川	嘉山
熙川	厚昌		龜城
	咸鏡南道		慈城
端川	永興		
	咸鏡北道		
明川			

備考

警務顧問部警務上ノ都合ニ依リ右表中取扱所開始ト同時ニ警官ノ駐在ヲ見ルヲ得サリシモノ數個所アリタリ

斯クノ如ク警官ノ配置セラレタル爲大體ニ於テ危險ノ度ヲ減シタルノミナラス尙一面ニ於テハ天涯幾百里四圍ノ風物轉々寂寥タル異域ニ於テ期セスシテ同胞相見ユルノ歡喜ハ無上ノ慰籍安意ヲ與ヘ之カ爲業務進捗上ニ及ホス效果尠少ナラサリシハ言ヲ俟タス然レトモ單リ警官ノ保護ニ依賴シ不慮ノ危害ニ備フルノ途ナクンハ未タ全ク身體ノ安固ヲ得タリトハ言ヒ難キヲ以テ地方各局所ノ吏員及遞送人ニ對シ護身用トシテ短銃ヲ交付シ且平素之カ取扱方ヲ修練シ使用上遺憾ナキヲ期セシメタリ尙又單身職務ニ服スル遞送人ノ遞送途中郵便官署所在地外ニ於テ宿泊セシムル場合特ニ十月乃至十二月ノ前後卽チ納稅期ニ於テハ常ニ國庫金受入ヨリ

生スル多額ノ過超金ヲ携帶セシムルヲ以テ一層ノ警戒ヲ要スヘク之ニ對シ相當ノ保護方法ヲ講スルノ要アルヲ認メ更ニ内部大臣ニ對シ左ノ照牒ヲ發セリ

業線甲第四四五六號

明治三十九年十月一日

統監府通信管理局長　池田十三郎

内部大臣李址鎔殿

別表（別表省略）第一欄ニ記載ノ郵便線路ハ連絡上竝遞送人使役上ノ關係ニ依リ其ノ第三欄ニ朱記セル各地ニ宿泊セシムルヲ要シ候處該地ニハ通信官署ノ設置ナキ爲遞送人ハ普通旅舍ヘ宿泊致來候モ過般貴政府ノ委託ニ基キ通信官署ニ於テ國庫金ノ出納事務ヲ取扱ヒ該金ノ廻納ハ郵便物ト共ニ郵便遞送人ヲシテ之ヲ運搬セシムルコトニ相成候ニ付テハ今後該遞送人ノ宿泊所ニ於ケル郵便物ノ保護ニ關シテハ一段周到ノ注意ヲ要スルハ勿論ノ義ニ候モ普通旅舍ニ在リテハ保安上危險多ク時ニ椿事ノ釀生モ懸念セラレ候ニ付テハ右各地ニ對シ所轄郡守ニ於テ各當該地ニ於ケル面長又ハ村里長等最確實安全ト認ムル家屋ヲ指定シ之ニ宿泊セシムルコトニ致度ト存候仍テ各局所ヨリ右ノ趣旨ヲ以テ遞送人宿泊所指定方所轄郡守ヘ交渉セシムヘク候條其ノ交渉ヲ受ケタル郡守ハ最確實安全ト認ムル所ニ從ヒ宿泊家屋指定方速ニ取計ハレ候樣貴大臣ヨリ御訓達相成置度尙遞送人宿泊ノ場合ニハ相當宿泊料ヲ支拂ハシムル筈ニ候條爲念申添右照會得貴意候敬具

是ニ對シ左ノ回答ヲ得タリ

第十一號　照復

御照會之趣了承遞送人宿泊地ニ完全ナル家屋ヲ急速指定ノ上郵便物ニ危險ノ虞ナカラシムル樣各宿泊地ノ旅舍附近ノ面郡ニ即時訓令置候條御了承相成度此段及照復候也

光武十年十月十日　内部大臣勳一等　李　址　鎔

統監府通信管理局長池田十三郎殿

而シテ内部大臣ノ郡守ニ發シタル訓令ハ左記ノ如シ

光武十年十月九日　内部大臣勳一等　李　址　鎔

各郡守座下

今般統監府通信管理局長ノ照會ニ接スルニ其ノ別表（別表省略）第一欄ニ記載セル郵便線路ハ連絡上及遞送人使役上ノ關係ヨリ第二欄ニ朱記セル各地ニ宿泊セシムルコトヲ要スルモ該地ニ通信官署ナキ爲遞送人ハ普通ノ旅舍ニ宿泊シ來リシ所今般貴政府ノ委託ニ依リ通信官署ニ於テ國庫金ノ出納事務ヲ負擔シ該金ノ回納ハ郵便物ト共ニ郵便遞送人ヲシテ運搬セシムヘキニ付テハ今後遞送人ノ宿泊所ニ於テ郵便物ノ保護ニ注意ヲ要スルハ當然ノ義

ニ有之候得其普通旅舍ニ在リテハ保安上危險多ク時トシテ或ハ不慮ノ變ヲ釀生スルコトナキヤト懸念セラルルニ依リ各宿泊地所轄郡守ニ對シ各當該地ニ在ル面村長等ニ於テ確實安全ナル家屋ヲ指定シ宿泊セシメラレ度尚各局所ヨリモ右ノ趣意ヲ以テ遞送人宿泊所指定方所轄郡守ニ交渉セシムヘキニ付其ノ交渉ヲ受ケタル郡守ハ最モ確實安全ナル所ニ宿泊家屋指定方ヲ速ニ取計フコトニ御訓令相成度而シテ遞送人宿泊料ハ仕拂ハシムヘキ筈ニ有之候トアリ而シテ何々郡間ハ何地ヲ以テ遞送人宿泊地ト定メラレタルニ依リ茲ニ及訓令候條貴官ヨリ該宿泊地附近面長尊位(村長ノ如キモノ)洞長ニ篤ト訓示相成完全ナル家屋ヲ迅速指定シ郵便物輸送ノ際危險ノ虞ナキ樣保護ヲ加ヘラルヘク候

又地方各局所長ニ對シ更ニ左記通牒ヲ發シ國庫金遞送上ノ事故防遏方ヲ注意セリ

業線甲第五〇三九號

明治三十九年十一月二十四日

業務課長

各局所長ヘ

遞送途中通信官署ナキ土地ニ宿泊方ノ件

從來郵便物遞送途中通信官署ナキ土地ニ宿泊スル場合ハ遞送人ハ普通旅舍ヘ宿泊スルノ外ナカリシモ今後國庫金ノ遞送ヲ爲スニ付テハ普通旅舍ノ宿泊ハ危險多ク萬一ノ椿事モ懸念セラレ候ニ付右宿泊地ニ於テ面村長ノ居宅アルモノハ其ノ居宅ヘ若之レナキトキハ郡衙ニ於テ指定シタル最安全ノ家屋ヘ宿泊セシムル件ニ關シ別紙第一號ノ通內部大臣ヘ照會セシ處同大臣ヨリ別紙第二號ノ通各郡守ヘ訓令セシ趣ニ有之付テハ今後國庫金ノ遞送線路タルト否ラサルトヲ問ハス又遞送人ノ日人タルト韓人タルトニ拘ラス通信官署所在地外ノ地ニ宿泊スヘキ線路ヲ有スル局所ニ在リテハ其ノ宿泊地ヲ所轄スル郡守ヘ交渉シ別紙ノ趣旨ニ依リテ其ノ宿泊家屋ヲ指定セシメ之ニ宿泊セシムル樣御取計可相成又其ノ宿泊料及食料ハ先方ノ要求スル所ニ基キ定額內ニ於テ相當協定支辨シ苟モ不信用ノ所爲ナキ樣御取締可相成右依命及通牒候

追テ宿泊指定外宿泊ノ義ニ付テハ從來取締方通牒ノ次第モ有之候處今後ハ一層規定ヲ勵行シ通信官署所在地ニ在リテハ通信官署ニ宿泊スルカ又ハ郵便物ノ保管ヲ通信官署ニ依託シ單身普通旅舍ヘ宿泊セシムル樣御取計可相成候

別紙第一號(業線甲第四四五六號)省略

同　第二號(內部大臣ノ各郡守ニ宛タル公文)省略

更ニ國庫金ノ出納事務開始ト共ニ郵便線路ニ一大改廢ヲ加ヘ遞送上支障ナク執行スルヲ得タリ

第三章　法規ノ制定及變遷

第一節　官制改正其ノ他法規ノ制定

初メ韓國政府ヨリ國庫金取扱方委託ノ要求アルヤ帝國政府ハ之ニ同意ヲ表シ執行ノ議内定シタルヲ以テ通信官署官制中改正ヲ奏請シ明治三十九年五月十四日勅令第百五號ヲ以テ左ノ通公布セラレタリ

朕統監府通信官署官制中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治三十九年五月十四日

内閣總理大臣侯爵　西園寺公望

勅令第百五號

統監府通信官署官制中左ノ通改正ス

第一條ニ左ノ一項ヲ加フ

統監府通信官署ハ統監ノ指定ニ依リ韓國々庫金ノ出納保管ニ關スル事務ヲ掌ル

第六條中通信事務官ノ項「六人」ヲ「七人」ニ「二百十人」ヲ「二百七十三人」ニ「二百六十二人」ヲ「三百二十六人」ニ改ム

茲ニ於テ當局ハ前數節陳述ノ如ク著々業務開始準備ニ歩,民ヲ進ムルト同時ニ一面法規ノ制定改廢ニ付審議セリ而シテ本事務取扱機關ノ設備ニ關スル規程ハ以下述フル所ニ依リ其ノ準備ヲ完了セリ

却説明治三十九年十二月一日ヨリ開始ノ取扱所ノ組織ニ關シテハ初メ通信官署官制第二條第三項ニ依ル郵便局ト爲スカ將又郵便所タラシムルカ若ハ第五條ニ依ル取扱所ト爲スカノ點ニ付是非ノ論議アリシモ郵便局トシテハ一般取扱事務ノ分量ニ於テ尚之ニ伴ハサルモノアリ去リトテ之ヲ半官半民ノ請負的性質ヲ帶フル郵便所トセンカ委託事務ヲ執行スル帝國政府ノ責任上妥當ヲ缺クノ嫌ナキニシモアラスト做シ遂ニ其ノ必要ニ應シ統監ニ於テ取扱事務ノ種別ヲ指定シ得ル取扱所ニ於テ之ヲ開始スルコトニ決定セラレタルモノトス而シテ同取扱所ニ於テ取扱フ事務ノ種別ニ關シテハ同年九月統監府告示第百號ヲ以テ左記ノ如ク定メラレタリ

統監府告示第百號

郵便及電信取扱所ニ於テ取扱フ事務左ノ通定ム但シ別ニ告示シタルモノハ其ノ限ニ在ラス

明治三十九年九月二十一日

統監侯爵　伊藤博文

郵便取扱所

一　郵便切手類ノ賣捌

二　郵便物ノ引受及配達

三　郵便爲替郵便貯金及郵便取立金ノ受拂

四　韓國々庫金ノ出納及保管

郵便電信取扱所

一　郵便取扱所ニ於テ取扱フ各事務
二　内外和歐文電報ノ受付及配達
電信取扱所
一　内外和文電報ノ受付及配達

又其ノ取扱所事務執行ノ權限及其ノ範圍ニ關シテハ統監達通第百三十三號ヲ以テ左ノ如ク訓達セラレタリ

達通第百三十三號

郵便及電信取扱所規程左ノ通定ム

明治三十九年九月二十八日

統監侯爵　伊藤博文

郵便及電信取扱所規程

第一條　郵便及電信取扱所ノ取扱事務ハ明治三十九年統監府告示第百號ニ依ル

第二條　郵便取扱及郵便電信取扱所ハ統監府通信管理局ノ直轄トス

第三條　郵便取扱及郵便電信取扱所ニ所長ヲ置キ所務ヲ掌理セシム

第四條　郵便取扱所長及郵便電信取扱所長ハ別ニ定ムルモノノ外左ノ事項ヲ專決施行ス

一　所員ノ服務ヲ指定スルコト
二　現業傭人ヲ進退スルコト

三　所員以下ノ除服出仕ヲ命スルコト

第五條　郵便取扱所及郵便電信取扱所ニ主事ヲ置キ其ノ集配區域内ニ於ケル郵便物ノ集配ヲ執行セシム但シ特ニ指定シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六條　取扱所主事ニハ給料又ハ手當ヲ給與セス事務費トシテ年額百二十圓ヲ交付シ其ノ範圍内ニ於テ主事ノ職務執行ニ要スル一切ノ費途ヲ支辨セシム

第七條　前條事務費ハ當該取扱所渡切經費ノ一部トシテ月割額ヲ以テ毎月之ヲ所長ニ交付ス

前項事務費ハ當月分ヲ翌月十日迄ニ當該取扱所長其ノ全額ヲ主事ニ交付スヘシ

第八條　月ノ中途ニ於テ取扱所主事ノ交迭又ハ死亡シタル場合ニ於ケル事務費ノ當月分月割額ハ日割ヲ以テ之ヲ計算ス

第九條　取扱所長ノ交迭又ハ死亡ノ場合ニ於ケル第六條ノ事務費ハ其ノ當月分月割全額ヲ後任者ニ交付ス其ノ交迭又ハ死亡カ既ニ渡切經費ノ交付以後ナルトキハ主事ニ交付スヘキ事務費ハ之ヲ後任者ニ引繼キ後任者ニ於テ主事ニ交付スヘシ

前項事務費ノ交付ニ關シテハ通信官署經費渡切規則施行細則第六條第三項ノ規定ヲ適用セス

附　則

本規則ハ明治三十九年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

右等法規ノ發布ニ伴ヒ左ノ通改正セラレタリ

達通第百三十四號

明治三十九年一月達通第五號統監府通信管理局分掌規程中左ノ通改正シ來十月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十九年九月二十八日

統監府通信管理局

統監侯爵　伊藤博文

總務課監査掛分掌事項中第九號ヲ左ノ如ク改ム

九　歳入金、歳出金、歳入歳出外現金及各種雜部金ノ出納調査ニ關スル事項

計理課主計掛分掌事項中第九號ノ次ニ左ノ一號ヲ加ヘ第十號ヲ第十一號トシ以下順次繰下ク

十　振替又ハ繰替受拂ニ係ル歳入金、歳出金、歳入歳出外現金ノ精算受拂ニ關スル事項

而シテ取扱所ノ事務開始ハ既ニ敍述シタルカ如ク韓國政府ノ希望ニ依リ同年十一月十五日迄ニ開始ノ豫定ナリシモ準備ノ整ハサル點アリシヲ以テ同年十二月一日ニ延期ノ旨ヲ同政府ニ通告シ統監府告示第百一號ヲ以テ左ノ通リ發布セラレタリ

統監府告示第百一號

明治三十九年十二月一日ヨリ左記郵便電信取扱所及郵便取扱所ヲ設置ス

明治三十九年九月二十三日

統監侯爵　伊藤博文

名稱	位置
昌城郵便電信取扱所	平安北道昌城郡昌城邑
明川郵便電信取扱所	咸鏡北道明川郡明川邑
楊州郵便取扱所	京畿道楊州郡楊州邑
廣州郵便取扱所	同　廣州府廣州邑
江華郵便取扱所	同　江華府江華邑
坡州郵便取扱所	同　坡州郡坡州邑
驪州郵便取扱所	同　驪州郡驪州邑
陽智郵便取扱所	同　陽智郡陽智邑
振威郵便取扱所	同　振威郡振威邑
金浦郵便取扱所	同　金浦郡金浦邑
楊根郵便取扱所	同　楊根郡楊根邑
長端郵便取扱所	同　長端郡長端邑
抱川郵便取扱所	同　抱川郡抱川邑
漣川郵便取扱所	同　漣川郡漣川邑

南陽郵便取扱所	京畿道南陽郡南陽邑
瑞山郵便取扱所	忠清南道瑞山郡瑞山邑
沔川郵便取扱所	同　沔川郡沔川邑
德山郵便取扱所	同　德山郡德山邑
藍浦郵便取扱所	同　藍浦郡藍浦邑
韓山郵便取扱所	同　韓山郡韓山邑
鴻山郵便取扱所	同　鴻山郡鴻山邑
定山郵便取扱所	同　定山郡定山邑
禮山郵便取扱所	同　禮山郡禮山邑
牙山郵便取扱所	同　牙山郡牙山邑
天安郵便取扱所	同　天安郡天安邑
恩津郵便取扱所	同　恩津郡恩津邑
連山郵便取扱所	同　連山郡連山邑
全義郵便取扱所	同　全義郡全義邑
文義郵便取扱所	同　文義郡文義邑
沃川郵便取扱所	忠清北道沃川郡沃川邑
黃澗郵便取扱所	同　黃澗郡黃澗邑

報恩郵便取扱所	同　報恩郡報恩邑
鎭川郵便取扱所	同　鎭川郡鎭川邑
槐山郵便取扱所	同　槐山郡槐山邑
丹陽郵便取扱所	同　丹陽郡丹陽邑
羅州郵便取扱所	全羅南道羅州郡羅州邑
綾州郵便取扱所	同　綾州郡綾州邑
同福郵便取扱所	同　同福郡同福邑
靈光郵便取扱所	同　靈光郡靈光邑
興德郵便取扱所	同　興德郡興德邑
潭陽郵便取扱所	同　潭陽郡潭陽邑
谷城郵便取扱所	同　谷城郡谷城邑
順天郵便取扱所	同　順天郡順天邑
樂安郵便取扱所	同　樂安郡樂安邑
海南郵便取扱所	同　海南郡海南邑
珍島郵便取扱所	同　珍島郡珍島邑
靈巖郵便取扱所	同　靈巖郡靈巖邑
麗水郵便取扱所	同　麗水郡麗水邑

長城郵便取扱所	全羅南道長城郡長城邑
淳昌郵便取扱所	全羅北道淳昌郡淳昌邑
錦山郵便取扱所	同　錦山郡錦山邑
鎭安郵便取扱所	同　鎭安郡鎭安邑
茂朱郵便取扱所	同　茂朱郡茂朱邑
礪山郵便取扱所	同　礪山郡礪山邑
咸悅郵便取扱所	同　咸悅郡咸悅邑
金堤郵便取扱所	同　金堤郡金堤邑
泰仁郵便取扱所	同　泰仁郡泰仁邑
扶安郵便取扱所	同　扶安郡扶安邑
蔚山郵便取扱所	慶尙南道蔚山郡蔚山邑
巨濟郵便取扱所	同　巨濟郡巨濟邑
金海郵便取扱所	同　金海郡金海邑
咸安郵便取扱所	同　咸安郡咸安邑
咸陽郵便取扱所	同　咸陽郡咸陽邑
南海郵便取扱所	同　南海郡南海邑
昌寧郵便取扱所	同　昌寧郡昌寧邑

三嘉郵便取扱所	慶尙南道三嘉郡三嘉邑
陜川郵便取扱所	同　陜川郡陜川邑
居昌郵便取扱所	同　居昌郡居昌邑
固城郵便取扱所	同　固城郡固城邑
河東郵便取扱所	同　河東郡河東邑
密陽郵便取扱所	同　密陽郡密陽邑
星州郵便取扱所	慶尙北道星州郡星州邑
延日郵便取扱所	同　延日郡延日邑
盈德郵便取扱所	同　盈德郡盈德邑
清道郵便取扱所	同　清道郡清道邑
永川郵便取扱所	同　永川郡永川邑
慈仁郵便取扱所	同　慈仁郡慈仁邑
軍威郵便取扱所	慶尙北道軍威郡軍威邑
義城郵便取扱所	同　義城郡義城邑
善山郵便取扱所	同　善山郡善山邑
金山郵便取扱所	同　金山郡金山邑
青松郵便取扱所	同　青松郡青松邑

開慶郵便取扱所	慶尙北道開慶郡開慶邑
榮川郵便取扱所	同　榮川郡榮川邑
醴川郵便取扱所	同　醴川郡醴川邑
興海郵便取扱所	同　興海郡興海邑
淮陽郵便取扱所	江原道淮陽郡淮陽邑
原州郵便取扱所	同　原州郡原州邑
洪川郵便取扱所	同　洪川郡洪川邑
伊川郵便取扱所	同　伊川郡伊川邑
杆城郵便取扱所	同　杆城郡杆城邑
平昌郵便取扱所	同　平昌郡平昌邑
蔚珍郵便取扱所	同　蔚珍郡蔚珍邑
通川郵便取扱所	同　通川郡通川邑
楊口郵便取扱所	同　楊口郡楊口邑
三陟郵便取扱所	同　三陟郡三陟邑
襄陽郵便取扱所	同　襄陽郡襄陽邑
黃州郵便電信取扱所	黃海道黃州郡黃州邑
延安郵便取扱所	同　延安郡延安邑

甕津郵便取扱所	同　甕津郡甕津邑
長淵郵便取扱所	同　長淵郡長淵邑
殷栗郵便取扱所	同　殷栗郡殷栗邑
安岳郵便取扱所	同　安岳郡安岳邑
載寧郵便取扱所	同　載寧郡載寧邑
鳳山郵便取扱所	同　鳳山郡鳳山邑
平山郵便取扱所	同　平山郡平山邑
谷山郵便取扱所	同　谷山郡谷山邑
新溪郵便取扱所	同　新溪郡新溪邑
中和郵便取扱所	平安南道中和郡中和邑
順安郵便取扱所	同　順天郡順天邑
江西郵便取扱所	同　江西郡江西邑
德川郵便取扱所	同　德川郡德川邑
順川郵便取扱所	同　順天郡順天邑
成川郵便取扱所	同　成川郡成川邑
价川郵便取扱所	同　价川郡价川邑
陽德郵便取扱所	同　陽德郡陽德邑

龍川郵便取扱所　平安北道龍川郡龍川邑
宣川郵便取扱所　同　宣川郡宣川邑
嘉山郵便取扱所　同　嘉山郡嘉山邑
龜城郵便取扱所　同　龜城郡龜城邑
慈城郵便取扱所　同　慈城郡慈城邑
熙川郵便取扱所　同　熙川郡熙川邑
厚昌郵便取扱所　同　厚昌郡厚昌邑
端川郵便取扱所　咸鏡南道端川郡端川邑
永興郵便取扱所　同　永興郡永興邑

又從來當局分課及分掌ニ關スル事項ハ統監達通ヲ以テ各別ニ規定セラレシカ右取扱所新設ニ伴ヒ左ノ如ク改正セラレタリ

訓令第二十八號

統監府通信管理局分課規程左ノ通改正ス

明治三十九年十月二十四日　統監府通信管理局

第一條　統監府通信管理局ニ左ノ五課ヲ置ク

一　總務課
一　業務課
一　計理課
一　出納課
一　工務課

第二條　課ニ課長ヲ置キ統監之ヲ命免ス

第三條　各課ニ左ノ掛ヲ置ク

一　總務課　庶務掛　監査掛
一　業務課　局所掛　線路掛
一　計理課　主計掛　調度掛　廳舍掛
一　出納課　精算掛　爲替貯金掛
一　工務課　工事掛　試驗掛

第四條　各課掛ノ分掌事項左ノ如シ

總務課

庶務掛（中略）

監査掛

一　事業ノ監督ニ關スル事項

二　事業ノ監察ニ關スル事項
三　郵便所長以下並各局所諸傭人ノ身分進退功過ニ關スル事項
四　損害賠償官損處分報酬訴願及訴訟ニ關スル事項
五　犯罪申告其ノ他事故處分ニ關スル事項
六　第三種郵便物ノ認可、私書函ノ貸與及約束郵便ニ關スル事項
七　料金還付ニ關スル事項
八　電報ノ調査ニ關スル事項
九　吏員養成ニ關スル事項

業務課(中略)

計理課

主計掛

一　歳入歳出ノ豫算決算及現計ニ關スル事項
二　歳出豫算ノ增減流用及繰越ニ關スル事項
三　仕拂豫算及仕拂命令ニ關スル事項
四　歳入調定額及確定額ノ繰越並不納缺損處分ニ關スル事項
五　歳入調定徴收收納及下戻ニ關スル事項
六　歳入ノ過誤納下戻及缺損補塡ニ關スル事項

七　經費ノ支出、定額繰越戻入及過年度支出ニ關スル事項
八　保管證書ニ關スル事項
九　郵便所以下經費支給ニ關スル事項
十　歳入歳出外現金出納ノ檢査ニ關スル事項
十一　會計ノ檢査ニ關スル事項
十二　證明書類ノ檢査ニ關スル事項
十三　工事竣工及其ノ既濟部分ノ檢査ニ關スル事項
十四　物品及郵便切手類ノ出納檢査ニ關スル事項
十五　會計檢査院ノ質義ニ關スル事項
十六　仕拂命令官及歳入徴收官官印ノ保管ニ關スル事項
十七　課中他ノ掛ニ屬セサル事項

調度掛(中略)

廳舍掛(中略)

出納課

精算掛

一　郵便爲替金、郵便貯金及郵便取立金ノ受拂精算ニ關スル事項
二　歳入金、歳出金及歳入歳出外現金ノ受拂精算ニ關スル事項

三　韓國國庫金ノ受拂精算ニ關スル事項
四　郵便爲替金、郵便貯金及郵便取立金其ノ他各種現金ノ受拂證據書類ノ調査及整理ニ關スル事項
五　資金及過超金ノ受授ニ關スル事項
六　出納官吏及出納員ノ現金出納證明ニ關スル事項
七　郵便爲替、郵便貯金、郵便取立金ノ各證書及郵便貯金通帳ノ記號番號竝其ノ交付ニ關スル事項
八　出納官吏官印ノ保管ニ關スル事項
九　課中他ノ掛ニ屬セサル事項

爲替貯金掛

一　郵便爲替金及郵便取立金ノ受拂調理ニ關スル事項
二　郵便爲替證書ノ發行ニ關スル事項
三　郵便爲替金及郵便取立金ノ記帳計算ニ關スル事項
四　郵便貯金ノ預拂調理ニ關スル事項
五　郵便貯金原簿登記ニ關スル事項
六　郵便貯金預入申込書及印鑑ノ整理保管ニ關スル事項
七　郵便貯金通帳ノ利子記入及檢閲ニ關スル事項
八　郵便貯金拂戻證書及郵便貯金登記濟通知書ノ發行ニ關スル事項
九　郵便爲替及郵便貯金事業用局長印ノ保管ニ關スル事項

工務課(中略)

附　則

本令ハ明治三十九年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

尙右取扱所新設ノ結果同一地ニ在ル出張所及郵遞所ハ之ヲ存置スルノ要ナキニ至リタルニ依リ同年十一月三十日限リ之ヲ廢止スルコトトシ是等ノ廢止郵遞所ノ主事ニ對シテハ此ノ間誤解ヲ起ササランカ爲同年九月二十八日當局業務課長ヨリ左ノ通牒ヲ發セリ

今回韓國政府ノ委託ニ基キ來十二月一日ヨリ貴所ニ於テ國庫金出納事務ノ取扱開始候ニ就テハ右ト同時ニ郵便、小包郵便、郵便爲替及郵便貯金事務ヲモ開始シ臨時郵遞所名稱ヲ改メテ郵便取扱所又ハ郵便電信取扱所ト稱シ不日當局ヨリ吏員以下兩三名ヲ貴所ニ派駐セシメ同日以降貴職ハ該取扱所ノ主事ニ任用セラレ從來ノ通專ラ集配事務ヲ擔任セラルヘキ筈ニ候間右ニ御了知ノ上將來一層御奮勵當局派駐吏員ト扶掖提携シ益々斯業ノ發展ヲ期圖セラレ度候而シテ國庫金ノ取扱ニ關シテハ從來貴國ノ納稅方法ヲ一變候コトトテ此ノ間諸種ノ誤解モ可有之又派駐吏員ノ多クハ韓國內地ノ人情風俗ヲ了解セサルモノニシテ職務上竝生活上共ニ多大ノ不便可有之ト被存候處右ニ關シテハ曩日韓國度支部大臣ヨリ觀察使以下ニ對シ訓令ノ次第モ有之次テ當局長ヨリモ各郡守ヘ通牒致置候義モ有之候

ニ付萬事已ニ御承知ノコトト被存候此ノ間ニ處シ貴職ハ一面兼望ヲ負フテ鄕長ノ任ニ當リ他面主事トシテ郵便事務鞅掌セラルルモノニ付國庫金ノ取扱ニ付テハ韓國政府カ之ヲ委託シタルノ眞相ヲ衆民ニ周知セシムルノ手段ヲ講シ郵便業務ノ遂行上ニ付テハ派駐吏員以下ヲシテ毫モ顧慮スル所ナカラシムル樣百事周到ノ御配慮相成度依命特ニ及通牒候

新設取扱所及既設局所ニ於ケル韓國々庫金取扱ノ出納受持區域ヲ一定スルハ歲入歲出金收支ニ利便ナルヲ以テ之ヲ定ムルノ要ヲ認メ度支部トモ交渉ヲ重ネタル結果左記告示ノ通規定セラレタリ

統監府告示第九十九號

韓國々庫金ノ出納ヲ出扱フ統監府通信官署及其ノ出納受持區域ハ別表ノ指定ニ依ル

前項韓國々庫金出納ノ取扱ハ明治三十九年十月一日ヨリ之ヲ開始ス但シ郵便電信取扱所及郵便取扱所ニ於テハ其ノ取扱所設置ノ日ヨリ之ヲ開始ス

明治三十九年九月二十一日

統監侯爵　伊藤博文

（別表）

統監府通信官署韓國々庫金出納受持區域指定表

京畿道

通信官署	位置	出納受持區域	受持韓國金庫
通信管理局	漢城府西署積善坊		中央金庫
水原郵便局	水原郡水原邑	水原郡	
京城郵便局安城出張所	安城郡安城邑	安城郡、竹山郡	
楊州郵便取扱所	楊州郡楊州邑	楊州郡、積城郡	
廣州郵便取扱所	廣州府廣州邑	廣州府	
坡州郵便取扱所	坡州郡坡州邑	坡州郡、交河郡	
驪州郵便取扱所	驪州郡驪州邑	驪州郡、陰竹郡	
陽智郵便取扱所	陽智郡陽智邑	陽智郡、龍仁郡、利川郡	
振威郵便取扱所	振威郡振威邑	振威郡、陽城郡	
金浦郵便取扱所	金浦郡金浦邑	金浦郡、通津郡	
楊根郵便取扱所	楊根郡楊根邑	楊根郡、砥平郡	
抱川郵便取扱所	抱川郡抱川邑	抱川郡、永平郡、加平郡	
漣川郵便取扱所	漣川郡漣川邑	漣川郡、朔寧郡、麻田郡	
南陽郵便取扱所	南陽郡南陽邑	南陽郡	
江華郵便取扱所	江華府江華邑	江華府、喬桐郡	仁川支金庫

通信官署	位置	出納受持區域	受持韓國金庫
長湍郵便取扱所	長湍郡長湍邑	長湍郡	開城支金庫

忠清南道

通信官署	位置	出納受持區域	受持韓國金庫
群山郵便局公州出張所	公州郡公州邑	公州郡	中央金庫
群山郵便局洪州出張所	洪州郡洪州邑	洪州郡、結城郡	
瑞山郵便取扱所	瑞山郡瑞山邑	泰安郡、瑞山郡	
沔川郵便取扱所	沔川郡沔川邑	沔川郡、唐津郡	
德山郵便取扱所	德山郡德山邑	德山郡、海美郡	
定山郵便取扱所	定山郡定山邑	定山郡、青陽郡	
禮山郵便取扱所	禮山郡禮山邑	禮山郡、大興郡	
牙山郵便取扱所	牙山郡牙山邑	牙山郡、南陽郡、新昌郡	
天安郵便取扱所	天安郡天安邑	天安郡、槐山郡、平澤郡	
全義郵便取扱所	全義郡全義邑	全義郡、木川郡、燕岐郡	
文義郵便取扱所	文義郡文義邑	文義郡、懷德郡、	

通信官署	位置	出納受持區域	受持韓國金庫
藍浦郵便取扱所	藍浦郡藍浦邑	藍浦郡、鰲川郡、庇仁郡、保寧郡	群山支金庫
韓山郵便取扱所	韓山郡韓山邑	韓山郡、舒川郡	
鴻山郵便取扱所	鴻山郡鴻山邑	鴻山郡、林川郡	
恩津郵便取扱所	恩津郡恩津邑	恩津郡、扶餘郡、石城郡	
連山郵便取扱所	連山郡連山邑	連山郡、魯城郡、鎭岑郡	

忠清北道

通信官署	位置	出納受持區域	受持韓國金庫
忠州郵便局	忠州郡忠州邑	忠州郡、堤川郡	中央金庫
京城郵便局清州出張所	清州郡清州邑	清州郡	
沃川郵便取扱所	沃川郡沃川邑	沃川郡	
黃潤郵便取扱所	黃潤郡黃潤邑	黃潤郡、永同郡	
報恩郵便取扱所	報恩郡報恩邑	報恩郡、青山郡、懷仁郡	
鎭川郵便取扱所	鎭川郡鎭川邑	鎭川郡、淸安郡	
槐山郵便取扱所	槐山郡槐山邑	延豐郡、陰城郡、槐山郡	
丹陽郵便取扱所	丹陽郡丹陽邑	淸風郡、永春郡、丹陽郡	

全羅南道

通信官署	位置	出納受持區域	受持韓國金庫
光州郵便局	光州郡光州邑	光州郡	木浦支金庫
木浦郵便局濟州出張所	濟州郡濟州邑	旌義郡、大靜郡、濟州郡	
木浦郵便局長興出張所	長興郡長興邑	寶城郡、長興郡	
羅州郵便取扱所	羅州郡羅州邑	羅州郡	
綾州郵便取扱所	綾州郡綾州邑	綾州郡、南平郡	
同福郵便取扱所	同福郡同福邑	同福郡、和順郡	
靈光郵便取扱所	靈光郡靈光邑	靈光郡、茂長郡	
興德郵便取扱所	興德郡興德邑	興德郡	
潭陽郵便取扱所	潭陽郡潭陽邑	潭陽郡、昌平郡	
谷城郵便取扱所	谷城郡谷城邑	谷城郡、玉果郡	
順天郵便取扱所	順天郡順天邑	順天郡、光陽郡	
樂安郵便取扱所	樂安郡樂安邑	樂安郡、興陽郡	
海南郵便取扱所	海南郡海南邑	海南郡、康津郡、莞島郡	
珍島郵便取扱所	珍島郡珍島邑	珍島郡	
靈巖郵便取扱所	靈巖郡靈巖邑	靈巖郡	

通信官署	位置	出納受持區域	受持韓國金庫
麗水郵便取扱所	麗水郡麗水邑	麗水郡、突山郡	
長城郵便取扱所	長城郡長城邑	長城郡、高敞郡	

全羅北道

通信官署	位置	出納受持區域	受持韓國金庫
全州郵便局	全州郡全州邑	全州郡	群山支金庫
群山郵便局南原出張所	南原郡南原邑	南原郡、雲峯郡、求禮郡	
淳昌郵便取扱所	淳昌郡淳昌邑	淳昌郡、任實郡	
錦山郵便取扱所	錦山郡錦山邑	錦山郡、珍山郡	
鎭安郵便取扱所	鎭安郡鎭安邑	鎭安郡、長水郡	
茂朱郵便取扱所	茂朱郡茂朱邑	茂朱郡、龍潭郡	
礪山郵便取扱所	礪山郡礪山邑	礪山郡、高山郡	
咸悅郵便取扱所	咸悅郡咸悅邑	咸悅郡、龍安郡、益山郡	
金堤郵便取扱所	金堤郡金堤邑	金堤郡、萬頃郡	
泰仁郵便取扱所	泰仁郡泰仁邑	泰仁郡、金溝郡	
扶安郵便取扱所	扶安郡扶安邑	扶安郡、古阜郡、井邑郡	

慶尙南道

通信官署	位置	出納受持區域	受持韓國金庫
晉州郵便局	晉州郡晉州邑	晉州郡、昆陽郡	
巨濟郵便取扱所	巨濟郡巨濟邑	巨濟郡	
咸安郵便取扱所	咸安郡咸安邑	咸安郡、鎭海郡	
咸陽郵便取扱所	咸陽郡咸陽邑	咸陽郡、山淸郡	
南海郵便取扱所	南海郡南海邑	南海郡	
昌寧郵便取扱所	昌寧郡昌寧邑	昌寧郡、靈山郡	馬山支金庫
三嘉郵便取扱所	三嘉郡三嘉邑	三嘉郡、丹城郡、宜寧郡	
陜川郵便取扱所	陜川郡陜川邑	陜川郡、草溪郡	
居昌郵便取扱所	居昌郡居昌邑	居昌郡、安義郡	
固城郵便取扱所	固城郡固城邑	固城郡、鎭南郡、泗川郡	
河東郵便取扱所	河東郡河東邑	河東郡	
蔚山郵便取扱所	蔚山郡蔚山邑	蔚山郡、彥陽郡	
金海郵便取扱所	金海郡金海邑	金海郡、熊川郡	釜山支金庫
密陽郵便取扱所	密陽郡密陽邑	密陽郡	

慶尙北道

通信官署	位置	出納受持區域	受持韓國金庫
釜山郵便局慶州出張所	慶州郡慶州邑	慶州郡	大邱支金庫
釜山郵便局尙州出張所	尙州郡尙州邑	尙州郡	
釜山郵便局安東出張所	安東郡安東邑	安東郡	
星州郵便取扱所	星州郡星州邑	星州郡、高麗郡	
延日郵便取扱所	延日郡延日邑	延日郡、長鬐郡	
盈德郵便取扱所	盈德郡盈德邑	盈德郡、寧海郡	
淸道郵便取扱所	淸道郡淸道邑	淸道郡	
永川郵便取扱所	永川郡永川邑	永川郡、新寧郡	
慈仁郵便取扱所	慈仁郡慈仁邑	慈仁郡、慶山郡	
軍威郵便取扱所	軍威郡軍威邑	軍威郡、比安郡	
義城郵便取扱所	義城郡義城邑	義城郡、義興郡	
善山郵便取扱所	善山郡善山邑	善山郡、開寧郡	
金山郵便取扱所	金山郡金山邑	金山郡、知禮郡	
青松郵便取扱所	青松郡青松邑	青松郡、眞寶郡、英陽郡	

通信官署	位置	出納受持區域	受持韓國金庫
聞慶郵便取扱所	聞慶郡聞慶邑	聞慶郡、咸昌郡	
榮川郵便取扱所	榮川郡榮川邑	榮川郡、禮安郡、奉化郡、順興郡	
醴泉郵便取扱所	醴泉郡醴泉邑	醴泉郡、豐基郡、龍宮郡	
興海郵便取扱所	興海郡興海邑	興海郡、清河郡	

江原道

通信官署	位置	出納受持區域	受持韓國金庫
春川郵便局	春川郡春川邑	春川郡	中央金庫
江陵郵便局	江陵郡江陵邑	江陵郡	
京城郵便局金城出張所	金城郡金城邑	金城郡、華川郡、金化郡	
京城郵便局鐵原出張所	鐵原郡鐵原邑	平康郡、鐵原郡	
淮陽郵便取扱所	淮陽郡淮陽邑	淮陽郡	
原州郵便取扱所	原州郡原州邑	原州郡	
洪川郵便取扱所	洪川郡洪川邑	洪川郡、橫城郡	
伊川郵便取扱所	伊川郡伊川邑	伊川郡、安峽郡	

通信官署	位置	出納受持區域	受持韓國金庫
杆城郵便取扱所	杆城郡杆城邑	杆城郡、高城郡	
平昌郵便取扱所	平昌郡平昌邑	平昌郡、旌善郡、寧越郡	
蔚珍郵便取扱所	蔚珍郡蔚珍邑	蔚珍郡、平海郡	
楊口郵便取扱所	楊口郡楊口邑	楊口郡、麟蹄郡	
三陟郵便取扱所	三陟郡三陟邑	三陟郡、蠶島郡	
襄陽郵便取扱所	襄陽郡襄陽邑	襄陽郡	
通川郵便取扱所	通川郡通川邑	通川郡、歙谷郡	元山支金庫

黃海道

通信官署	位置	出納受持區域	受持韓國金庫
仁川郵便局海州出張所	海州郡海州邑	海州郡	開城支金庫
京城郵便局瑞興出張所	瑞興郡瑞興邑	瑞興郡	
長淵郵便取扱所	長淵郡長淵邑	長淵郡、豐川郡	
般栗郵便取扱所	般栗郡般栗邑	般栗郡、松禾郡、長連郡	
安岳郵便取扱所	安岳郡安岳邑	安岳郡、文化郡	
甕津郵便取扱所	甕津郡甕津邑	甕津郡、康翎郡	
黃州郵便取扱所	黃州郡黃州邑	黃州郡	

通信官署	位置	出納受持區域	受持韓國金庫
延安郵便取扱所	延安郡延安邑	延安郡、白川郡	
載寧郵便取扱所	載寧郡載寧邑	載寧郡、信川郡	
鳳山郵便取扱所	鳳山郡鳳山邑	鳳山郡	
平山郵便取扱所	平山郡平山邑	平山郡、金川郡	
谷山郵便取扱所	谷山郡谷山邑	谷山郡、遂安郡	
新溪郵便取扱所	新溪郡新溪邑	新溪郡、兎山郡	

平安南道

通信官署	位置	出納受持區域	受持韓國金庫
安州郵便局	安州郡安州邑	安州郡、肅川郡	平壤支金庫
中和郵便取扱所	中和郡中和邑	中和郡、祥原郡	
順安郵便取扱所	順安郡順安邑	順安郡、永柔郡	
德川郵便取扱所	德川郡德川邑	寧遠郡、孟山郡、德川郡	
順川郵便取扱所	順川郡順川邑	順川郡、慈山郡、殷山郡	
成川郵便取扱所	成川郡成川邑	三登郡、江東郡、成川郡	

通信官署	位置	出納受持區域	受持韓國金庫
价川郵便取扱所	价川郡价川邑	价川郡	
陽德郵便取扱所	陽德郡陽德邑	陽德郡	
江西郵便取扱所	江西郡江西邑	甑山郡、咸從郡、江西郡	鎭南浦支金庫

平安北道

通信官署	位置	出納受持區域	受持韓國金庫
義州郵便局	義州府	義州府	平壤支金庫
安州郵便局寧邊出張所	寧邊郡寧邊邑	雲山郡、寧邊郡	
安州郵便局定州出張所	定州郡定州邑	定州郡	
義州郵便局江界出張所	江界郡江界邑	江界郡	
義州郵便局楚山出張所	楚山郡楚山邑	楚山郡、渭原郡	
義州郵便局碧潼出張所	碧潼郡碧潼邑	碧潼郡	
昌城郵便電信取扱所	昌城郡昌城邑	昌城郡、朔州郡	
龍川郵便取扱所	龍川郡龍川邑	龍川郡、鐵山郡	
宣川郵便取扱所	宣川郡宣川邑	宣川郡、郭山郡	
嘉山郵便取扱所	嘉山郡嘉山邑	嘉山郡、博川郡	
龜城郵便取扱所	龜城郡龜城邑	龜城郡、泰川郡	

通信官署	位置	出納受持區域	受持韓國金庫
慈城郵便取扱所	慈城郡慈城邑	慈城郡	
熙川郵便取扱所	熙川郡熙川邑	熙川郡	
厚昌郵便取扱所	厚昌郡厚昌邑	厚昌郡	

咸鏡南道

通信官署	位置	出納受持區域	受持韓國金庫
元山郵便局北青出張所	北青郡北青邑	北青郡、洪原郡	咸興支金庫
元山郵便局甲山出張所	甲山郡甲山邑	甲山郡、三水郡	
元山郵便局長津出張所	長津郡長津邑	長津郡	
端川郵便取扱所	端川郡端川邑	端川郡、利原郡	
永興郵便取扱所	永興郡永興邑	永興郡、高原郡	元山支金庫

咸鏡北道

通信官署	位置	出納受持區域	受持韓國金庫
鏡城郵便局	鏡城郡鏡城邑	鏡城郡、富寧郡	城津支金庫
城津郵便局慶興出張所	慶興郡慶興邑	慶興郡、慶源郡	
城津郵便局穩城出張所	穩城郡穩城邑	穩城郡、鍾城郡	
城津郵便局會寧出張所	會寧郡會寧邑	會寧郡、茂山郡	
明川郵便電信取扱所	明川郡明川邑	明川郡	

本業務ノ取扱機關ニ關スル法規ノ制定ニ就テハ以上ノ記述ニ依リ其ノ大綱ヲ悉シタルヲ以テ次ニ其ノ事務取扱ニ關スル法規ノ制定ニ關シ述フル所アラムトス

國庫金受拂ノ事務ヲ取扱フ者ハ通信官署在來ノ業務タル郵便爲替貯金及其ノ他ノ現金受拂事務ノ取扱者ト同一ナルヘキカ故ニ在來ノ事務ト劃然區別スルハ取扱上困難ナルニ依リ是等現金ノ出納保管ハ之ヲ一團トシ彼此交互ニ振替繰替計理セシムルヲ利便ナリト認メ左記府令ヲ發布シ相互ノ關係ヲ明ニセリ

統監府令第三十六號

統監府通信官署ノ取扱ニ屬スル韓國々庫金ハ總テ帝國會計ノ歳入歳出外現金トシ明治三十八年勅令第二百八十號及明治三十九年統監府令第三號ニ從ヒ明治三十六年勅令第二十三號及郵便電信電話官署現金受拂規則ニ依リ通信官署ノ出納官吏又ハ出納員ニ於テ他ノ各種現金ト共ニ交互振替又ハ繰替計算ヲ以テ之ヲ取扱フヘシ

本令ハ明治三十九年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十九年九月二十一日

統監侯爵　伊藤博文

當時朝鮮ニ於ケル經濟界ハ甚シキ混亂ノ狀態ヲ呈シ通貨ハ其ノ價格ニ一定ノ標準ナク變動極リナキ爲交易上ハ勿論財政上ニ及ホス弊害尠カラサリシヲ以テ曩ニ舊韓國政府ハ貨幣整理ノ必要ヲ認メ著々之カ改善ニ努メ一面新貨ノ流通ヲ計リシモ當時尙草創ノ時代ナリシヲ以テ惡貨ハ依然トシテ地方ニ流通シ價格ノ變動甚シク租稅徵收其ノ他ノ場合ニ於テ此ノ動搖極リナキ相場ニ依ルハ不便ナルノミナラス弊害アルヲ認メタルヲ以テ左ノ達示ニ依リ之ヲ一定スルコトトセリ

達通第百三十二號

統監府通信官署

統監府通信官署韓國々庫金出納事務規程第十九條及第二十條但書ニ依リ韓國々庫金トシテ收納又ハ拂渡ヲ爲スヘキ韓國舊貨幣ノ價格ハ別表ノ指定ニ依ル

日本通貨又ハ韓國新貨幣ノ汎ク流通セサル地方ノ通信官署ニ於テハ別表ノ指定價格ニ依リ韓國舊貨幣ヲ以テ郵便爲替金郵便貯金郵便取立金又ハ帝國會計ノ歲入金歲出金若ハ歲入歲出外現金トシテ之ヲ受授スルコトヲ得

前項ニ依リ受授スル韓國舊貨幣ハ韓國々庫金トシテ受授スルモノト同一ノ例ニ依リ之ヲ取扱フヘシ

附則

本達ハ明治三十九年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

本達施行當日現在ノ韓國舊貨幣ハ別表ノ指定價格ニ依リ之ヲ換算シ其ノ換算上ヨリ生スル差金ハ統監府通信官署韓國々庫金出納事務規程第二十一條及第二十二條ノ例ニ準シ之ヲ處理スヘシ

明治三十九年九月二十八日

統監侯爵　伊藤博文

（別表）

韓國舊貨幣價格指定表

種別	數量	指定價格
舊白銅貨	一個	二錢五厘
葉錢	一個	一厘五毛
其ノ他ノ舊貨幣	一元	五十錢

次ニ通信官署ニ於ケル韓國國庫金ノ出納事務ハ第二章第一節ニ於テ記述シタル委託條項施行細目ヲ經トシ前段記載ノ明治三十九年統監府令第三十六號ヲ緯トシテ之ヲ取扱フコトニ規定シタルモ其ノ內容ニ關シテハ別ニ節ヲ設ケ更ニ詳說セムトス

斯クシテ法規ノ制定等一切ノ準備整フタルヲ以テ一般局所ニ對シ左記訓示ヲ發シ國庫金取扱

上遺算ナキヲ期セシメタリ

局訓第三號

今般韓國政府ノ委託ニ依リ我通信官署ニ於テ韓國々庫金ノ出納事務ヲ取扱フコトトナリタルハ畢竟韓國金庫ノ設置未タ各地ニ普遍セス納稅其ノ他國庫金ノ支撥ニ不便尠カラサルヲ以テ其ノ未タ金庫ノ設置アラサル地方ニ於ケル通信官署ヲシテ普通掌理事務ノ外韓國々庫金出納ノ事務ヲモ取扱ハシメ一ハ以テ此等ノ不便ヲ救治シ一ハ以テ韓國ニ於ケル通信機關ノ整備充實ヲ期圖セムトスルニ外ナラス而シテ通信機關ノ整備充實ハ公衆一般ノ便益ヲ增進スルハ言ヲ俟タス延テ韓國內地ノ殖產興業ヲ發展セシメ國庫金出納事務ノ取扱ト相倚リ相俟チテ韓國財政ノ整理ニ至大ナル援助ヲ與フル所以ニシテ其ノ韓國ニ及ホス所ノ效果多大ナリト謂ハサルヘカラス各員克ク其ノ目的ノ宏遠ナルト其ノ負荷ノ重大ナルトニ致シ熱心誠意奮勵努力其ノ本分ヲ完全ニ竭ササルヘカラス特ニ韓國々庫金ノ取扱事務ハ事全ク創業ニ屬シ其ノ成績ノ良否如何ハ中外萬目ノ齊シク瞻視スル所ナルノミナラス直接我事業ノ信用ニ關係スルヲ以テ各自國家的公益ノ業務ニ從事シツツアリト云フ觀念ヲ居常念頭ヨリ離サス一層細密ナル注意ヲ以テ萬般ノ事務ヲ措畫シ苟モ我事業ノ信用聲價ヲ內外ニ失墜スルカ如キコトナキヲ期セサルヘカラス

各員ノ執務上實踐力行スヘキ要項ニ付テハ既ニ一般ニ訓示セリ各員ノ正ニ眷々服膺スル所ナリト信ス今復茲ニ之ヲ反復スルヲ要セス但シ今回韓國々庫金取扱ノ開始ニ伴ヒ各地郵便及電信取扱所ニ赴任スル各員ニ對シテハ同訓示中「公衆トノ應接振」「通信思想ノ誘開」「一般ノ觀察」「紀律等ノ點ニ付テハ特ニ注意シ敢テ此等訓示事項ノ實行ヲ懈ルコトナク忠實勤勉事ニ從ヒ謹嚴方直身ヲ持シ事業經營上萬遺憾ナキヲ期セムコトヲ望マサルヲ得ス

右訓示ス

明治三十九年九月二十八日

統監府通信管理局長　池田十三郎

第二節　業務執行規定ノ制定

本事務取扱機關ノ設備ニ關スル法規ノ制定ニ付テハ前節ニ於テ既ニ之ヲ記述セルヲ以テ本節ニ於テハ事務執行ニ關スル部內規定及其ノ內容ニ關シ概說セムトス

明治三十九年十月國庫金ノ取扱ヲ開始スルニ當リ之カ取扱手續左ノ通規定セラレタリ

達通第百三十一號

統監府通信官署

統監府通信官署韓國々庫金出納事務規程左ノ通定ム

明治三十九年九月二十八日

統監侯爵　伊藤博文

統監府通信官署韓國々庫金出納事務規程

第一章　總　則

第一條　統監府通信官署ニ於ケル韓國々庫金出納事務ハ本規程ニ依リ之ヲ取扱フヘシ

第二條　韓國々庫金ノ受拂高ハ左ノ區別ニ依リ之ヲ整理スヘシ

受入ノ部

一　過超金受領高
二　資金受領高
三　歳入金領收高
四　歳出代リ金領收高
五　歳出定額還入金領收高
六　歳入歳出外現金領收高
七　假入高
八　貨幣換算差增高

拂出ノ部

九　資金交付高
十　過超金納付高
十一　歳入金拂込高
十二　歳出金拂渡高
十三　歳出定額還入金拂込高
十四　歳入歳出外現金拂渡高
十五　假出高
十六　貨幣換算差減高

第三條　韓國々庫金出納事務ノ取扱ニ關スル事項ニシテ本規程ニ明文ナキモノノ處理ニ關シテハ通信官署會計事務規程通信官署現金出納計算規程及郵便爲替取扱規程中現金ノ出納計算整理ニ關スル規定ヲ準用ス但シ韓國々庫金ノ拂渡ニ關シテハ郵便爲替金少額拂ニ關スル規定ヲ準用セス

（註）我通信官署ニ於ケル舊韓國々庫金ノ受拂ハ純然タル爲替ノ媒介ニ依リ取扱フ方針ナリシモ斯クテハ單純ナル送金機關ノ作用ヲ爲スニ止マリ舊韓國政府ノ財政整理ニ裨益スル所尠ク充分ナル效果ヲ奏シ難キヲ以テ我通信官署ハ同國政府ノ出納官吏ノ地位ニ立チ之ヲ執行スルヲ委託ノ精神ニ最適合スルモノト做シ協定ノ結果韓國歳入歳出處理順序「金庫事務處理順序」「租稅徵收規程」「國庫金委託出納事務處理順序等ヲ參酌ノ上本規程ノ制定ヲ見ルニ至リタルモノトス

然リ而シテ其ノ取扱ニ係ル現金ハ之ヲ一般爲替貯金等ノ受拂金ニ混同シ其ノ計算ヲモ爲替貯金ニ併算整理スルノ方法ヲ採ルニ於テハ他日現金又ハ計算上ニ事

故ノ生シタル場合兩者其ノ何レニ屬スルヤヲ識別スルノ途ナク委託條項第五條ニ責任ノ有無ヲ判斷スルコト困難ナルヘキニ依リ手數ニ於テ相當時間ト勞力トヲ要スルモ現金ハ之ヲ爲替貯金ニ屬スルモノト混同スルモ其ノ計算ハ別系統ニ依リ整理シ分界ヲ明ナラシムルコトトシ卽チ第二條ノ計算科目ヲ創設セリ是ニ依リ韓國々庫金ノ受拂殘金ハ常ニ明瞭トナリ從テ是等ニ對スル事故ノ歸屬點ヲモ識別スルヲ得ヘシ而シテ日々受拂金ノ總括ハ通信官署現金出納計算規程ニ依ル現金出納簿ニ於テ之ヲ認メサルヘカラサルヲ以テ出納簿ニ韓國々庫金受入高(第二條受入ノ部自(一)至(八)ノ合計)韓國々庫金拂渡高(第二條拂出ノ部自(十一)至(十六)ノ合計)ノ科目ヲ新設シ韓國々庫金ノ受拂高ヲ計上スルコトトセリ(第二十九條參照)

第二章　歳入金

第四條　韓國歳入徴收官カ金庫所在地外ニ在ル納人ヲシテ歳入金ノ納付ヲ爲サシメントスルトキハ其ノ納人ノ所在地ヲ出納受持區域トスル郵便官署ヲ指定シ納人ニ對シ納入告知書ヲ發行シ納人ハ其ノ納入告知書ニ現金ヲ添ヘ之ヲ指定ノ郵便官署ニ納付スヘキニ依リ其ノ納付ヲ受ケタル郵便官署ニ於テハ之ヲ受領シ左ノ事項ヲ精密ニ調査スヘシ

一　納付ヲ受ケタル歳入金ハ納入告知書面ノ金額ニ對シ過不足ナキヤ否ヤ

二　納付ヲ受ケタル歳入金中僞造贋造其ノ他不足ノ貨幣ナキヤ否ヤ

三　納付ヲ受ケタル歳入金ハ金庫又ハ他ノ郵便官署ニ納付ノ指定アルモノニアラサルヤ否ヤ

第五條　前條ノ調査ヲ了リ總テ正確ナリト認メタルトキハ納入告知書ニ接續スル領收濟報告書領收濟通知書及領收證書ニ式ノ如ク記入捺印シ其ノ領收濟通知書及領收證書ヲ切離シ領收證書ハ納人ニ交付シ領收濟通知書ハ當該韓國歳入徴收官ニ送付スヘシ

前項ノ手續ヲ了リタルトキハ領收濟納入告知書ニ依リ歳入金領收簿ニ式ノ如ク登記シ其ノ納入告知書及之ニ接續スル領收濟報告書ハ各其ノ表面餘白ニ當日ノ日附印ヲ押捺シ韓國々庫金受入證據書類トシテ之ヲ處理スヘシ

第六條　納付ヲ受ケタル歳入金カ納入告知書面ノ金額ニ對シ不足スル場合ニ於テ納人カ直ニ其ノ不足金額ヲ補充スルコトヲ得サルトキハ實收金額ニ對スル代用納入告知書領收濟報告書領收濟通知書及領收證書ヲ作リ各其ノ表面餘白ニ「代用」ト金額ノ下部ニ「不足納」ト同左側ニ「第何號納入告知書ニ對スル分」ト兼モ朱書シ必要アル場合ニ於テハ裏面ニ相當事由ヲ附記シ其ノ他ハ前條ノ例ニ準シ之ヲ處理スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ納人ヨリ提出シタル納入告知書ノ表面餘白ニ「不足納」ト朱書シ之ニ接續スル領收濟報告書領收濟通知書及領收證書ノ部ニ朱線ヲ横畫シ實收金額ニ對スル代用領收濟通知書ト共ニ各之ヲ當該韓國歳入徴收官ニ送付スヘシ

第七條　納入ヲ受ケタル歳入金中僞造贋造其ノ他不良ノ貨幣アリタル場合ニ於テ納人カ直ニ其ノ闕額ヲ補充スルコトヲ得サルトキ亦前條ニ同シ

第八條　納付ヲ受ケタル歳入金カ金庫又ハ他ノ郵便官署ニ納付ノ指定アルモノナルトキハ納入告知書領收濟報告書領收濟通知書及領收證書ノ各表面餘白ニ〔他管區轉入〕ト朱書シ其ノ他ハ前各條ノ例ニ準シ之ヲ處理スヘシ

第九條　納人ヨリ歳入金ノ納付ヲ受ケタル場合ニ於テ納入告知書ヲ携帶セサルモノアルトキハ左ノ區別ニ依リ之ヲ處理スヘシ

一　韓國歳入徵收官在勤廳ト同一構内又ハ其ノ附近ニ在ル郵便官署ニ於テハ直ニ當該韓國歳入徵收官ヲシテ其ノ納入告知書ヲ再發セシムヘシ

二　韓國歳入徵收官在勤廳ト隔離シ前號ニ依ルヲ不便トスル郵便官署ニ於テハ左ノ事項ヲ確メ其ノ實收金額ニ對スル代用納入告知書領收濟報告書領收濟通知書及領收證書ヲ作リ各表面餘白ニ〔代用〕ト朱書シ若左ノ事項中不明ノモノアリタルトキハ適宜裏面ニ其ノ旨ヲ附記シ其ノ他ハ前各條ノ例ニ準シ之ヲ處理スヘシ

一　納人住所氏名
二　歳入金額
三　歳入科目
四　歳入所屬年度及納期
五　歳入主管廳及處理廳

〔註〕〔納入告知書〕納入告知書用紙ハ韓國々庫金委託出納事務處理順序附屬第一號書式ニシテ歳入徵收官之ヲ發行スルモノトス

〔不足納〕本制度ハ韓國法規上之ヲ認メサルモ納付金勘定ノ結果事實貨幣ノ僞造贋造其ノ他事故ニ由リ其ノ納付金ノ納入告知書面金額ニ不足スル場合直ニ之ヲ補充シ得サルノ理由ヲ以テ拒絶スルカ如キハ政府ハ租稅徵收ノ機會ヲ逸シ納人ハ小額貨幣ノ運搬ニ二重ノ手數ト費用ヲ要シ相互不便多キヲ以テ努メテ便宜受領スルヲ得策ナリト認メ本制度ヲ採レリ

〔他管區轉入〕納入告知書無携帶ニ因ル代用納入告知書〕納付ヲ受ケタル歳入金カ金庫又ハ他ノ郵便官署納付ノ指定アル納入告知書ナル場合又ハ告知書ヲ携帶セサルモノアル場合ニ之カ受入ヲ拒ムカ如キハ納稅ノ時期ヲ逸セシムルノミナラス納稅者ノ不便尠カラサルヲ以テ其ノ便宜ヲ計リタルニ外ナラス

第三章　歳出金

第十條　韓國出給命令官カ國庫所在地外ニ在ル債主ニ對シ歳出金ノ支出ヲ爲サントスルトキハ其ノ債主ノ所在地ヲ出納受持區域トスル郵便官署ヲ指定シ出給命令及通知出給命令ヲ發行シ各其ノ表面餘白ニ〔送金〕ト朱書シ出給命令ハ債主ニ交付シ通知出給命令ハ金庫ニ送付シ金庫ハ相當手續ヲ爲シタル後通知出給命令ノ餘白ニ〔要仕拂〕ト朱書シ及副署捺印シ之ヲ指定ノ郵便官署ニ送付スヘキニ依リ其ノ送付ヲ受ケタル郵便官署ニ於テハ通知出給命令ノ印影ヲ印鑑ニ對査シ相違ナキコトヲ確メ其ノ他相當調査ヲ遂ケ總テ

正確ナリト認メタルトキハ番號順ニ整理シ通知出給命令書留簿ニ一口毎ニ登記シ嚴重ニ之ヲ保管スヘシ

第十一條　郵便官署ニ於テ債主ヨリ出給命令ヲ以テ歳出金拂渡ノ請求ヲ受ケタルトキハ其ノ出給命令ノ印影ヲ印鑑ニ割印金額氏名其ノ他ノ記載事項ヲ前條ノ通知出給命令ニ各對査シ總テ正確ナリト認メタルトキハ通知出給命令書留簿ニ拂渡年月日ヲ記入シ次ニ債主ヲシテ出給命令ノ裏面領收ノ部ニ年月日ヲ記入シ署名捺印セシメ之ト引換ニ現金ヲ交付スヘシ

前項ノ手續ヲ了リタルトキハ拂渡濟出給命令ニ依リ歳出金拂渡簿ニ式ノ如ク登記シ其ノ拂渡濟出給命令及通知出給命令ハ各表面餘白ニ當日ノ日附印ヲ押捺シ韓國々庫金拂渡證據書類トシテ之ヲ處理スヘシ

第十二條　出給命令及通知出給命令ノ有效期間ハ發行ノ日ヨリ起算シ六十日以内ナルヲ以テ其ノ期間ヲ經過シタルモノニ對シテハ現金ノ拂渡ヲ停止スヘシ

前項ノ場合ニ於ケル通知出給命令ハ失效ノ日ヨリ起算シ五日間ヲ經過シタル後書留郵便ヲ以テ遲滯ナク之ヲ當該金庫ヲ還付スヘシ

（註）（出給命令通知出給命令）出給命令通知出給命令用紙ハ國庫金出納事務委託處理順序附屬第二號ノ書式ニシテ出給命令官之ヲ發行スルモノトス

（要支拂）金庫ニ於テ出給命令官ヨリ通知出給命令ノ送付ヲ受ケタルトキハ豫算ニ對照シ仕拂豫算ノ現在ヲ認メタル上通知出給命令ノ甲號ノ部ニ此ノ表示ヲ爲シタル上之ヲ指定郵便局所ニ送付スルモノトス即チ之ニ依リ我通信官署ハ全然其ノ金庫タルノ地位ニ立スシテ單ニ出納官吏ノ地位ニアルコトヲ認識スルヲ得ヘシ

（金庫印鑑）此ハ豫メ當局ニ於テ韓國中央金庫ヨリ同金庫及各支金庫ハ印鑑ノ送付ヲ受ケ之ヲ夫々地方局所ニ配付シ第十條ノ手續ヲ執ラシムコトトセリ

第四章　歳出定額還入金

第十三條　韓國出給命令官カ金庫所在地外ニ在ル返納人ヲシテ歳出金ノ返納ヲ爲サシメ同時ニ金庫ヲシテ之ヲ定額ニ還入セシメントスルトキハ其ノ返納人ノ所在地ヲ出納受持區域トスル郵便官署ヲ指定シ返納人ニ對シ返納告知書ヲ發行シ返納人ハ其ノ返納告知書ニ現金ヲ添ヘ之ヲ指定ノ郵便官署ニ納付スヘキニ依リ其ノ納付ヲ受ケタル郵便官署ニ於テハ之ヲ受領シ歳入金領收ノ例ニ準シ相當調査ヲ遂ケ總テ正確ナリト認メタルトキハ返納告知書ニ接續スル領收濟報告書領收濟通知書及領收證書ニ式ノ如ク記入捺印シ領收濟通知書及領收證書ヲ切離シ領收證書ハ返納人ニ交付シ領收濟通知書及之ニ接續スル還入通知書ハ所屬金庫ニ送付スヘシ

前項領收濟通知書ニ接續スル還入通知書ハ金庫ニ於テ相當手續ヲ爲シタル後署名捺印シ當該韓國出給命令官ニ送付スヘキモノナルニ依リ該還入通知書ニ對シテハ郵便官署

ニ於テ署名捺印スルコトヲ要セス

第十四條　前條ノ手續ヲ了シタルトキハ領收濟返納告知書ニ依リ歳出定額還入金領收簿ニ式ノ如ク登記シ其ノ返納告知書及之ニ接續スル領收濟報告書ハ各表面餘白ニ當日ノ日附印ヲ押捺シ韓國々庫金受入證據書類トシテ之ヲ處理スヘシ

第十五條　前二條ノ外歳出定額還入金ノ領收ニ關シテハ總テ歳入金領收ノ例ニ準シ之ヲ處理スヘシ

（註）（返納告知書）返納告知書用紙ハ國庫金委託出納事務處理順序附屬第三號書式ニシテ出給命令官之ヲ發行スルモノトス

（歳出定額還入金領收簿）本簿ハ規程第三十四條第二項ニ示ス如ク韓國々庫金假入簿ヲ以テ代用ス

第五章　歳入歳出外現金

第十六條　歳入歳出外現金ノ領收ニ關シテハ歳入金領收ノ例ニ準シ其ノ拂渡ニ關シテハ歳出金拂渡ノ例ニ準シ之ヲ處理スヘシ

（註）（歳入歳出外現金領收簿同拂渡簿）前者ハ韓國々庫金假入簿後者ハ韓國々庫金假出簿ヲ以テ代用スルコトニ規程第三十四條第二項ヲ以テ定メタリ

第六章　假入金及假出金

第十七條　韓國々庫金ノ出納上ヨリ生スル過剩金過剩還付金又ハ缺損金ノ類ハ各其ノ受入ノ場合ニ在リテハ假入金トシ拂出ノ場合ニ在リテハ假出金トシテ之ヲ處理スヘシ

第十八條　假入金又ハ假出金ノ出納ニ關シテハ事務日誌ニ其ノ顛末事由ヲ登記シ次ニ假入金證明書又ハ假出金證明書ヲ作リ同時ニ韓國々庫金假入簿又ハ韓國々庫金假出簿ニ式ノ如ク登記シ其ノ假入金證明書又ハ假出金證明書ハ關係書類ト共ニ韓國々庫金受拂證據書類トシテ之ヲ處理スヘシ

第七章　現金

第十九條　韓國歳入金其ノ他各種ノ收納金ハ韓國新貨幣又ハ日本通貨ノ外當分ノ內別ニ指定スル所ノ價格ニ依リ韓國舊貨幣ヲ以テ之ヲ受領スルコトヲ得

第二十條　韓國歳出金其ノ他各種ノ拂渡金ハ韓國新貨幣又ハ日本通貨ヲ以テ之ヲ交付スヘシ但シ當日ノ現在金中其ノ拂渡基金ニ充ツヘキ韓國新貨幣又ハ日本通貨ノ一部若ハ全部存在セサル場合ニ於テハ別ニ指定スル所ノ價格ニ依リ適宜韓國舊貨幣ヲ以テ之ヲ交付スルコトヲ得

第二十一條　韓國舊貨幣ノ指定價格ヲ變更シタル場合ニ於テ前日ヨリ持越シタル現金中ニ韓國舊貨幣ノ存在スルモノアルトキハ當日ノ價格ニ依リ之ヲ換算シ其ノ換算上ヨリ生スル差增金ハ之ヲ受入ニ差減金ハ之ヲ拂出ニ立ツヘシ

前項韓國舊貨幣ノ換算上ヨリ生スル差增金ニ對シテハ貨幣換算差增金證明書ヲ作リ差減金ニ對シテハ貨幣換算差減金證明書ヲ作リ之ニ依リ事務日誌ヲ號ニ各其ノ金額事由ヲ

登記シ其ノ貨幣換算差增金證明書及貨幣換算差減金證明書ハ韓國々庫金受拂證據書類トシテ之ヲ處理スヘシ

第二十二條　韓國舊貨幣ノ指定價格ヲ變更シタル場合ニ於テ其ノ變更以前甲郵便官署ヨリ現金遞送便ヲ以テ發送シタル資金又ハ過超金ニシテ其ノ變更以後乙郵便官署ニ到著シタルモノアルトキハ乙郵便官署ハ之ニ對スル送付證(エ號甲)ノ金額ニ依リ其ノ變更以前ノ價格ヲ以テ之ヲ受入ニ立テ更ニ前條ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十三條　韓國々庫金ノ受拂上ヨリ生スル過超金又ハ其ノ拂渡基金ニ充ツヘキ資金ノ各送付證(エ號甲)受領證(エ號乙)現金調書及資金請求書ノ類ハ各其ノ表面餘白ニ「韓國々庫金」ト朱書シ一般ノ過超金又ハ資金ノ受授ニ關スルモノト區分シ各別ニ之ヲ作成スヘシ

前項ノ證據書類ニシテ韓國々庫金ノ受拂上ヨリ生スル過超金又ハ其ノ拂渡基金ニ充ツヘキ資金ト一般ノ過超金又ハ資金トヲ同時ニ受授スル場合ニ於テハ各別ニ作成スルコトヲ要セス此ノ場合ニ於テハ一般ノ過超金又ハ資金ノ受授ニ關スル證據書類ノ表面餘白ニ「內金何程韓國々庫金」ト朱書スヘシ

第二十四條　金庫又ハ特ニ指定シタル銀行ノ媒介ニ依リ回納シタル過超金ノ一部若ハ全部カ韓國々庫ナルトキ又ハ其ノ媒介ニ依リ受領シタル逆爲替資金ノ一部若ハ全部カ韓國々庫金ノ拂渡基金ニ充ツヘキモノナルトキハ左ノ區別ニ依リ之ニ對スル資金受授局報本文ノ末尾ニ其ノ旨ヲ附記スヘシ

一　回納シタル過超金ノ全部カ韓國々庫金ナルトキ又ハ受領シタル逆爲替資金ノ全部カ韓國々庫ノ拂渡基金ニ充ツヘキモノナルトキハ一般ノ例ニ依ル資金受授局報本文ノ末尾ニ(カン)ト附記シテ之ヲ發スヘシ

二　回納シタル過超金ノ一部カ韓國々庫金ナルトキ又ハ受領シタル逆爲替資金ノ一部カ韓國々庫金ノ拂渡基金ニ充ツヘキモノナルトキハ一般ノ例ニ依ル資金受授局報本文ノ末尾ニ(內何程カン)ト附記シテ之ヲ發スヘシ

第二十五條　韓國々庫金ノ受拂上ヨリ生スル過超金又ハ其ノ拂渡基金ニ充ツヘキ資金ノ受拂高ハ一般ノ過超金又ハ資金ノ受拂高ト同一ノ例ニ依リ資金受拂內譯簿(ケ號)ニ之ヲ登記シ其ノ遞送便區分ノ欄ニ(韓)ノ略符號ヲ附記スヘシ

前項ノ過超金又ハ資金ノ受拂高ニシテ資金受拂內譯簿(ケ號)ヲ設備セサル郵便官署ニ於ケルモノハ事務日誌(ラ號)ニ之ヲ登記シ適宜一般ノ過超金又ハ資金ノ受拂高トノ區分ヲ附記スヘシ

韓國々庫金ノ受拂上ヨリ生スル過超金又ハ其ノ拂渡基金ニ充ツヘキ資金ニシテ一般ノ過超金又ハ資金ト同時ニ受授スル場合ニ於ケルモノハ資金受拂內譯簿(ケ號)ノ摘要欄又ハ事務日誌(ラ號)ニ「內金何程韓國々庫金」ナル旨ヲ附記シ便宜前二項ノ區分ヲ省略スルコトヲ得

第二十六條　韓國々庫金ノ受拂上ヨリ生スル過超金ノ受入證明書(ア號丙)又ハ其ノ拂渡基金

ニ充ツヘキ資金ノ交付證明書ア號ノ作成ニ關シテモ亦前條ノ例ニ依ル

（註）（貨幣）貨幣ノ受拂ハ原則トシテ韓國新貨及日本貨ヲ以テシ例外トシテ舊貨ヲ以テスルコトトセリ然トモ事實ハ原則ハ例外トナリ例外ハ原則トナル狀態ニアリシハ蓋シ貨幣整理ノ過渡期トシテ免レ難キ現象ナリキ

第八章　計算報告

第二十七條　郵便官署ニ於テ當日韓國々庫金出納事務ノ取扱ヲ了リタルトキハ歳入金領收簿、歳出金拂渡簿、歳出定額還入金領收簿、歳入歳出外現金領收簿同拂渡簿假入簿及假出簿ヲ締切リ各式ノ如ク口數金額ノ日計ヲ附シ次ニ資金受拂內譯簿ケ號中韓國々庫金ノ受拂上ヨリ生スル過超金又ハ其ノ拂渡基金ニ充ツヘキ資金ト一般ノ過超金又ハ資金トノ受拂口數金額ヲ各別ニ集計シ當日受拂ノ記帳ヲ了リタル次ニ「國庫金計」ト「其ノ他ノ計」トノ區別ヲ設ケ之ニ各其ノ、集計口數金額ヲ朱書シ更ニ一般ノ例ニ依リ受拂口數金額ノ日計ヲ附スヘシ

第二十八條　前條ノ手續ヲ了リタルトキハ左ノ區別ニ依リ出納日計簿及出納日計表ニ韓國々庫金ノ種目別受拂口數金額ヲ登記シ各之ヲ締切ルヘシ

一　受入ノ部過超金受領高及資金受領高ノ欄ニハ資金受拂內譯簿ケ號ニ依リ其ノ資金受拂內譯簿ケ號ヲ設備セサル郵便官署ニ在リテハ過超金送付證エ號甲若ハ資金送付證エ號甲又ハ事務日誌ヲ號ニ依リ貨幣換算差增高ノ欄ニハ貨幣換算差增金證明書又ハ事務日誌ヲ號ニ依リ各其ノ他ノ各欄ニハ歳入金領收簿、歳出定額還入金領收簿、歳入歳出外現金領收簿及假入簿ニ依リ各其ノ日計口數定額ヲ轉載スヘシ

二　拂出ノ部資金交付高及過超金納付高ノ欄ニハ資金受拂內譯簿ケ號ニ依リ其ノ資金受拂內譯簿ケ號ヲ設備セサル郵便官署ニ在リテハ事務日誌ヲ號ニ依リ貨幣換算差減高ノ欄ニハ貨幣換算差減金證明書又ハ事務日誌ヲ號ニ依リ各其ノ口數金額ヲ登記シ其ノ他ノ各欄ニハ歳出金拂渡簿、歳入歳出外現金拂渡簿及假出簿ニ依リ各其ノ日計口數金額ヲ轉載スヘシ

三　韓國々庫金受拂證據書類中歳入金受入證據書類ハ歳入徴收官別ニ歳出金拂渡證據書類ハ出給命令官別ニ其ノ他ノ證據書類ハ取扱廳別又ハ受入若ハ拂出ノ區別ニ從ヒ孰モ整理シ各其ノ口數金額ヲ種目別ニ集計シ其ノ計算ヲ關係證據書類ノ末葉裏面ニ附記シ之ヲ出納日計簿及出納日計表ノ種目別計數ニ對照シ總テ正確ナリト認メタルトキハ出納日計簿及出納日計表ニ受拂口數金額ノ小計竝合計ヲ附スヘシ

四　前日ノ出納日計簿ニ殘高アリタルトキハ其ノ殘高ヲ當日ノ出納日計簿及出納日計表中越高ノ欄ニ轉載シ前日ノ出納日計簿ニ殘高ナクシテ振替受高アリタルトキハ其ノ振替受高ヲ當日ノ出納日計簿及出納日計表中振替拂高ノ欄ニ轉載スヘシ

五　受入金額ノ合計ニ越高ヲ加ヘタルモノト拂出金額ノ合計ニ振替拂高ヲ加ヘタルモノトヲ比較シ受入金額カ多額ナルトキハ其ノ差額ヲ殘高ノ欄ニ記入シ拂出金額カ多

額ナルトキハ其ノ差額ヲ振替受高ノ欄ニ記入シ受入又ハ拂出金額ノ各總計ヲ附シ其ノ吻合ヲ確ムヘシ

六　未拂出給命令其ノ他ノ未拂證據書類ノ殘留スルモノアルトキハ其ノ口數金額ヲ各相當欄ニ登記スヘシ

七　假入金又ハ假出金ノ受拂ニ關スル顚末事由ヲ備考欄ニ附記スヘシ

八　資金受拂內譯簿ケ號ヲ設備セサル郵便官署ニ於ケル過超金受領高又ハ資金交付高ニ對シテハ其ノ對手郵便官署名及金額ノ區分ヲ備考欄ニ附記スヘシ

九　前各號ノ手續ヲ了リタルトキハ出納日計簿及出納日計表ニ當日ノ日附印ヲ押捺シ出納日計表ヲ切離シ之ニ韓國々庫金受拂證據書類ヲ緊綴スヘシ

第二十九條　前二條ノ手續ヲ了リタルトキハ通信官署現金出納計算規程ニ依ル現金出納簿ア號及現金出納日報タ號中受入ノ部「內地歲入金受入高」ノ次ニ「韓國々庫金受入高」ノ一欄ヲ拂出ノ部「內地歲出金拂渡高」ノ次ニ「韓國々庫金拂渡高」ノ一欄ヲ各增設シ之ニ出納日計簿中過超金及資金ノ受入又ハ拂出口數金額ヲ除クノ外韓國々庫金ノ受入又ハ拂出口數金額ノ日計ヲ轉載シ他ノ各種現金ノ受入又ハ拂出口數金額ト共ニ之ヲ精算調理シ總テ正確ナリト認メタルトキハ其ノ現金出納日報タ號ヲ切離シ之ニ出納日計表及韓國々庫金受拂證據書類ヲ添付シ他ノ各種現金受拂證據書類ト共ニ卽日之ヲ通信管理局ニ送付スヘシ

第三十條　郵便官署ニ於テハ毎月末日ヲ區切リ左ノ手續ニ依リ月次韓國々庫金ノ受拂高ヲ決算スヘシ

一　歲入金領收簿、通知出納命令書留簿、歲出金拂渡簿、歲出定額還入金領收簿、歲入歲出外現金領收簿、同拂渡簿、假入簿及假出簿ヲ締切リ各其ノ口數金額ノ月計ヲ附スヘシ

二　資金受拂內譯簿ケ號中韓國々庫金ノ受拂上ヨリ生スル過超金又ハ其ノ拂渡基金ニ充ツヘキ資金ト一般ノ過超金又ハ資金トノ受拂口數金額ヲ各別ニ集計シ當月末日日計ノ次ニ「國庫金月計」ト「其ノ他ノ月計」トノ區別ヲ設ケ之ニ各其ノ集計口數金額ヲ朱書シ次ニ一般ノ例ニ依リ受拂口數金額ノ月計ヲ附スヘシ

三　出納日計簿中毎月最終記帳ノ次ニ出納月計簿及出納月計表ノ部ヲ設ケ其ノ上部欄外ニ「日計」ト「月計」ト訂正シ次ニ當月中ニ於ケル韓國々庫金ノ受拂口數金額ヲ各種目別ニ集計シテ之ヲ相當欄ニ登記スヘシ

四　前號出納月計簿及出納月計表ノ各種目別受拂口數金額中過超金又ハ資金ノ受拂口數金額ハ資金受拂內譯簿ケ號ノ國庫金月計ノ口數金額ニ對査シ貨幣換算差增金又ハ貨幣換算差減金ノ受拂口數金額ハ事務日誌ヲ號ヨリ當月中ニ於ケル當該種目ノ受拂口數金額ヲ集計シテ之ニ對査シ其ノ他ノ各種目別受拂口數金額ハ第一號ノ各帳簿ノ月計口數金額ニ對査シ總テ正確ナリト認メタルトキハ之ニ小計及合計ヲ附スヘシ

前項ノ場合ニ於ケル出納月計簿及出納月計表ノ過超金又ハ資金ノ受拂口數金額ニシ

テ資金受拂內譯簿ヲ設備セサル郵便官署ニ於ケルモノハ事務日誌ヨリ當月中ニ於ケル當該種目ノ受拂口數金額ヲ集計シテ之ニ對査スヘシ

五　前月ノ出納月計簿ニ殘高アリタルトキハ其ノ殘高ヲ當月ノ出納月計簿及出納月計表中越高ノ欄ニ轉載シ前月ノ出納月計簿ニ殘高ナクシテ振替受高アリタルトキハ其ノ振替受高ヲ當月ノ出納月計簿及出納月計表中振替拂高ノ欄ニ轉載シ次ニ當月末ノ殘高又ハ振替受高ヲ相當欄ニ轉載シ受入又ハ拂出金額ノ總計ヲ附シ各其ノ吻合ヲ確ムヘシ

六　出納月計簿及出納月計表ノ備考欄ニ韓國々庫金出納ニ關スル未使用式紙帳簿ノ現在種類數量ヲ記載スヘシ

七　通信官署現金出納計算規程ニ依ル現金出納簿及現金受拂精算月表中受入ノ部「內地歲出金拂渡高」ノ次ニ「內地歲入金受入高」ノ次ニ「韓國々庫金受入高」ノ一欄ヲ拂出ノ部「內地歲出金拂渡高」ノ次ニ「韓國々庫金拂渡高」ノ一欄ヲ各增設シ他ノ各種現金受拂口數金額ト共ニ一般ノ手續ニ依リ之ヲ決算調理シ次ニ其ノ韓國々庫金受入又ハ拂渡口數金額ト第四號ノ出納月計簿及出納月計表中過超金及資金ノ受拂口數金額ヲ除外シタル韓國々庫金ノ各種受入又ハ拂出口數金額ノ月計トヲ對査シ各其ノ吻合ヲ確ムヘシ

第三十一條　前二條ノ手續ヲ了リタルトキハ出納月計簿出納月計表及通信官署現金出納計算規程ニ依ル現金出納簿並現金受拂精算月表ノ各相當欄ニ當日ノ日附印ヲ押捺シ其ノ出納月計表及現金受拂精算月表ヲ切離シ每翌月二日限リ共ニ之ヲ通信管理局ニ送付スヘシ

第三十二條　通信管理局ニ於テ第二十九條ノ韓國々庫金受拂ニ關スル證據書類ノ送付ヲ受ケタルトキハ一般ノ手續ニ依リ相當處理スルノ外左ノ區別ニ依リ振替計算ヲ以テ日日其ノ總精算受拂ヲ爲スヘシ

一　歲入金領收高ニ對シテハ韓國中央金庫ニ對スル歲入金振替拂込書及歲入金領收高合計表ヲ作リ之ニ領收濟納入告知書ヲ添付シ一面帝國本金庫ニ對スル雜部保管金引出切符ヲ發行シ各之ヲ日韓兩國金庫事務委託銀行ニ送付シ之ト引換ニ韓國中央金庫ヨリ歲入金振替拂込高ニ對スル領收證書ヲ受領スヘシ

二　歲出金拂渡高ニ對シテハ韓國中央金庫ニ對スル歲出代リ金振替領收證書及歲出金拂渡高合計表ヲ作リ之ニ拂渡濟出給命令ヲ添付シ一面帝國本金庫ニ對スル雜部保管金拂込書ヲ作リ各之ヲ日韓兩國金庫事務委託銀行ニ送付シ之ト引換ニ帝國本金庫ヨリ歲出代リ金振替領收高ニ對スル雜部金保管證書ヲ受領スヘシ

三　歲出定額還入金領收高又ハ歲入歲出外現金領收高ニ對シテハ第一號ノ例ニ準シ歲入歲出外現金拂渡高ニ對シテハ第二號ノ例ニ準シ各之ヲ處理スヘシ

四　假入金又ハ假出金ノ受拂高ニ對シテハ事項ノ結了スルヲ待テ前各號ノ例ニ準シ之ヲ處理スヘシ

五　貨幣換算差增金又ハ貨幣換算差減金ニ對シテハ各之ヲ差繼計算シ其ノ差額ハ第一號又ハ第二號ノ例ニ準シ之ヲ處理スヘシ

第三十三條　通信管理局ニ於テ第三十一條ノ出納月計表ノ送付ヲ受ケタルトキハ月次韓國度支部大臣ニ報告スヘシ

國々庫金ノ受拂高ヲ決算シ其ノ狀況ヲ韓國度支部大臣ニ報告スヘシ

（註）（振替受拂）本計算科目創設ノ理由ハ要スルニ日計簿表面ノ受拂計數ノ平衡ヲ保タシメントスルニ外ナラス卽チ出納日計簿面中受入金ノ合計ニ越高ヲ加ヘタルモノト拂出金額ノ合計トヲ比較シ受入金額カ小額ナルトキニ限リ該不足額ヲ振替受高欄ニ記入シ又振替拂高ハ前日ノ出納日計簿ニ振替受高アリタルトキニ該金額ヲ轉記スルモノニシテ受入合計ニ越高ヲ加ヘタルモノト拂出合計ニ振替拂高ヲ加ヘタルモノトヲ比較シ受入多額ナルトキハ其ノ差額ヲ殘高ニ拂出多額ナルトキハ其ノ差額振替受高ニ記入スルノ義ニシテ振替受高トハ帝國爲替資金ヨリ便宜韓國々庫金ニ振替受ケタル計算ヲ謂ヒ振替拂高トハ受入高ニ對スル拂戻額卽チ帝國爲替資金ニ返還セル計算ノ謂ナリトス雖然韓國々庫金ニ殘高生シ帝國爲替資金ニ充當シタル場合ニハ之ヲ右ノ振替受高ニ明記セス又之ヲ出納簿ニモ計上スルコトナク其ノ拂出高ニ對シ帝國爲替資金ヨリ返還金ヲ受ケタル場合モ亦之ト同斷ナリトス卽チ日計簿面振替受拂高欄ニハ帝國爲替資金ヨリ韓國々庫金ニ振替受入タル分及其ノ拂出ヲノミ計上スルカ故ニ現金ニ於テコソ相互融通スルモ計算面ニ於テハ全然之ヲ計上セサルヲ以テ韓國々庫ニ屬スル資金ハ常ニ日計簿面ニ依リ判明スルヲ得ルモノトス

（殘高）現金出納簿殘高ト現在金トハ一致スヘキモ日計簿殘高ト現金トハ必スシモ一致セサルモノナルカ故ニ常ニ爲替金ハ拂出過剩ニシテ國庫金ハ受入過剩ナル場合ハ日計簿殘高ハ現金出納簿殘高以上ノ多額ニ上リ又ハ現金出納簿殘高ナキニ日計簿ノミ多額ノ殘高ヲ存スルノ奇觀ヲ呈スル場合アリ

（缺損額歸屬分界點）韓國々庫金ト帝國爲替資金トノ分界ハ左記ニ依リ判明スルヲ得ヘシ

一　出納簿面殘高日計簿面殘高ニ對シ多キトキハ其ノ差額ハ帝國爲替資金ニ屬シ日計簿面殘額ハ韓國々庫金ニ屬スルモノナリトス

二　出納簿面殘高ト日計簿殘高ト同額ナルトキハ夫ハ全部韓國々庫金ニ屬スルモノトス

三　更ニ日計簿面殘高零ニシテ出納簿面殘高アルトキハ夫ハ全部帝國爲替資金ニ屬スルモノトス

四　然ルニ出納簿面殘高カ日計簿面殘高ニ對シ少ナキトキハ全部韓國々庫金ト認メサルヘカラス斯ノ如キハ一見疑念ヲ生スルカ如キモ此ハ卽チ韓國々庫金ヨリ帝國爲替資金ニ充當シタル額ノ日計簿殘高ニ含入計算シアルモノニシテ

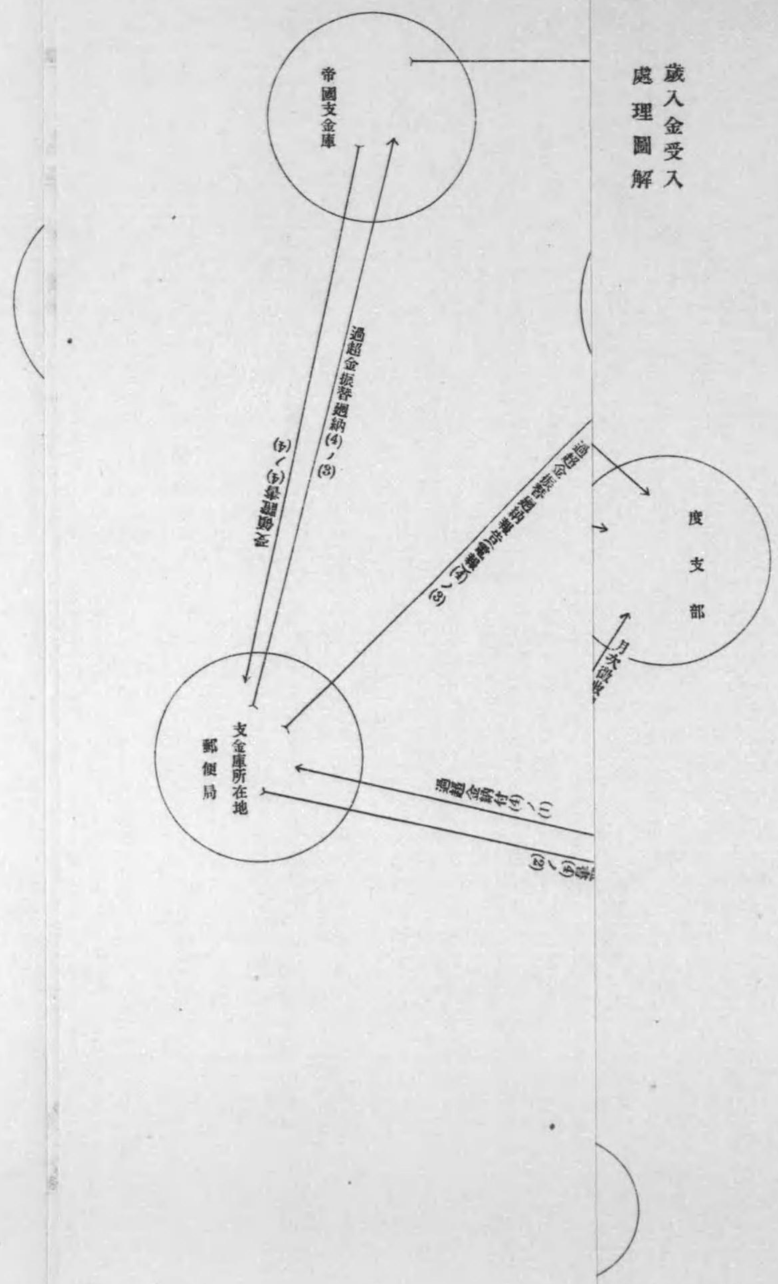
其ノ出納簿面殘高ニ對スル差額ハ帝國爲替資金ニ流用シタルモノト知ルヘク而カモ韓國々庫金ヨリ帝國爲替資金ニ充當ヲ要スル如キ場合ノ出納簿殘高ハ其ノ全部韓國々庫金ニ屬スルモノト認ムヘキナリ

五　故ニ又出納簿面殘高零ニシテ日計簿殘高存スル場合モアリ斯カルトキハ其ノ日計簿殘高ハ所謂帝國爲替資金ニ韓國々庫金ヨリ拂出シタル額ト知ルヘシ

卽チ前各項ニ依リ韓國々庫金ト帝國爲替資金トノ分界ヲ立テ以テ事故アル場合ニ於テ兩者ノ區劃ヲ明瞭ナラシムルコトヲ得タリ

今上述シタル計算整理ノ處理順序ヲ圖解ヲ以テ示セハ左ノ如シ

歳入金受入處理圖解



歳入金受入處理圖解

帝國支金庫
統監府通信管理局
日韓兩國金庫事務委託銀行
帝國本金庫
韓國中央金庫
支金庫所在地郵便局
金庫所在地外郵便局
納人
歳入徴收官
歳入事務管理吏
度支部
月次徴收報告書(3)ノ(1)
月次歳入報告書(3)ノ(2)
月次歳入報告書(3)ノ(3)
月次歳入報告書(3)ノ(4)
月次歳入報告書(3)ノ(5)
月次歳入報告書(3)ノ(6)
月次歳入報告書(3)ノ(7)
月次歳入報告書(3)ノ(8)
月次歳入報告書(3)ノ(9)
月次歳入報告書(3)ノ(10)
月次歳入報告書(3)ノ(11)
月次歳入報告書(3)ノ(12)
月次歳入報告書(3)ノ(13)
月次歳入報告書(3)ノ(14)
月次歳入報告書(3)ノ(15)
月次歳入報告書(3)ノ(16)
月次歳入報告書(3)ノ(17)
月次歳入報告書(3)ノ(18)
月次歳入報告書(3)ノ(19)
月次歳入報告書(3)ノ(20)
月次歳入報告書(3)ノ(21)
月次歳入報告書(3)ノ(22)
月次歳入報告書(3)ノ(23)
月次歳入報告書(3)ノ(24)
月次歳入報告書(3)ノ(25)
月次歳入報告書(3)ノ(26)
月次歳入報告書(3)ノ(27)
月次歳入報告書(3)ノ(28)
月次歳入報告書(3)ノ(29)
月次歳入報告書(3)ノ(30)
月次歳入報告書(3)ノ(31)
月次歳入報告書(3)ノ(32)
月次歳入報告書(3)ノ(33)
月次歳入報告書(3)ノ(34)
月次歳入報告書(3)ノ(35)
月次歳入報告書(3)ノ(36)
月次歳入報告書(3)ノ(37)
月次歳入報告書(3)ノ(38)
月次歳入報告書(3)ノ(39)
月次歳入報告書(3)ノ(40)
月次歳入報告書(3)ノ(41)

歳出金拂渡處理圖解

度支部
統監府通信管理局
各部歳出主管廳
韓國中央金庫
帝國本金庫
京城第一銀行
月次收支報告表(10)
月次支拂報告書(1)ノ(1)
月次收支金報告表(2)ノ(1)
現金出納日報、拂渡濟出給命令、通知出給命令(5)
出給命令官
韓國支金庫
郵便局
債主

第九章　帳簿式紙類

第三十四條　韓國々庫金出納事務取扱ノ爲特ニ郵便官署ニ設備スヘキ帳簿式紙類ハ左ノ如シ

一　韓國歳入金領收簿
二　韓國通知出給命令書留簿
三　韓國歳出金拂渡簿
四　韓國々庫金假入簿、同假入證明書
五　韓國々庫金假出簿、同假出證明書
六　韓國々庫金出納日計簿、同出納日計表
七　韓國歳出定額還入金領收簿
八　韓國歳入歳出外現金領收簿
九　韓國歳入歳出外現金拂渡簿
十　韓國貨幣換算差(增)(減)金證明書
十一　代用納入告知書、領收濟報告書、領收濟通知書、領收證書

前項第七號及第八號ノ帳簿ハ第四號ノ帳簿ヲ第九號ノ帳簿ハ第五號ノ帳簿ヲ以テ各之ヲ代用ス

第三十五條　前條帳簿式紙類ノ樣式ハ別紙ニ依ル

附則

本規程ハ明治三十九年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

（韓第一號樣式）

明治「何」年度

韓國歲入金領收簿

統監府通信官署

年月日	摘要	證書番號	年度	科目	歳入徴収官署在勤	金額	備考
						円 錢 厘	
明治三十九年			光武				
10 2	何所何ノ誰納	告 1	10	何々	何々	30000	何號金何程ノ納入告知書ニ對シ何々ノ事由ニ依リ不足納
〃	何所何ノ誰納	領 1	〃	何々	何々	20000	
〃	何所何ノ誰納	告 2	〃	何々	何々	50000	
	日計				3 口	100000	他管區轉入
3	何所何ノ誰納	告 4	10	何々	何々	50000	
〃	何所何ノ誰納	〃 3	〃	何々	何々	30000	
	日計				2 口	80000	
	十月分合計				5 口	180000	

備考

一、本簿ハ韓國歳入金ヲ領收シタルトキ其ノ領收濟納入告知書ニ依リ金額其ノ他必要ナル事項ヲ各相當欄ニ登記スヘシ

二、規程第七條及第八條ニ依リ納入告知書面ノ金額ニ對シ不足ニ現金ヲ領收シタルトキハ其ノ納入告知書ノ番號金額及不足納ノ事由ヲ備考欄ニ附記スヘシ

三、規程第九條ニ依リ金庫又ハ他ノ郵便官署ニ納付ノ指定アル歳入金ヲ領收シタルトキハ備考欄ニ「他官廳轉入」ト明記スヘシ

四、規程第十條ニ依納入告知書ヲ携帶セサル者ヨリ歳入金ヲ領收シタルトキハ其事由ヲ備考欄ニ附記スヘシ

五、毎日記帳ヲ了リタルトキハ最終記帳ノ下ニ墨ノ單線ヲ横畫シ其ノ下段ニ日數及金額ノ日計ヲ附スヘシ

六、毎月最終ノ記帳ヲ了シタルトキハ其ノ最終記帳ノ下ニ墨ノ單線ヲ横畫シ其ノ下段ニ日數及金額ノ月計ヲ附シ其ノ下ニ墨ノ二線ヲ横畫スヘシ

（韓第二號樣式）

明治「何」年度

韓國通知出給命令書留簿

統監府通信官署

受付年月日	通知出給命令年月日	番號	年度	債主住所氏名	出給命令官在勤廳	取扱金庫名	金額	拂渡濟年月日	備考
三九、一〇、一	三九、一〇、一	一	光武一〇	「何道何郡何面」「何ノ誰」	「何々」	「何々」	〇円	三九、一〇、三	
一〇、三	一〇、二	二	〃	「何道何郡何面」「何ノ誰」	「何々」	「何々」	〇		「有效期間經過ニヨリ三十九年十二月六日還付」
一〇、五	一〇、三	三	〃	「何道何郡何面」「何ノ誰」	「何々」	「何々」	〇	一〇、六	
一〇、二五	一〇、二三	四	〃	「何道何郡何面」「何ノ誰」	「何々」	「何々」	〇	二、三	
				合計	「何」口		〇		
				十月中拂渡	「何」口		〇		
				殘	「何」口		〇		
				十一月中拂渡	「何」口		〇		
				殘	「何」口		〇		

韓國通知出給命令書留簿

統監府通信官署

受付年月日	通知出給命令年月日	番號	年度	債主住所氏名	出給命令官在勤廳	取扱金庫名	金額	拂渡濟年月日	備考
				十二月中期間經過還付	「何」口		〇円		
				殘			〇		

備考

一、本簿ハ通知出給命令到著月別ニ口座ヲ設クヘシ

二、本簿ハ通知出給命令ノ到著シタルトキ番號順ニ一口毎ニ登記シ其ノ通知出給命令ニ對スル歳出金ノ拂渡ヲ爲シタルトキハ其ノ拂渡月日ヲ記入スヘシ

三、規程第十三條第二項ニ依リ有效期間經過ノ通知出給命令ヲ金庫ニ還付シタルトキハ備考欄ニ「有效期間經過何年何月何日還付」ト朱書スヘシ

四、毎月最終ノ登記ヲ了シタルトキハ其ノ到著通知出給命令ノ口數及金額ノ月計ヲ附シ其ノ次ニ拂渡濟ノ口數及金額ヲ次ニ有效期間經過ノ爲メ金庫ニ還付セシ通知出給命令ノ口數及金額ヲ次ニ殘高ノ口數及金額ヲ各順次登記シ月次之ヲ決算スヘシ

五、前號拂渡濟金額ノ月計ハ之ヲ韓國々庫金出納精算月計簿ノ歳出金拂渡高ニ對照シ其ノ吻合ヲ確ムヘシ

（韓第三號樣式）

明　治「何」年　度

韓國歲出金拂渡簿

統監府通信官署

年月日		摘要	出命令番號	年度	出命令官廳	取扱庫	金額				備考
明治三十九年				光武			円	錢	厘		
10	2	何所何ノ誰渡	1	10	何々	何々	50	0	0	0	
	〃	何所何ノ誰渡	2	〃	何々	何々	100	0	0	0	
		日計				2口	150	0	0	0	
	3	何所何ノ誰渡	3	10	何々	何々	15	0	0	0	
	〃	何所何ノ誰渡	4	〃	何々	何々	20	0	0	0	
	〃	何所何ノ誰渡	5	〃	何々	何々	65	0	0	0	
		日計				3口	100	0	0	0	
		十月分合計				5口	250	0	0	0	

備考

一、本簿ハ出給命令ト引換ニ現金ヲ交付シタルトキ其ノ拂渡濟出給命令ニ依リ金額其ノ他必要ナル事項ヲ各相當欄ニ登記スヘシ

二、本簿ノ日計及月計ノ登記方ハ韓第一號樣式ノ備考第五號及第六號ニ同シ

（韓第四號樣式甲）　用紙寸法横五寸縱五寸五分　輪廓寸法横三寸八分縱四寸　炭酸紙使用

韓國々庫金假入(又ハ何々)書

證據書番號	納人住所氏名	取扱庶	納付ノ目的	一金「何　程」	備考
年度	「何道何郡何面何村」	領收年月日			
第「何」號	「何　ノ　誰」	明治「何」年「何」月「何」日			
光武「何」年度					
「何々」					

計日	計口	數口	日額	金
			円 ○	

備考

一、本簿ハ韓國々庫金ノ出納上ヨリ生スル過剰金其ノ他臨時ノ受入金アリタルトキ其ノ證據書類ニ依リ金額其ノ他必要ナル事項ヲ各相當欄ニ登記シ其ノ事由ヲ備考欄ニ附記スヘシ

二、每日事務ノ取扱ヲ了シタルトキハ其ノ當日中ニ於ケル假入金ノ口數及金額ヲ合計シ最終假入簿ノ口數日計欄ニ其ノ口數ノ合計ヲ同金額日計欄ニ其ノ金額ヲ登記スヘシ

三、每月最終登記ノ次ニ月計ノ部ヲ設ケ前號ノ例ニ準シ當月中ニ於ケル假入金ノ口數及金額ノ各合計ヲ登記スヘシ

四、規程第二十六條第二項ニ依リ本簿ヲ韓國歲出定額還入金領收簿又ハ韓國歲入歲出外現金領收簿ニ代用シタルトキハ其ノ嵶簿ノ名稱ヲ適宜ニ訂正スヘシ此ノ場合ニ於ケル乙號領收金證明書ハ受入傳票附屬ノ證據書類トシテ當該郵便官署ニ之ヲ保存スヘシ

（韓第四號樣式乙）　用紙寸法横五寸五分縦五寸五分輪廓寸法横三寸八分縦四寸炭酸紙使用

韓國々庫金假入（又ハ何々）證明書

證據書番號	第「何」號	納人住所	「何道何郡何面何村」
年度	光武「何」年度	氏名	「何ノ誰」
取扱廳	「何々」	領收年月日	明治「何」年「何」月「何」日
納付ノ目的	「何々」		

一金「何程」

右證明ス

又ハ「何郵便局出納官吏」印
「何出張所出納員」印

備考	日附印
	日附印

（韓第五號樣式甲）　用紙寸法横五寸五分縦五寸五分輪廓寸法横三寸八分縦四寸炭酸紙使用

韓國々庫金假出（又ハ何々）簿

證據書番號	第「何」號	受取人住所	「何道何郡何面何村」
年度	光武「何」年度	氏名	「何ノ誰」
取扱廳	「何々」	拂渡年月日	明治「何」年「何」月「何」日
拂出ノ目的	「何々」		

一金「何程」

備考	計日數	口
	計日額	金 円 0

備考

一、本簿ハ韓國々庫金ノ出納上ヨリ生スル過剰還付金、闕損金其ノ他臨時ノ拂出金アリタル時其ノ證據書類ニ依リ金額其ノ他必要ナル事項ヲ各相當欄ニ登記シ其ノ事由ヲ備考欄ニ附記スヘシ

二、日計及月計ノ登記方ハ韓第四號樣式ノ備考第二號及第三號ニ同シ

三、規程第二十六條第二項ニ依リ本簿ヲ韓國歳入歳出外現金拂渡簿ニ代用シタルトキハ其ノ帳簿ノ名稱ヲ適當ニ訂正スヘシ此ノ場合ニ於ケル乙號拂出金證明書ハ拂出傳票ノ附屬證據書類トシテ當該郵便官署ニ之ヲ保存スヘシ

（韓第六號樣式甲）濃紅色刷　炭酸紙使用

韓國々庫金出納日計表

摘要	受入 口數	受入 金額	摘要	拂出 口數	拂出 金額
過超金受入高	2	500000	資金交付高	2	200000
資金受領高	1	100000	過超金納付高	1	500000
小計	3	600000	小計	3	520000
歳入金領收高	10	4800000	歳出金拂渡高	2	500000
歳入歳出外現金領收高	1	500000	歳入歳出外現金拂渡高	1	200000
定額還入金領收高	1	100000	假出高	1	500
假入高	1	100	貨幣換算差減高	1	100
貨幣換算差增高	1	150			
小計	14	4851250	小計	5	520600
合計	17	5451250	合計	8	5720600
越高		219350	殘高		0
振替受高		500000	振替拂高		0
總計		5720600	總計		5720600
歳出金未拂高	2	150000	歳入歳出外現金未拂高	1	100000

備考
「假入金ハ出納上ノ過超金又ハ何々」
「假出金ハ何月何日過剩金何々ノ事由ニ依リ拂出」
「過超金受領高ハ何局金參百圓何局金貳百圓」
「資金交付高ハ何局金百圓何局金百圓」

日附印

（韓第五號樣式乙）用紙寸法 縦五寸五分 横五寸 輪廓寸法 縦四寸 横三寸八分 炭酸紙使用

韓國々庫金假出（又ハ何々）證明書

證據書番號	第「何」號
年度	光武「何」年度
取扱廳	「何々」
拂出ノ目的	「何々」
一金「何程」右證ス	
拂出年月日	明治「何」年「何」月「何」日
受取人住所氏名	「何道何郡何面何村」「何ノ誰」
又ハ「何郵便局出納官吏」印 「何出張所出納員」印	
備考	日附印

備考

一、受入部過超金、受領高、賞金受領高ノ欄ニハ賞金受拂内譯簿其ノ賞金受拂内譯簿ヲ設備セサル郵便官署ニ在リテハ賞金若ハ過超金送付證又ハ事務日誌ニ依リ貨幣換算差增金ノ欄ニハ貨幣換算差增金證明書ニ依リ各其ノ日計口數金額ヲ記入シ其ノ他ノ各欄ニハ歳入金領收簿、歳出定額還入金領收簿、歳入歳出外現金領收簿及假入簿ニ依リ各其ノ日計口數金額ヲ轉載スヘシ

二、拂出ノ部賞金交付高、過超金納付高ノ欄ニハ賞金受拂内譯簿其ノ賞金受拂内譯簿ヲ設備セサル郵便官署ニ在リテハ事務日誌ニ依リ貨幣換算減金ノ欄ニハ貨幣換算差減金證明書ニ依リ各其ノ日計口數金額ヲ記入シ其ノ他ノ各欄ニハ歳出金拂渡簿、歳入歳出外現金拂渡簿及假入簿ニ依リ各其ノ日計口數金額ヲ轉載スヘシ

三、前二號ノ種目別口數金額ハ之ヲ當該證據書類ノ種目別合計口數金額ニ對査シ其ノ吻合ヲ確メ次ニ受入口數金額及拂出口數金額ノ各小計並合計ヲ附スヘシ

四、前日ノ出納日計簿ニ殘高アリタルトキハ其ノ殘高ヲ當日ノ出納日計簿中越高ノ欄ニ轉載シ前日ノ出納日計簿ニ殘高ナクシテ振替受高アリタルトキハ其ノ振替受高ヲ當日ノ出納日計簿中振替拂高ノ欄ニ轉載スヘシ

五、受入金額ノ合計ニ越高ヲ加ヘタルモノト拂出金額ノ合計ニ振替拂高ヲ加ヘタルモノトヲ比較シ受入金額カ多額ナルトキハ其ノ差額ヲ振替受高ノ欄ニ記入シ受入又ハ拂出金額ノ各總計ヲ附シ其ノ吻合ヲ確ムヘシ

六、未拂出給命令其ノ他ノ未拂證據書類ノ殘留スルモノアルトキハ其ノ口數金額ヲ各相當欄ニ登記スヘシ

七、假入金又ハ假出金ノ受拂ニ關スル顛末事由ヲ備考欄ニ附記スヘシ

八、賞金内譯簿ヲ設備セサル郵便官署ニ在リテハ過超金受領高又ハ賞金交付高ニ對スル郵便官署名及其ノ金額ヲ備考欄ニ附記スヘシ

九、毎月最終記帳ノ次ニ月計ノ部ヲ設ケ上部欄外ニ「日計」トアルヲ「月計」ト訂正シ當月中受拂ニ係ル口數金額ヲ種目別ニ集計シテ之ヲ各相當欄ニ記入シ其ノ口數金額ヲ關係簿册ノ月計ニ對照シ雙方ノ吻合ヲ確メ之ニ小計及合計ヲ附シ次ニ出納日計簿締切ノ例ニ準シ越高、殘高、振替受高又ハ振替拂高ヲ轉載シ受拂雙方ノ總計ヲ附シ其ノ吻合ヲ確ムヘシ

十、毎月末日現在未使用式紙帳簿ノ數量ヲ當月出納月計簿ノ備考欄ニ附記スヘシ

（韓第六號樣式乙）濃紅色刷　炭酸紙使用

韓國々庫金出納日計表

摘要	受入 口數	受入 金額	摘要	拂出 口數	拂出 金額
過超金受領高	2	500000	賚金交付高	2	200000
賚金受領高	1	100000	過超金納付高	1	500000
小計	3	600000	小計	3	520000
歳入金領收高	10	1800000	歳出金拂渡高	2	500000
歳入歳出外現金領收高	1	500000	歳入歳出外現金拂渡高	1	200000
定額還入金領收高	1	100000	假出高	1	500
假入高	1	100	貨幣換算差減高	1	100
貨幣換算差增高	1	150			
小計	14	4851250	小計	5	5206000
合計	17	5451250	合計	8	5720600
越高		2193500	殘高		0
振替受高		500000	振替拂高		0
總計		5720600	總計		5720600
歳出金未拂高	2	150000	歳入歳出外現金未拂高	1	100000

備考
「假入金ハ出納上ノ過剩金又ハ何々」
「假出金ハ何月何日過剩金何々ノ事由ニ依リ拂出」
「過超金受領高ハ何局金參百圓何局金貳百圓」
「賚金交付高ハ何局金百圓何局金百圓」

日附印

（韓第七號樣式甲）用紙適宜

貨幣換算差增（又ハ減）金證明書

一金拾圓也　差增金

貨幣種類	前日ヨリ持越數量	一個又ハ一元ニ對スル價格 舊價格	新價格	舊價格ニ依ル換算高	新價格ニ依ル換算高	差增（又ハ減）高
葉錢	100000枚	壹厘	壹厘五毛	10000円	15000円	5000円

右證明候也

明治「何」年「何」月「何」日

「何郵便局出納官吏」印
又ハ
「何出張所出納員」印

備考
一、規程第二十一條第二項ニ依ル前日ヨリ持越シタル韓國舊貨幣ノ指定價格變更ノ場合ニ於ケル貨幣換算差增金證明書又ハ貨幣換算差減金證明書ハ此ノ樣式ニ依リ調製スヘシ
二、貨幣種類ノ欄ニハ葉錢（穴錢）二錢五分白銅貨等其ノ種類ノ異ナル毎ニ各別ニ之ヲ記載スヘシ
三、前日ヨリ持越數量ノ欄ニハ其ノ貨幣ノ個數ヲ記載スヘシ
四、舊價格ニ依ル換算高ノ欄ニハ前日ヨリ持越數量ニ舊價格ヲ乘シ其ノ得數ヲ記載スヘシ
五、新價格ニ依ル換算高ノ欄ニハ前日ヨリ持越數量ニ新價格ヲ乘シ其ノ得數ヲ記載スヘシ
六、舊價格ニ依ル換算高ト新價格ニ依ル換算高トヲ對比シ新價格ニ依ル換算高カ舊價格ニ依ル換算高ヨリ多額ナルトキハ其ノ差額ヲ差增金トシ又舊價格ニ依ル換算高多額ナルトキハ其ノ差減金トシテ記載スヘシ

（韓第七號樣式乙）　用紙適宜

貨幣換算差減（又ハ增）金證明書

一金七圓五拾錢也　　差減金

差立月日	過超金又ハ賞金差立局所名	貨幣種類	受領數量	一個又ハ一元ニ對スル價格 差立當日ノ價格 到著當日ノ價格	差立當日ノ價格ニ依ル換算高	到著當日ノ價格ニ依ル換算高	差減（又ハ增）高
十月十日	水原	葉錢	一五〇〇〇	壹厘五毛 壹厘	二三五〇〇 円	一五〇〇〇 円	七五〇〇 円

右證明候也

明治「何」年「何」月「何」日

又ハ「何郵便局出納官吏」㊞
「何出張所出納員」㊞

備考

一、規程第二十二條ニ依ル過超金又ハ賞金ノ減送淦中韓國貨幣ノ指定價格變更ノ場合ニ於ケル貨幣換算差增金證明書又ハ貨幣換算差減金證明書ハ此ノ樣式ニ依リ調製スヘシ

二、貨幣種類及受領數量ノ欄ニハ甲號樣式備考第二號第三號ノ例ニ依リ記載スヘシ

三、差立當日ノ價格ノ欄ニハ差立郵便官署ニ於テ過超金又ハ賞金ヲ發送シタル日ノ價格ヲ記載スヘシ

四、到著當日ノ價格ノ欄ニハ到著郵便官署ニ於テ過超金又ハ賞金ヲ領收シタル當日ノ價格ヲ記載スヘシ

五、差立當日ノ價格ニ依ル換算高到著當日ノ價格ニ依ル換算高及差額ノ各欄ニハ甲號樣式備考第四號乃至第六號ノ例ニ準シ之ヲ算出シ其ノ得數ヲ記載スヘシ

領收證書

何款　何項　居住納人姓名

一金　幾何　㊞

右領收ス

光武何年何月何日

又ハ　何郵便局出納官吏㊞
何出張所出納員㊞

備考

一、納入告知書以下接續ノ儘原符ヨリ切離シ納人ニ交付スルモノトス

二、本書式中ノ號數、年度、主管廳、科目、金額等ハ總テ處理廳ニテ記入シ面村里長ヲ納人ト看做ス場合ニハ納人欄內ニ面村里名ヲ記入スルモノトス

三、號數ハ年度初ヨリ原符ノ次第ニ依リ記入スルモノトス

納入告知書後面

注意

一、納人ハ本書四連接續シタル儘此ノ表面ニ記載ノ納金額ヲ添ヘテ指定シタル郵便官署ニ納付シ領收證書ヲ受クヘシ

一、郵便官署ハ其ノ規定事務取扱時間內ニ於テ出納ヲ爲ス

（附屬書式第壹號）用紙淡紅色

原符

第何號　何廳主管　光武何年度　納人何某
何款　何項　光武何年何月何日　何郵便局（所）處理

一金　幾何

歳入徴收官印

納入告知書

第何號　何廳主管　光武何年度　處理廳名
何款　何項　居住　納人姓名

一金　幾何

右何年何月何日限何郵便局（所）ニ納付スヘシ

何廳
歳入徴收官　官姓名㊞

光武何年何月何日

歳入徴收官印

領收濟報告書

第何號　何廳主管　光武何年度　歳入徴收官姓名
何款　何項　居住　納人姓名

一金　幾何　主任印

右領收セシニ依リ此ノ旨報告ス

又ハ　何郵便局　出納官吏㊞
何出張所　出納員㊞

光武何年何月何日

歳入徴收官印

領收濟通知書

第何號　何廳主管　光武何年度
何款　何項　居住　納人姓名

一金　幾何　主任印

右領收セシニ此ノ旨通知ス

又ハ　何郵便局　出納官吏㊞
何出張所　出納員㊞

光武何年何月何日

歳入徴收官　官姓名

歳入徴收官印

領收證書

第何號　何廳主管　光武何年度　處理廳名
何款　何項　居住　納人姓名

一金　幾何　主任印

右領收ス

又ハ　何郵便局　出納官吏㊞
何出張所　出納員㊞

光武何年何月何日

備考

一、納入告知書以下接續ノ儘原符ヨリ切離シ納人ニ交付スルモノトス

備考

一、規程第二十二條ニ依ル過超金又ハ賞金ノ遞送途中韓國舊貨幣ノ指定價格變更ノ場合ニ於ケル貨幣換算差增金證明書又ハ貨幣換算差減金證明書ハ此ノ樣式ニ依リ調製スヘシ

二、貨幣種類及ヒ領數量ノ欄ニハ甲號樣式備考第二號第三號ノ例ニ依リ記載スヘシ

三、差立當日ノ價格ノ欄ニハ差立郵便官署ニ於テ過超金又ハ賞金ヲ發送シタル日ノ價格ヲ記載スヘシ

四、到著當日ノ價格ノ欄ニハ到著郵便官署ニ於テ過超金又ハ賞金ヲ領收シタル當日ノ價格ヲ記載スヘシ

五、差立當日ノ價格ニ依ル換算高到著當日ノ價格ニ依ル換算高及差額ノ各欄ニハ甲號樣式備考第四號乃至第六號ノ例ニ準シ之ヲ算出シ其ノ得數ヲ記載スヘシ

「何郵便局出納官吏」㊞
又ハ
「何出張所出納員」㊞

納入告知書

第何號　何廳主管　光武何年度　處理廳名
何款　何項　居住　納人姓名

一金　幾何

右何年何月何日限何郵便局(所)ニ納付スヘシ

何廳
歳入徴收官　官姓名　㊞

光武何年何月何日

歳入徴收官印

領收濟報告書

第何號　何廳主管　光武何年度　歳入徴收官姓名
何款　何項　居住　納人姓名

一金　幾何　主任印

右領收セシニ依リ此ノ旨報告ス

又ハ　何郵便局　出納官吏㊞
何出張所　出納員㊞

光武何年何月何日

歳入徴收官印

領收濟通知書

第何號　何廳主管　光武何年度
何款　何項　居住　納人姓名

一金　幾何　主任印

右領收セシニ此ノ旨通知ス

又ハ　何郵便局　出納官吏㊞
何出張所　出納員㊞

光武何年何月何日

歳入徴收官　官姓名

歳入徴收官印

領收證書

第何號　何廳主管　光武何年度　處理廳名
何款　何項　居住　納人姓名

一金　幾何　主任印

右領收ス

又ハ　何郵便局　出納官吏㊞
何出張所　出納員㊞

光武何年何月何日

歳入徴收官印

備考

一、納入告知書以下接續ノ儘原符ヨリ切離シ納人ニ交付スルモノトス
二、本書式中ノ號數、年度、主管廳、科目、金額等ハ總テ處理廳ニテ記入シ而村里長ヲ納人ト看做ス場合ニハ納人欄内ニ面村里名ヲ記入スルモノトス
三、號數ハ年度初ヨリ原符ノ次第ニ依リ記入スルモノトス

納入告知書後面

注意

一、納人ハ本書四連接續シタル儘此ノ表面ニ記載ノ納金額ヲ添ヘテ指定シタル郵便官署ニ納付シ領收證書ヲ受クヘシ
一、郵便官署ハ其ノ規定事務取扱時間内ニ於テ出納ヲ爲ス